

八千代市市民満足度調査

報告書

令和4年3月



目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の設計	3
3	回収結果	3
4	報告書の見方	3
5	標本誤差	4
6	居住地域	5
II	調査回答者の属性	7
III	調査結果の分析	11
1	調査結果の概要	13
(1)	順位比較	15
(2)	点数比較	16
2	設問別調査結果	18
(1)	第4次総合計画後期基本計画に関する質問	18
■	健康福祉都市をめざして	18
①	健康状態	18
②	健康診断や人間ドックの受診	20
③	かかりつけ医の有無	22
④	地域医療体制の整備状況	24
⑤	子どもの健やかな発育・発達	26
⑥	子育てしやすいまち	28
⑦	高齢者福祉サービスの充実	30
■	教育文化都市をめざして	32
①	幼稚園教育の充実	32
②	生涯学習情報の得やすさ	34
③	男女共同参画社会の進展	36
■	環境共生都市をめざして	38
①	まちなかのきれいさ	38
■	安心安全都市をめざして	40
①	消費生活情報の得やすさ	40
②	災害時の避難場所	42
■	快適生活都市をめざして	44
①	鉄道の利用しやすさ	44
②	バスの利用しやすさ	46
③	市内・市外間の移動のしやすさ	48
④	交通弱者にやさしい交通環境	50

⑤ 緑豊かなまち	52
⑥ 市街地整備	54
■産業活力都市をめざして	56
① ふるさと親子祭	56
■計画の推進のために	58
① 透明性の高い市政運営	58
② 市民意見の反映	60
③ 自立した市政運営	62
④ 国際交流・協力	64
(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する質問	66
① 「八千代市のイメージ」について	66
② 「八千代市の活性化」について	68
③ 「新川周辺の活性化」について	70
④ 「地域活動」について	72
⑤ 「地域消防・救急体制」について	74
⑥ 「災害に備えた対策」について	76
⑦ 「公共交通不便地域における高齢者の移動」について	78
⑧ 「防災・生活情報の得やすさ」について	80
⑨ 「地域の犯罪の多さ」について	82
⑩ 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について	84
⑪ 「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について	86
(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業に係るアンケート調査	88
① 「地元中小企業向け支援策」について	88
② 「市民向け支援策」について	90
③ 「新たな感染拡大防止策」について	92
(4) 自由意見	94
IV 使用した調査票	95

I 調査の概要

1 調査の目的

平成28年度から令和2年度までを期間とした第4次総合計画後期基本計画の各施策に位置付けた指標の達成度等を把握するとともに、今後の行政サービスの基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の設計

調査対象：市内に住所のある満18歳以上の男女3,500名

抽出方法：住民基本台帳より実際の年齢、性別、地域の人口割合に近い値となるように抽出

調査方法：郵送による配布・回収及びインターネットによる回答

調査期間：令和3年10月8日（金）～10月25日（月）

3 回収結果

標本数	有効回収数		有効回収率
3,496	1,341	（内 郵送：944 WEB：397）	38.4%

4 報告書の見方

- ①比率は、選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- ②比率算出の基数となるべき実数（回答者数）は、「n」と表記している。
- ③回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中ではふれていない場合がある。
- ④分析の軸にある性別は、「その他」の件数が少ないため、グラフへの掲載は省略している。
- ⑤統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりにしている。

例	表現
17.0～19.9%	約2割
20.0～20.9%	2割
21.0～22.9%	2割を超える
23.0～26.9%	2割台半ば
27.0～29.9%	約3割

I 調査の概要

5 標本誤差

標本誤差は次式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

$\left[\begin{array}{l} N = \text{母集団数 (八千代市の18歳以上人口)} \\ n = \text{比率算出の基数 (回答者数)} \\ p = \text{回答の比率 (\%)} \end{array} \right.$

今回の調査結果の標本誤差は下記のようなになる。

回答の比率(p) 基数(n)	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1,341	±1.61%	±2.14%	±2.45%	±2.62%	±2.68%
1,000	±1.86%	±2.48%	±2.84%	±3.04%	±3.10%
800	±2.08%	±2.77%	±3.18%	±3.39%	±3.46%
600	±2.40%	±3.20%	±3.67%	±3.92%	±4.00%
400	±2.94%	±3.92%	±4.49%	±4.80%	±4.90%
200	±4.16%	±5.54%	±6.35%	±6.79%	±6.93%
100	±5.88%	±7.84%	±8.98%	±9.60%	±9.80%

※ 上表は、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

注／この表の見方

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査においては、全体を対象に行った調査と比べ、調査結果に差が生じることがあり、その誤差のことをいう。この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なるが、その誤差を数学的に計算することが可能である。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが、上記の表である。見方としては、例えば、「ある設問の回答数が1,341であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、上表の「60%または40%程度」に該当するので、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±2.62%以内（57.38～62.62%）である」とみることができる。

6 居住地域

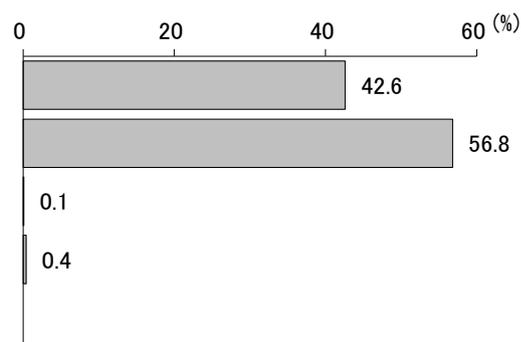
居住地域別のクロス集計は、『第5次総合計画前期基本計画（地域別計画）』を参考にし、次のように集約して分析の軸としている。

居住地区		集約後の居住地域
大和田地区	⇒	大和田地域
ゆりのき台地区		
大和田新田(A)地区		
大和田新田(B)地区	⇒	高津・緑が丘地域
高津・緑が丘地区		
高津団地地区		
八千代台東南地区	⇒	八千代台地域
八千代台西北地区		
勝田台地区	⇒	勝田台地域
村上地区	⇒	村上地域
村上団地地区		
阿蘇地区	⇒	阿蘇地域
米本団地地区		
睦地区	⇒	睦地域

Ⅱ 調査回答者の属性

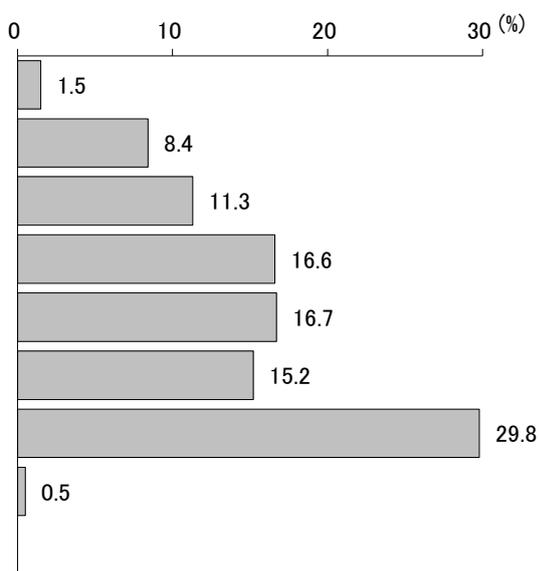
1 性別

	基数	構成比
男	571	42.6%
女	762	56.8%
その他	2	0.1%
無回答	6	0.4%
全体	1,341	100.0%



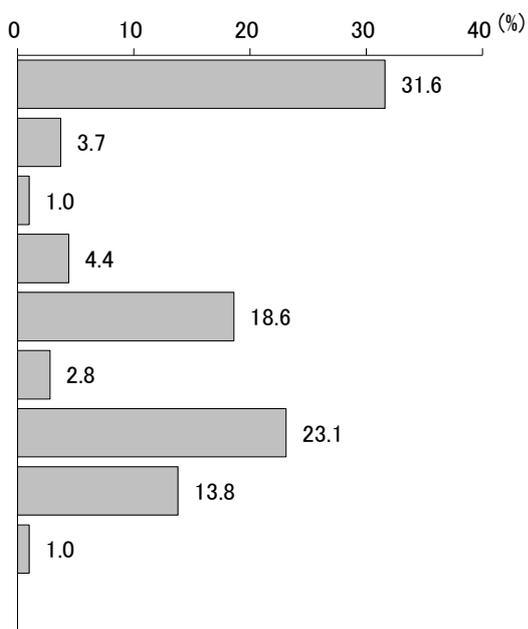
2 年齢別

	基数	構成比
18～19歳	20	1.5%
20～29歳	112	8.4%
30～39歳	152	11.3%
40～49歳	222	16.6%
50～59歳	224	16.7%
60～69歳	204	15.2%
70歳以上	400	29.8%
無回答	7	0.5%
全体	1,341	100.0%



3 職業別

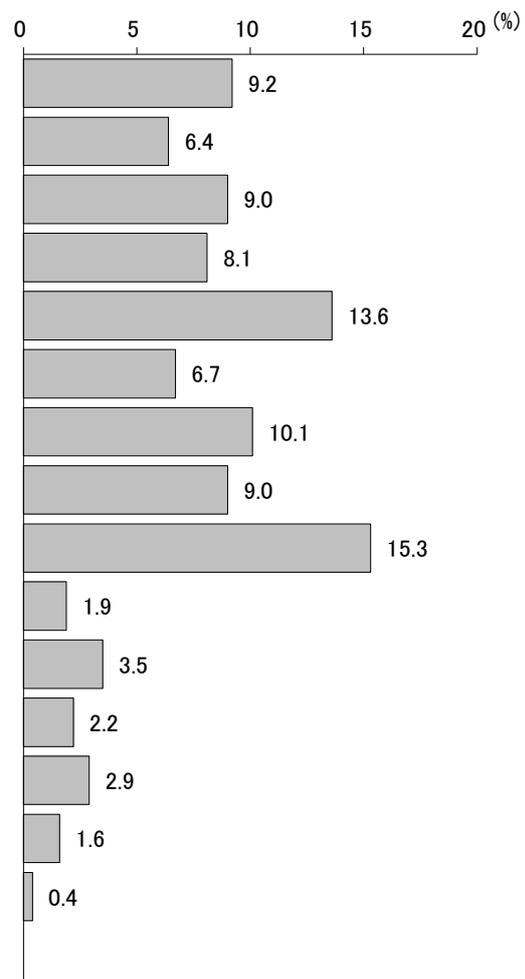
	基数	構成比
会社員	424	31.6%
自営業	50	3.7%
農業	14	1.0%
公務員	59	4.4%
専業主婦または主夫	249	18.6%
学生	37	2.8%
無職	310	23.1%
その他	185	13.8%
無回答	13	1.0%
全体	1,341	100.0%



II 調査回答者の属性

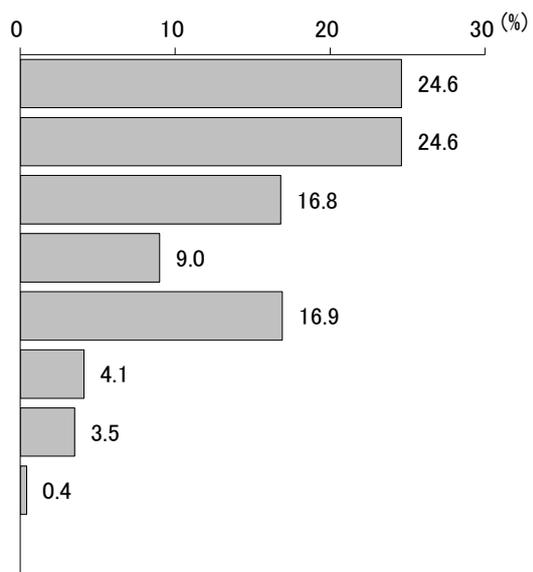
4 居住地区別

	基数	構成比
大和田地区	123	9.2%
ゆりのき台地区	86	6.4%
大和田新田(A)地区	121	9.0%
大和田新田(B)地区	108	8.1%
高津・緑が丘地区	183	13.6%
八千代台東南地区	90	6.7%
八千代台西北地区	135	10.1%
勝田台地区	121	9.0%
村上地区	205	15.3%
阿蘇地区	26	1.9%
睦地区	47	3.5%
米本団地地区	29	2.2%
高津団地地区	39	2.9%
村上団地地区	22	1.6%
無回答	6	0.4%
全 体	1,341	100.0%



【7地域】

	基数	構成比
大和田地域	330	24.6%
高津・緑が丘地域	330	24.6%
八千代台地域	225	16.8%
勝田台地域	121	9.0%
村上地域	227	16.9%
阿蘇地域	55	4.1%
睦地域	47	3.5%
無回答	6	0.4%
全 体	1,341	100.0%

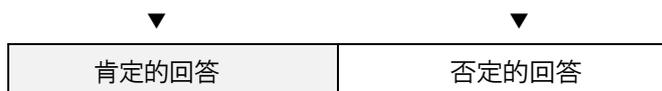


Ⅲ 調査結果の分析

1 調査結果の概要

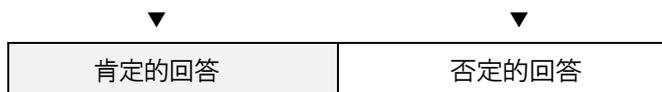
市民満足度は、問5～問42の38の設問で、設問に対する感じ方や同意の程度を2～5段階から選択する形で尋ねている。各設問の選択肢について「肯定的回答」と「否定的回答」を以下のように区分した。

設問	選択肢				
	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	
(1) 自分は健康だと感じていますか。【問5】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	
(2) 定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。【問6】	定期的に 受けている	不定期だが 受けている		受けていない	
(3) かかりつけ医を決めていますか。【問7】	決めている			決めていない	
(4) 地域医療体制が整っていると感じますか。【問8】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(5) 子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じますか。【問9】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(6) 子育てしやすいまちと感じていますか。【問10】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(7) 高齢者福祉サービスが充実していると感じますか。【問11】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(8) 幼稚園の教育が充実していると感じますか。【問12】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(9) 生涯学習情報が得られやすいと感じますか。【問13】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(10) 男女共同参画社会が進んでいると感じますか。【問14】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(11) まちにごみがなくきれいだと感じますか。【問15】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(12) 消費生活情報の提供が適切に行われていると感じますか。【問16】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(13) 災害時の避難場所を知っていますか。【問17】	知っている			知らない	
(14) 鉄道が利用しやすいと感じますか。【問18】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(15) 市内のバスが利用しやすいと感じますか。【問19】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(16) 市内・市外間の移動がしやすいと感じますか。【問20】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(17) 交通弱者にやさしい交通環境と感じますか。【問21】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(18) 緑豊かなまちと感じますか。【問22】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(19) 市街地整備の誘導が適切に図られていると感じますか。【問23】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない
(20) ふるさと親子祭が、市民相互の親睦と地域の活性化に役立っていると感じますか。【問24】	感じる	どちらかという 感じる	どちらかという 感じない	感じない	わからない



Ⅲ 調査結果の分析

設問	選択肢				
(21) 透明性の高い市政運営がなされていると感じますか。【問25】	感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない	わからない
(22) 市民の意見が市政に反映されていると感じますか。【問26】	感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない	わからない
(23) 自立した市政運営が行われていると感じますか。【問27】	感じる	どちらかというと感じる	どちらかというと感じない	感じない	わからない
(24) 国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思いますか。【問28】	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	わからない
(25) 本市のイメージは良いと思いますか。【問29】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない
(26) 本市は現在、まちが活性化していると感じますか。【問30】	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	わからない
(27) 新川周辺が活性化していると感じますか。【問31】	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	わからない
(28) 積極的に地域活動に参加していると思いますか。【問32】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない
(29) 本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか。【問33】	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	わからない
(30) 本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか。【問34】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない
(31) 本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか。【問35】	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	わからない
(32) 防災・生活情報が得やすいと感じますか。【問36】	感じる	やや感じる	やや感じない	感じない	わからない
(33) 住んでいる地域に犯罪が多いと感じますか。【問37】	感じない	やや感じない	やや感じる	感じる	わからない
(34) 公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか。【問38】	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
(35) 総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか。【問39】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	わからない
(36) 「地元中小企業向け支援策」に効果があったと思いますか。【問40】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	
(37) 「市民向け支援策」に効果があったと思いますか。【問41】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	
(38) 「新たな感染拡大防止策」に効果があったと思いますか。【問42】	思う	やや思う	やや思わない	思わない	



(1) 順位比較

「肯定的な回答」と「否定的な回答」の、それぞれの上位10項目は次のようになっている。

肯定的な回答／上位10項目		
1位	87.8%	災害時の避難場所を知っていますか。【問17】
2位	83.1	定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。【問6】
3位	75.9	自分は健康だと感じていますか。【問5】
4位	75.6	緑豊かなまちと感じますか。【問22】
5位	74.0	本市のイメージは良いと思いますか。【問29】
6位	65.3	鉄道が利用しやすいと感じますか。【問18】
7位	65.2	まちにごみがなくきれいだと感じますか。【問15】
8位	62.0	住んでいる地域に犯罪が多いと感じますか。【問37】
9位	59.6	かかりつけ医を決めていますか。【問7】
10位	59.3	子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じますか。【問9】

上記10項目のうち、1位の「災害時の避難場所」は防災について、2位の「健康診断・健康診査や人間ドック」、3位の「健康」、9位の「かかりつけ医」は保健について、4位「緑豊か」は公園・緑地について、7位「ごみがなくきれい」は環境美化についてであり、防災や健康への関心が高く、緑の豊かさやまちのきれいさを評価している市民が多いことを示している。

また、7割台半ばの市民が市のイメージは良いと思っていることが今回の調査からわかった。

否定的な回答／上位10項目		
1位	72.4%	積極的に地域活動に参加していると思いますか。【問32】
2位	64.3	交通弱者にやさしい交通環境と感じますか。【問21】
3位	60.3	本市は現在、まちが活性化していると感じますか。【問30】
4位	52.2	国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思いますか。【問28】
5位	46.8	市内・市外間の移動がしやすいと感じますか。【問20】
6位	44.8	市街地整備の誘導が適切に図られていると感じますか。【問23】
7位	44.6	市内のバスが利用しやすいと感じますか。【問19】
8位	41.8	本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか。【問35】
9位	41.1	生涯学習情報が得られやすいと感じますか。【問13】
10位	40.5	消費生活情報の提供が適切に行われていると感じますか。【問16】

Ⅲ 調査結果の分析

前記否定的な回答上位10項目のうち、2位の「やさしい交通環境」、5位の「市内・市外間の移動」、7位の「バスが利用しやすい」は公共交通についてであり、8位の「公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境」について4割を超える市民が否定的に感じており、交通弱者の視点から交通の現況に不満を感じている市民が多いことを示している。

また、7割を超える市民が積極的には地域活動に参加していないこと、6割の市民がまちが活性化していると感じていないことが今回の調査からわかった。

(2) 点数比較

「肯定的な回答」を1点、「否定的な回答」及び「わからない」「無回答」を0点として、総得点（38点満点）を出した。

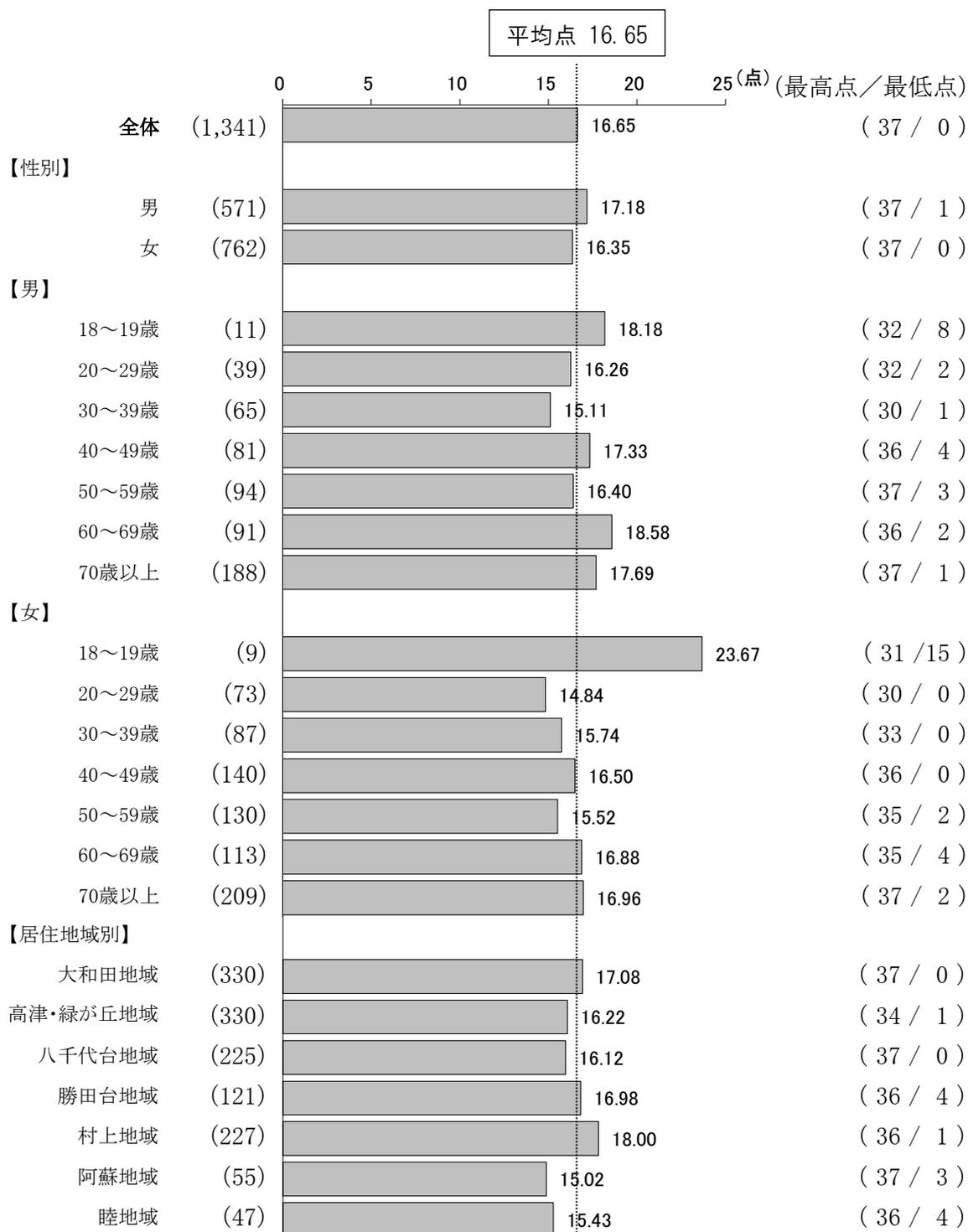
これによると、平均点は16.65点で、半分に満たなかった。また、最高点は37点、最低点は0点であり、属性別にみると以下のようにになっている。

性別では、男性17.18点、女性16.35点となっている。

性・年齢別でみると、男性では、60～69歳が18.58点で最も高く、次いで70歳以上が17.69点となっている。女性でも、70歳以上が16.96点、60～69歳が16.88点と、男女とも60歳以上の年代で平均点より高くなっている。また、女性20～29歳では14.84点と全年代中最も低くなっている。なお、回答者数が少なく参考にとどめるが、男女ともに18～19歳では他の年代よりも高くなっている。

居住地域別では、村上地域が18.00点で最も高く、次いで大和田地域が17.08点、勝田台地域が16.98点となっており平均点を超えている。一方、最も点数が低いのは阿蘇地域の15.02点である。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

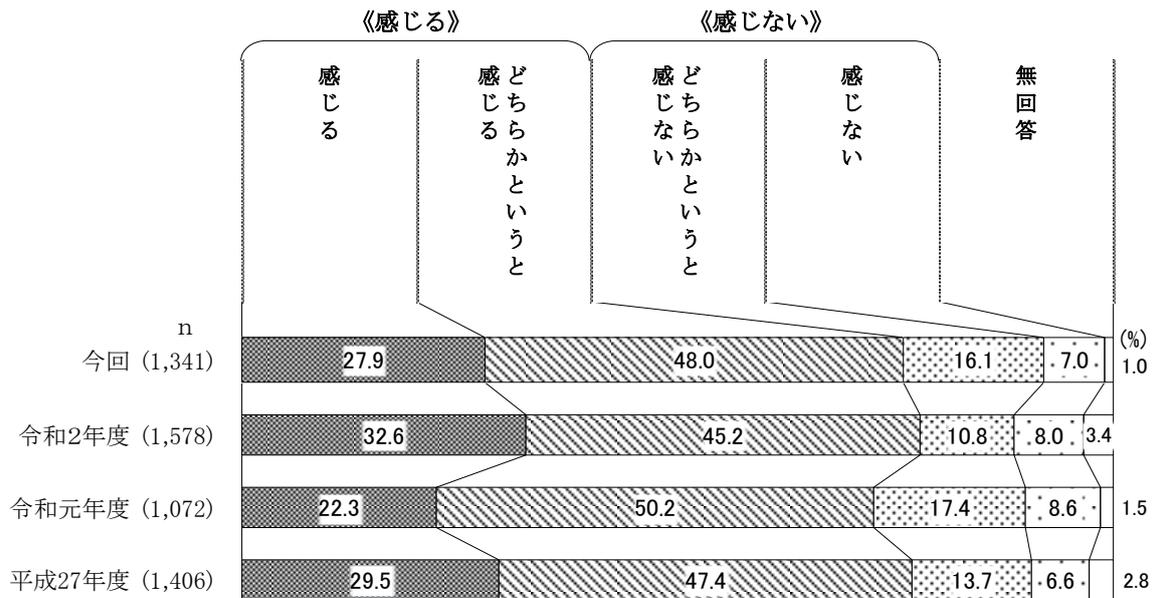
2 設問別調査結果

(1) 第4次総合計画後期基本計画に関する質問

■健康福祉都市をめざして

① 健康状態

【問5】自分は健康だと感じていますか。



自分が健康だと感じているかについては、「感じる」(27.9%)と「どちらかというと感じる」(48.0%)を合わせた《感じる》(75.9%)は7割台半ばとなっている。一方、「感じない」(7.0%)と「どちらかというと感じない」(16.1%)を合わせた《感じない》(23.1%)は2割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(75.9%)は令和2年度(77.8%)から1.9ポイント減少し、《感じない》(23.1%)は令和2年度(18.8%)から4.3ポイント増加している。

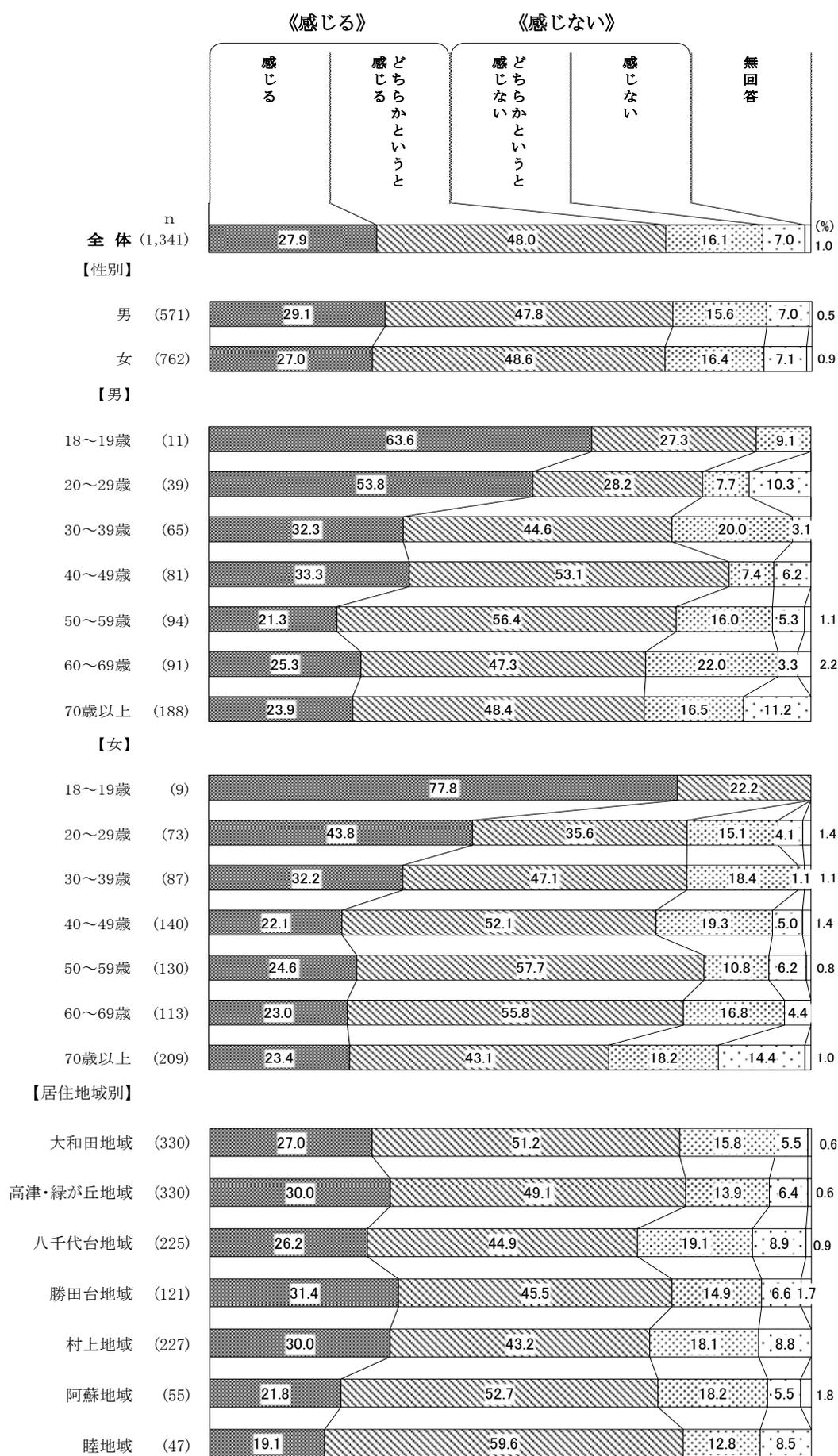
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(76.9%)、女性(75.6%)ともに7割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(90.9%)で9割と最も高く、次いで40～49歳(86.4%)で8割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(100.0%)で10割と最も高く、次いで50～59歳(82.3%)で8割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性では70歳以上(27.7%)で約3割と最も高く、次いで60～69歳(25.3%)で2割台半ばとなっている。女性では70歳以上(32.6%)で3割を超えて最も高く、次いで40～49歳(24.3%)で2割台半ばと高くなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、高津・緑が丘地域(79.1%)で約8割と最も高く、次いで睦地域(78.7%)でも約8割となっている。一方、《感じない》の割合は、八千代台地域(28.0%)で約3割と最も高く、次いで村上地域(26.9%)で2割台半ばとなっている。

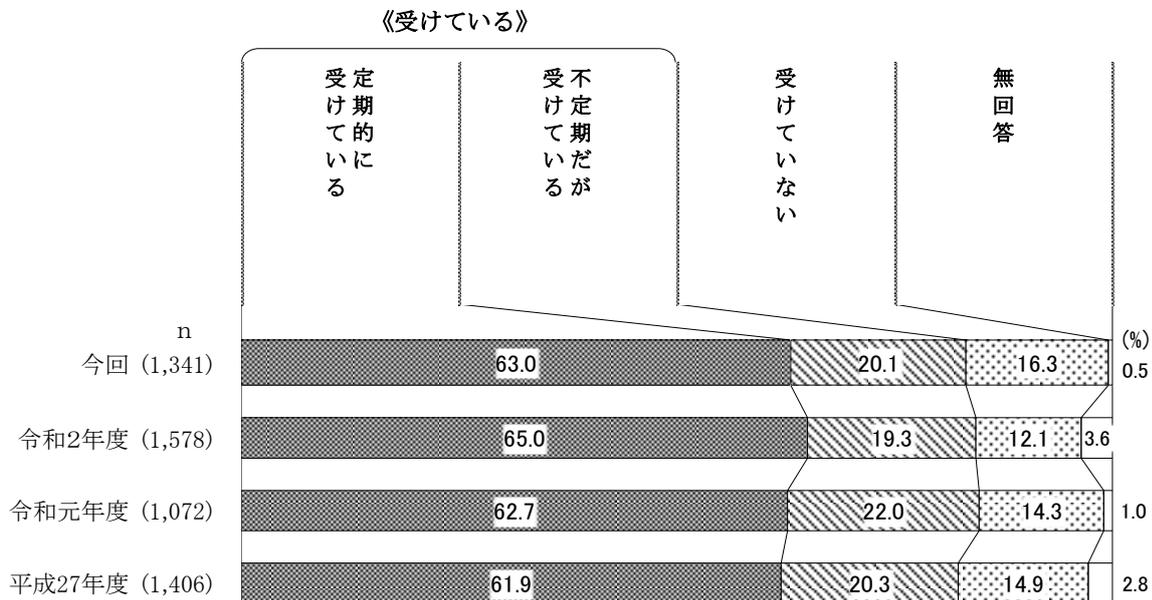
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 健康診断や人間ドックの受診

【問6】定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。



定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けているかについては、「定期的に受けている」(63.0%)と「不定期だが受けている」(20.1%)を合わせた《受けている》(83.1%)は8割台半ばとなっている。「受けていない」(16.3%)は1割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《受けている》(83.1%)は令和2年度(84.3%)から1.2ポイント減少し、《受けていない》(16.3%)は令和2年度(12.1%)から4.2ポイント増加している。

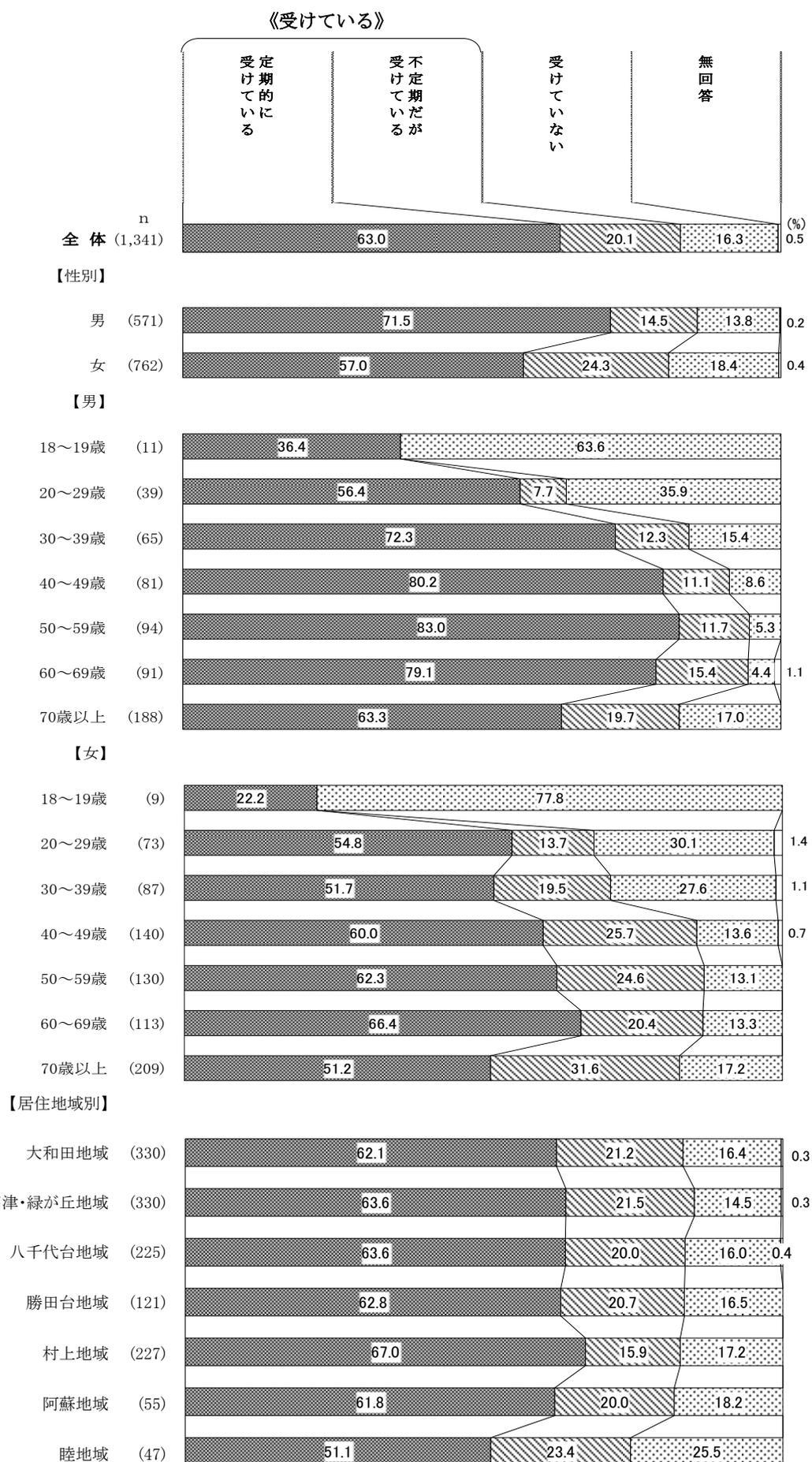
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《受けている》の割合は、男性(86.0%)で8割台半ば、女性(81.3%)で8割を超えている。

性・年齢別では、《受けている》の割合は、50～59歳(94.7%)で9割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(94.5%)で9割台半ばとなっている。女性では50～59歳(86.9%)で8割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(86.8%)と40～49歳(85.7%)で8割台半ばとなっている。一方、「受けていない」の割合は、男女ともに回答者数は少ないが男性18～19歳(63.6%)で6割台半ば、女性18～19歳(77.8%)で約8割となっている。

居住地域別では、《受けている》の割合は、高津・緑が丘地域(85.1%)で8割台半ばと最も高く、次いで八千代台地域(83.6%)でも8割台半ばとなっている。一方、「受けていない」の割合は、睦地域(25.5%)で2割台半ばと最も高く、次いで阿蘇地域(18.2%)で約2割となっている。

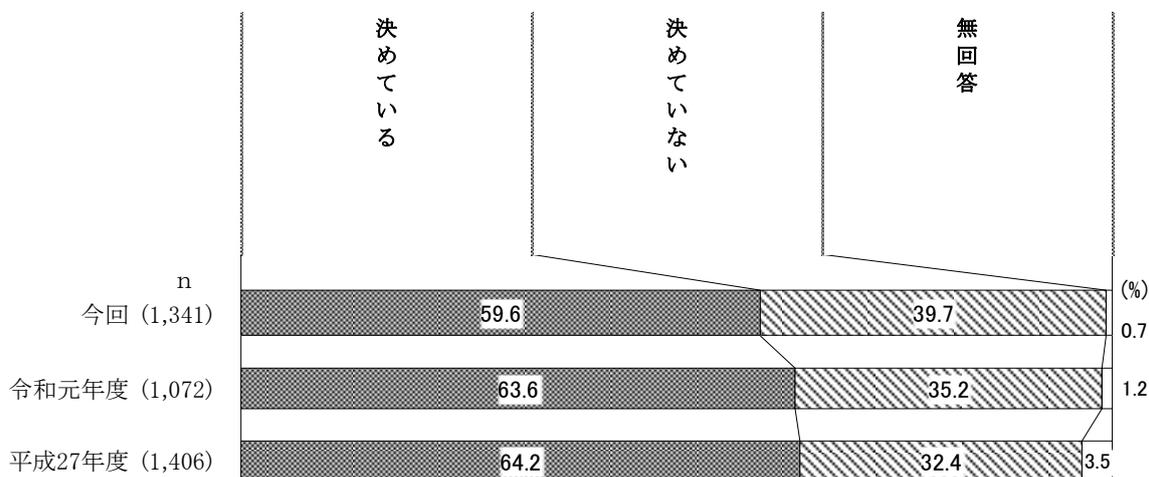
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

③ かかりつけ医の有無

【問7】かかりつけ医を決めていますか。



かかりつけ医を決めているかについては、「決めている」(59.6%)は約6割,「決めていない」(39.7%)は約4割となっている。

過去の調査結果と比較すると,「決めている」は令和元年度(63.6%)から4.0ポイント減少し,「決めていない」は令和元年度(35.2%)から4.5ポイント増加している。

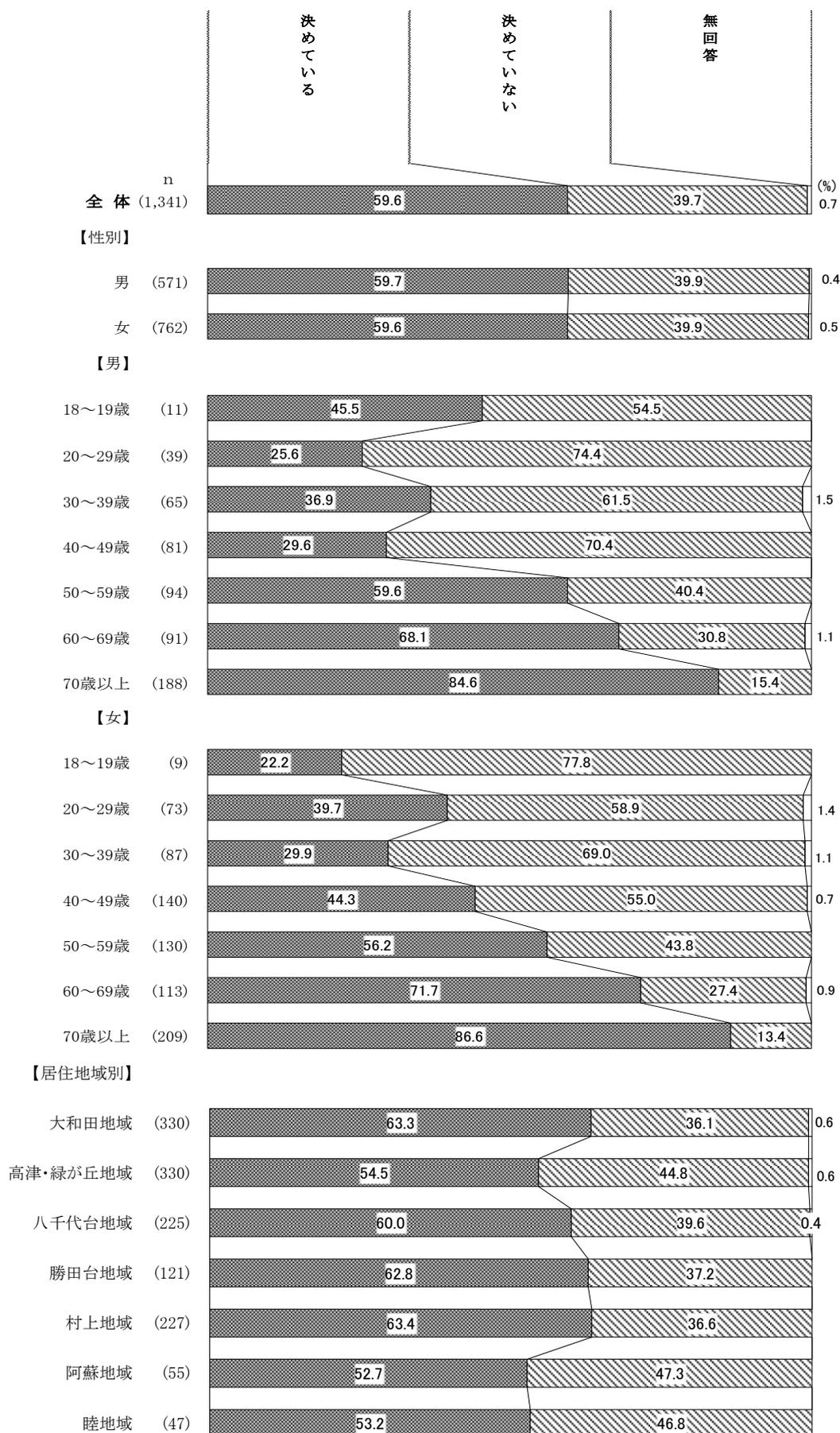
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では,「決めている」の割合は,男性(59.7%),女性(59.6%)ともに約6割となっている。

性・年齢別では,「決めている」の割合は,男性では70歳以上(84.6%)で8割台半ばと最も高く,次いで60～69歳(68.1%)で約7割となっている。女性でも70歳以上(86.6%)で8割台半ばと最も高く,次いで60～69歳(71.7%)で7割を超えている。一方,「決めていない」の割合は,男性では20～29歳(74.4%)で7割台半ばと最も高く,次いで40～49歳(70.4%)で7割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.8%)で約8割と最も高く,次いで30～39歳(69.0%)で約7割となっている。

居住地域別では,「決めている」の割合は,村上地域(63.4%)で6割台半ばと最も高く,次いで大和田地域(63.3%)でも6割台半ばとなっている。一方,「決めていない」の割合は,阿蘇地域(47.3%)で約5割と最も高くなっており,次いで睦地域(46.8%)で4割台半ばとなっている。

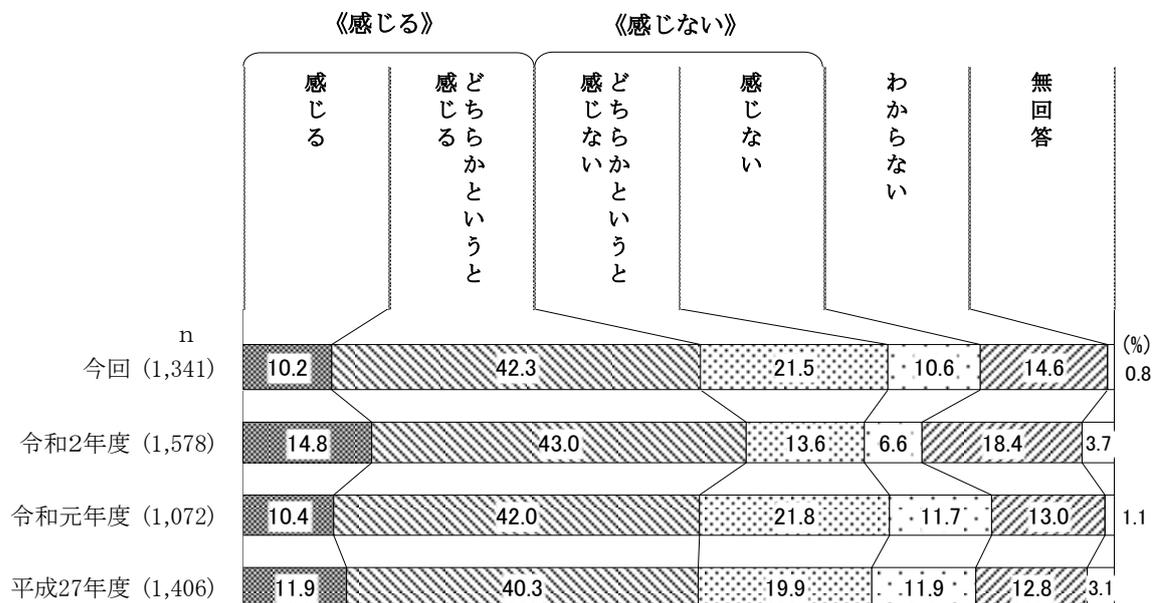
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

④ 地域医療体制の整備状況

【問8】地域医療体制が整っていると感じますか。



地域医療体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(10.2%)と「どちらかというと感じる」(42.3%)を合わせた《感じる》(52.5%)は5割を超えている。「感じない」(10.6%)と「どちらかというと感じない」(21.5%)を合わせた《感じない》(32.1%)は3割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(52.5%)は令和2年度(57.8%)から5.3ポイント減少し、《感じない》(32.1%)は令和2年度(20.2%)から11.9ポイント増加している。

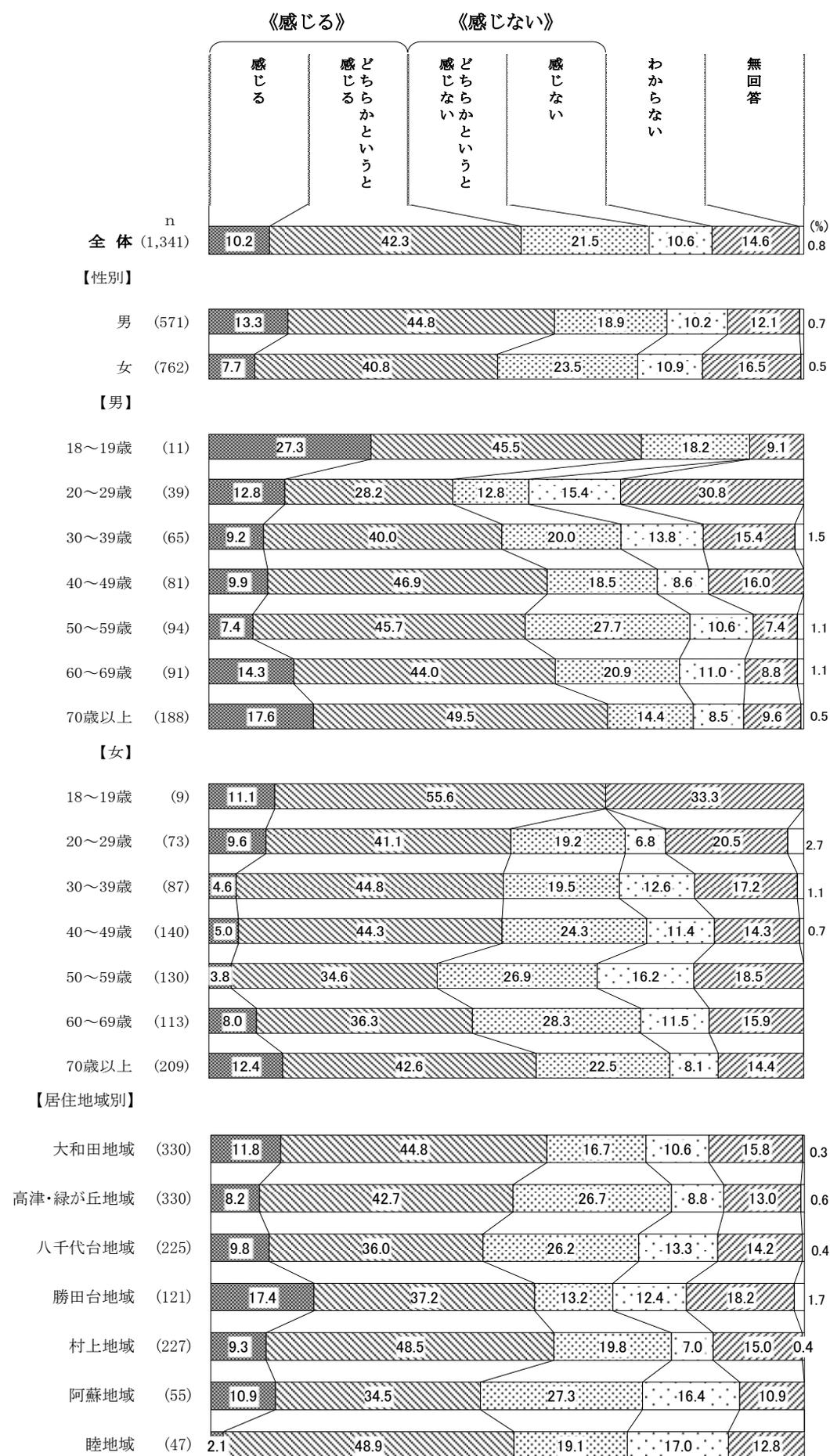
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(58.1%)で約6割、女性(48.5%)で約5割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(29.1%)が約3割、女性(34.4%)が3割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(72.8%)で7割を超えて最も高く、次いで70歳以上(67.1%)で約7割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(55.0%)で5割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(38.3%)で約4割と最も高く、次いで30～39歳(33.8%)で3割台半ばとなっている。女性では50～59歳(43.1%)で4割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(39.8%)で約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、村上地域(57.8%)で約6割と最も高く、次いで大和田地域(56.6%)で5割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(43.7%)で4割台半ばと最も高く、次いで八千代台地域(39.5%)で約4割となっている。

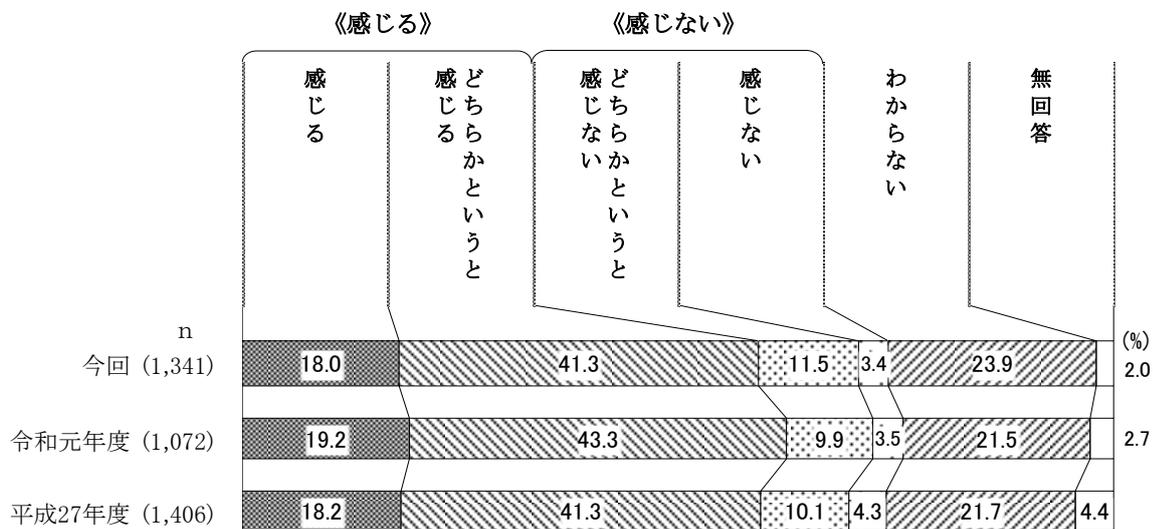
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑤ 子どもの健やかな発育・発達

【問9】子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じますか。



子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じるかについては、「感じる」(18.0%)と「どちらかというと感じる」(41.3%)を合わせた《感じる》(59.3%)は約6割となっている。「感じない」(3.4%)と「どちらかというと感じない」(11.5%)を合わせた《感じない》(14.9%)は1割台半ばとなっている。過去の調査結果と比較すると、《感じる》(59.3%)は令和元年度(62.5%)から3.2ポイント減少し、《感じない》(14.9%)は令和元年度(13.4%)から1.5ポイント減少している。

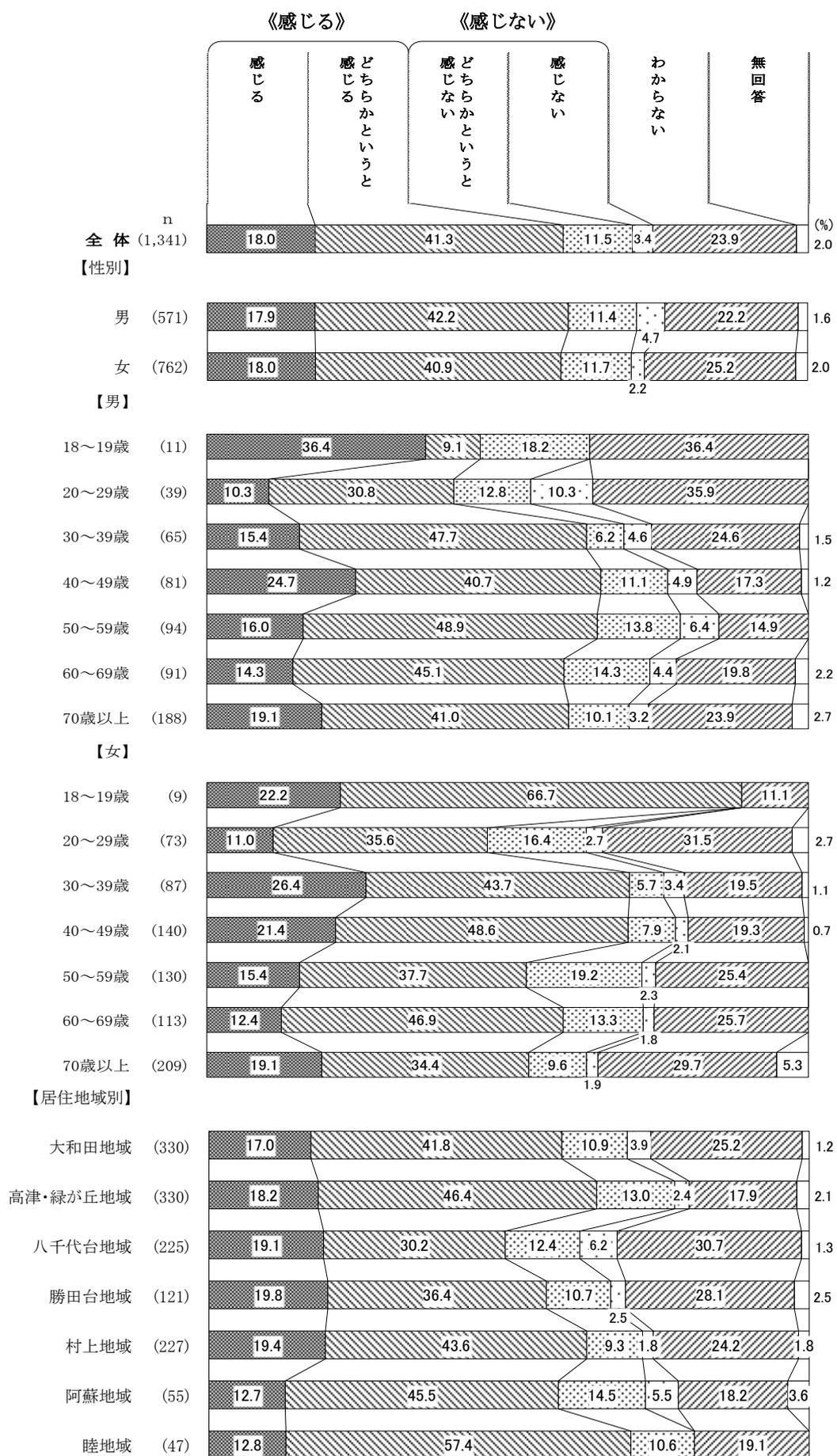
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(60.1%)で6割、女性(58.9%)で約6割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(16.1%)、女性(13.9%)ともに1割半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では40～49歳(65.4%)で6割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(64.9%)でも6割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.9%)で約9割と最も高く、次いで30～39歳(70.1%)で7割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では20～29歳(23.1%)で2割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(20.2%)が2割となっている。女性では50～59歳(21.5%)で2割を超えて最も高く、次いで20～29歳(19.1%)で約2割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、睦地域(70.2%)で7割と最も高く、次いで高津・緑が丘地域(64.6%)で6割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(20.0%)で2割と最も高く、次いで八千代台地域(18.6%)で約2割となっている。

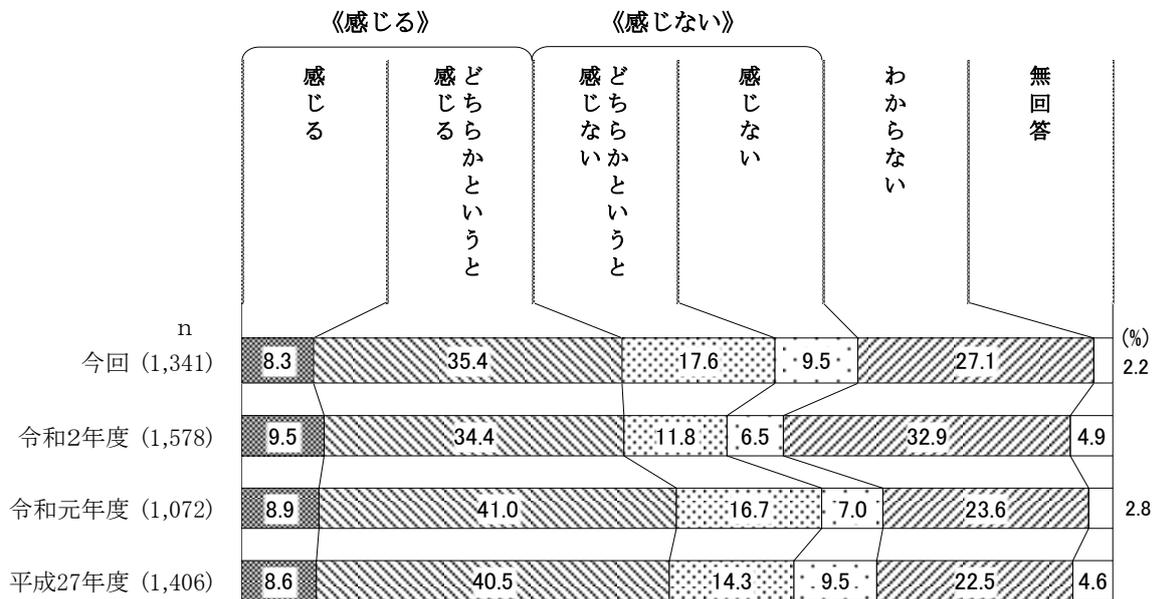
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑥ 子育てしやすいまち

【問10】子育てしやすいまちと感じていますか。



子育てしやすいまちと感じているかについては、「感じる」(8.3%)と「どちらかというと感じる」(35.4%)を合わせた《感じる》(43.7%)は4割台半ばとなっている。「感じない」(9.5%)と「どちらかというと感じない」(17.6%)を合わせた《感じない》(27.1%)は約3割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(43.7%)は令和2年度(43.9%)と大きな差はみられず、《感じない》(27.1%)は令和2年度(18.3%)から8.8ポイント増加している。

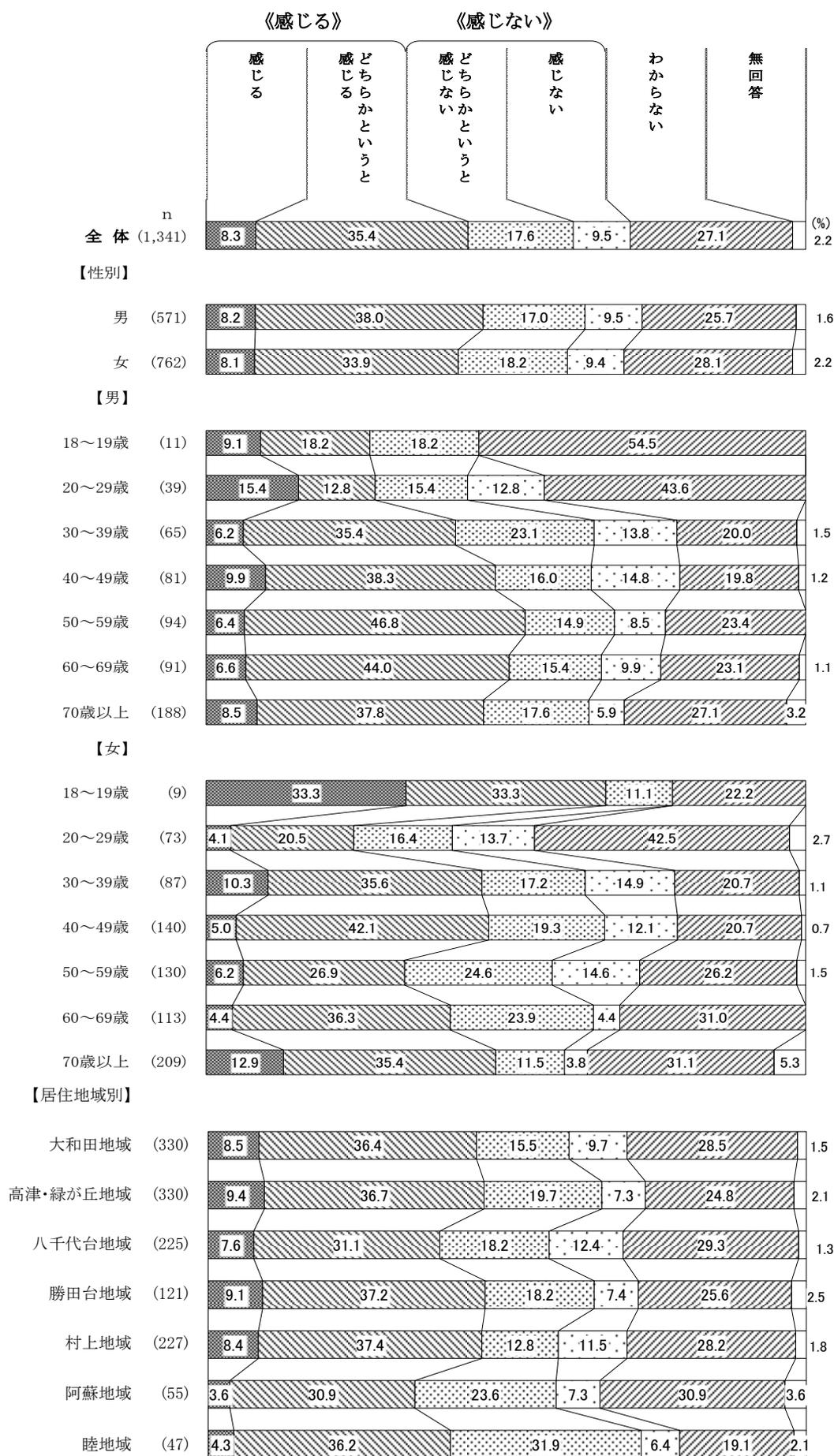
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(46.2%)で4割台半ば、女性(42.0%)で4割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性(26.5%)で2割台半ば、女性(27.6%)で約3割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では50～59歳(53.2%)で5割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(50.6%)で5割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.6%)で6割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(48.3%)で約5割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では30～39歳(36.9%)で3割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(30.8%)で3割となっている。女性では50～59歳(39.2%)で約4割と最も高く、次いで30～39歳(32.1%)で3割を超えている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(46.3%)で4割台半ばと最も高く、次いで高津・緑が丘地域(46.1%)でも4割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(38.3%)で約4割と最も高く、次いで阿蘇地域(30.9%)で3割となっている。

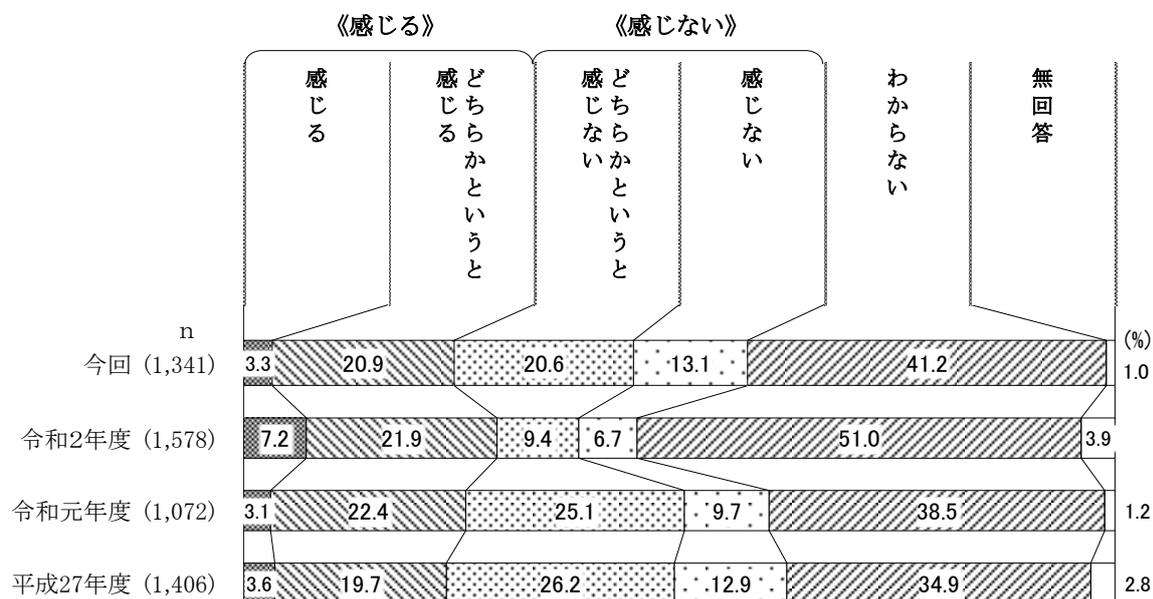
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑦ 高齢者福祉サービスの充実

【問11】 高齢者福祉サービスが充実していると感じますか。



高齢者福祉サービスが充実していると感じるかについては、「感じる」(3.3%)と「どちらかというと感じる」(20.9%)を合わせた《感じる》(24.2%)は2割台半ばとなっている。「感じない」(13.1%)と「どちらかというと感じない」(20.6%)を合わせた《感じない》(33.7%)は3割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(24.2%)は令和2年度(29.1%)から4.9ポイント減少し、《感じない》(33.7%)は令和2年度(16.1%)から17.6ポイント増加している。

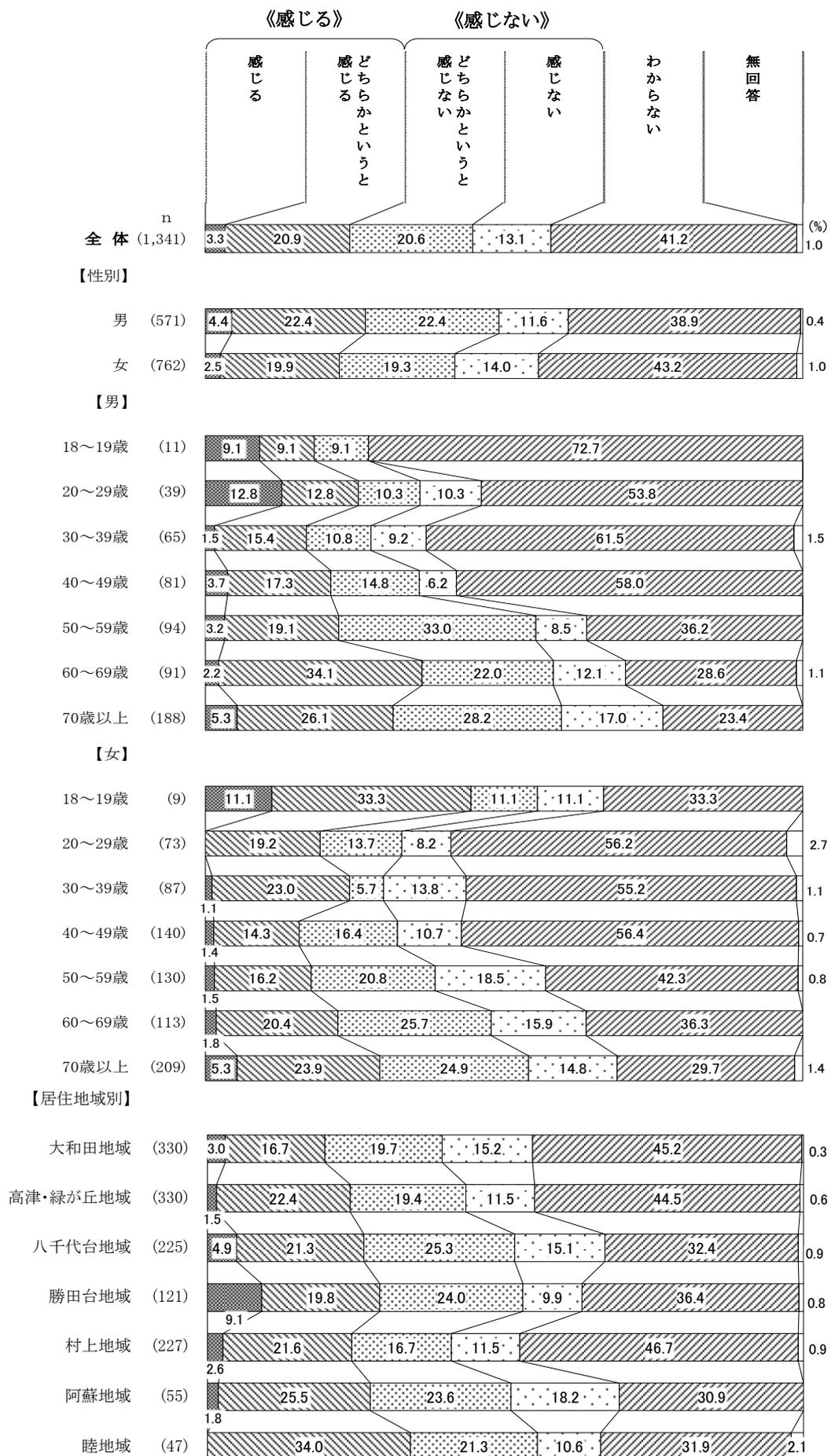
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(26.8%)で2割台半ば、女性(22.4%)で2割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性(34.0%)、女性(33.3%)ともに3割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(36.3%)で3割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(31.4%)で3割を超えている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(44.4%)で4割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(39.2%)で約4割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では70歳以上(45.2%)で4割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(41.5%)で4割を超えている。女性では60～69歳(41.6%)で4割を超えて最も高く、次いで70歳以上(39.7%)、50～59歳(39.3%)ともに約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、睦地域(34.0%)で3割台半ばと最も高く、次いで勝田台地域(28.9%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(41.8%)で4割を超えて最も高く、次いで八千代台地域(40.4%)で4割となっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

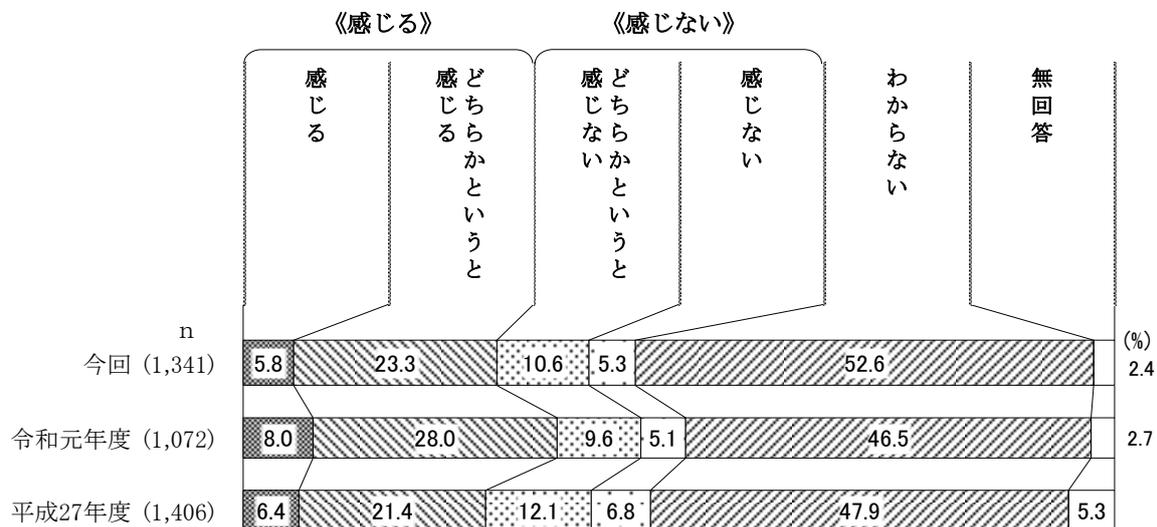


III 調査結果の分析

■教育文化都市をめざして

① 幼稚園教育の充実

【問12】 幼稚園の教育が充実していると感じますか。



幼稚園の教育が充実していると感じるかについては、「感じる」(5.8%)と「どちらかというと感じる」(23.3%)を合わせた《感じる》(29.1%)は約3割となっている。「感じない」(5.3%)と「どちらかというと感じない」(10.6%)を合わせた《感じない》(15.9%)は1割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(29.1%)は令和元年度(36.0%)から6.9ポイント減少し、《感じない》(15.9%)は令和元年度(14.7%)から1.2ポイント増加している。

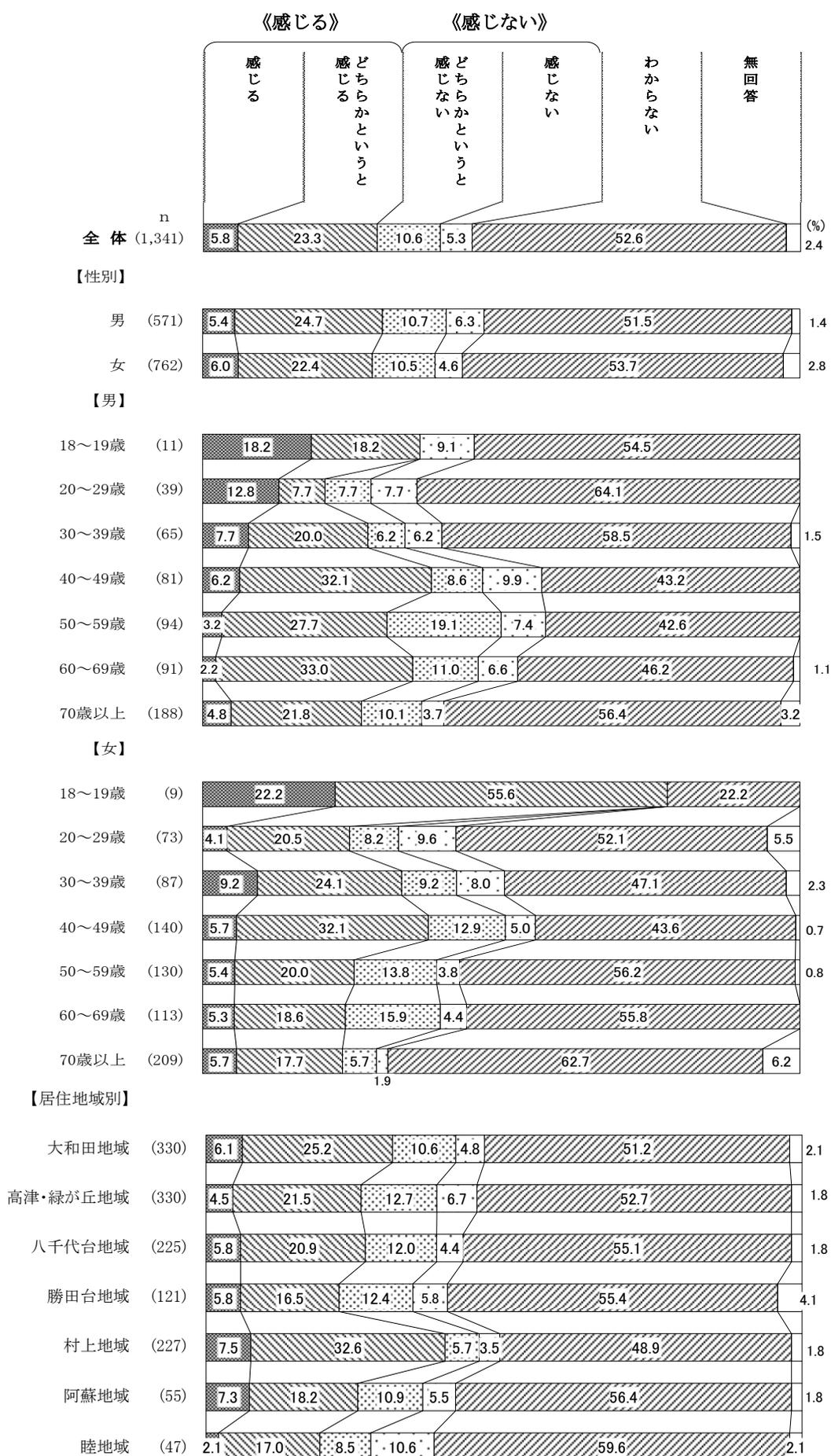
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(30.1%)で3割、女性(28.4%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(17.0%)で約2割、女性(15.1%)で1割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では40～49歳(38.3%)で約4割と最も高く、次いで60～69歳(35.2%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.8%)で約8割と最も高く、次いで40～49歳(37.8%)で約4割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(26.5%)で2割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(17.6%)で約2割となっている。女性では60～69歳(20.3%)で2割と最も高く、次いで40～49歳(17.9%)で約2割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、村上地域(40.1%)で4割と最も高く、次いで大和田地域(31.3%)で3割を超えている。一方、《感じない》の割合は、高津・緑が丘地域(19.4%)で約2割と最も高く、次いで睦地域(19.1%)でも約2割となっている。

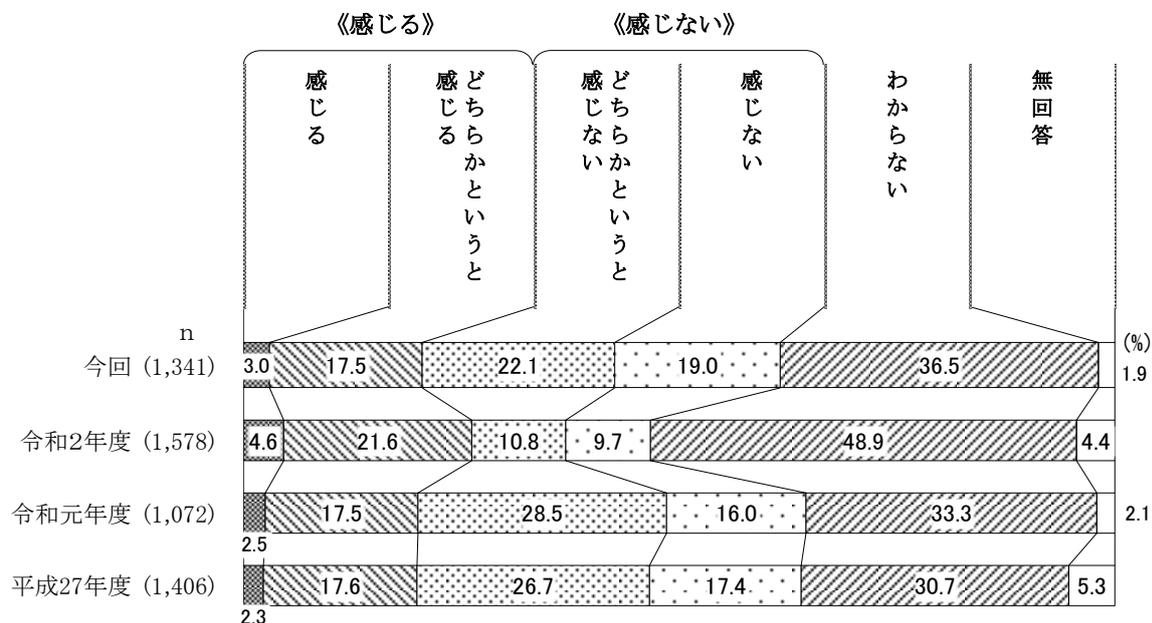
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 生涯学習情報の得やすさ

【問13】生涯学習情報が得られやすいと感じますか。



生涯学習情報が得られやすいと感じるかについては、「感じる」(3.0%)と「どちらかというと感じる」(17.5%)を合わせた《感じる》(20.5%)は2割となっている。「感じない」(19.0%)と「どちらかというと感じない」(22.1%)を合わせた《感じない》(41.1%)は4割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(20.5%)は令和2年度(26.2%)から5.7ポイント減少し、《感じない》(41.1%)は令和2年度(20.5%)から20.6ポイント増加している。

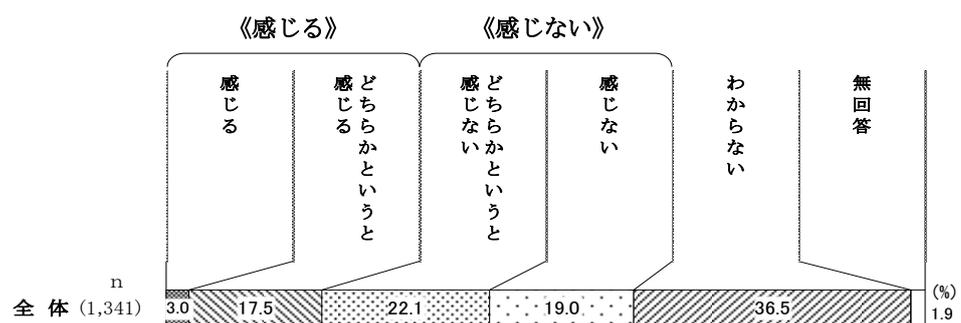
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(22.1%)で2割、女性(19.5%)で約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(42.9%)で4割を超えており、女性(40.0%)で4割となっている。

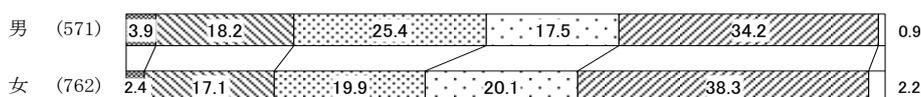
性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(28.2%)で約3割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(27.3%)で約3割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.7%)で6割台半ばを超えている。一方、《感じない》の割合は、男性では60～69歳(50.6%)で5割と最も高く、次いで50～59歳(47.9%)で約5割となっている。女性では60～69歳(58.4%)で約6割と最も高く、次いで30～39歳(45.9%)で4割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、大和田地域(24.5%)で2割台半ばと最も高く、次いで村上地域(23.8%)でも2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、高津・緑が丘地域(45.1%)で4割台半ばと最も高く、八千代台地域(44.9%)でも4割台半ばとなっている。

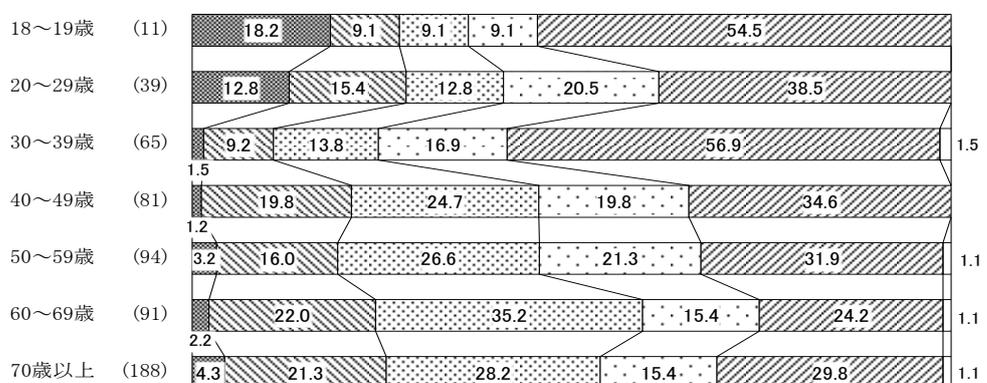
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



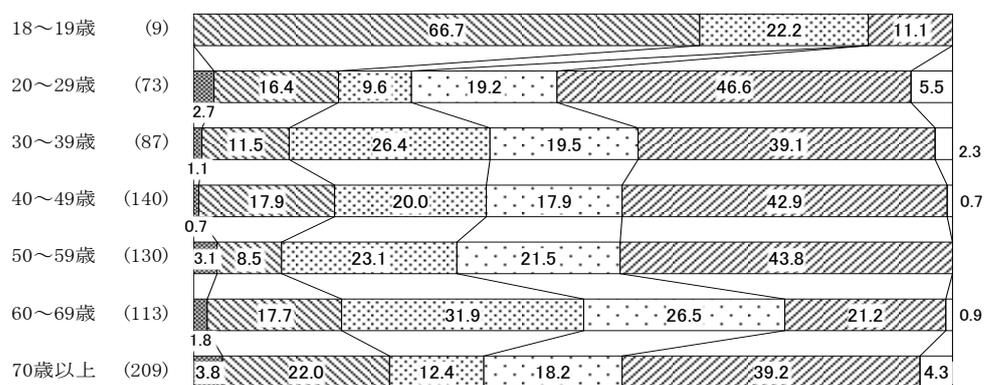
【性別】



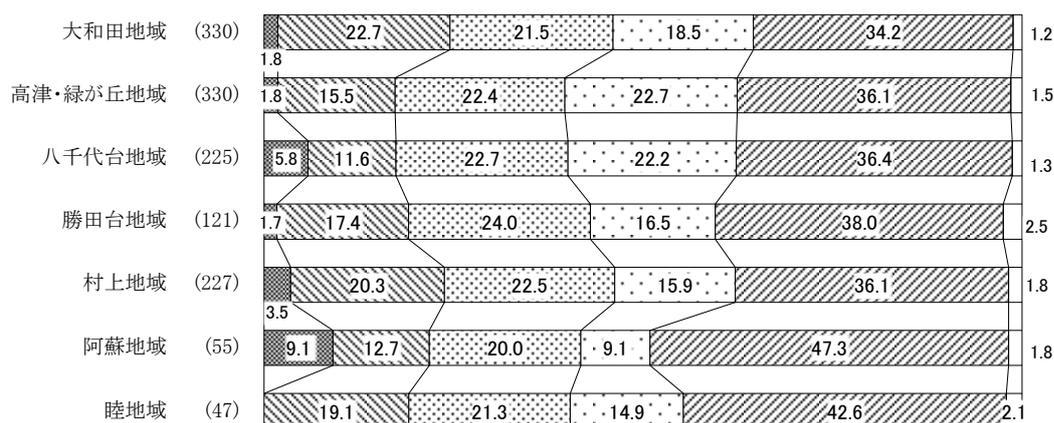
【男】



【女】



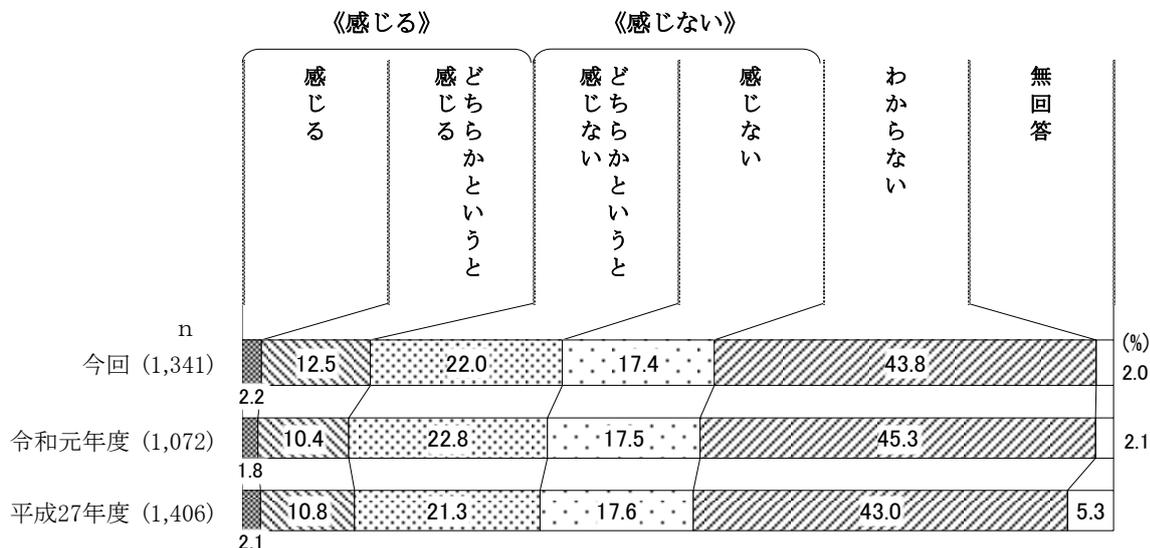
【居住地域別】



Ⅲ 調査結果の分析

③ 男女共同参画社会の進展

【問14】男女共同参画社会が進んでいると感じますか。



男女共同参画社会が進んでいると感じるかについては、「感じる」(2.2%)と「どちらかというと感じる」(12.5%)を合わせた《感じる》(14.7%)は1割台半ばとなっている。「感じない」(17.4%)と「どちらかというと感じない」(22.0%)を合わせた《感じない》(39.4%)は約4割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(14.7%)は令和元年度(12.2%)から2.5ポイント増加し、《感じない》(39.4%)は令和元年度(40.3%)と大きな差はみられない。

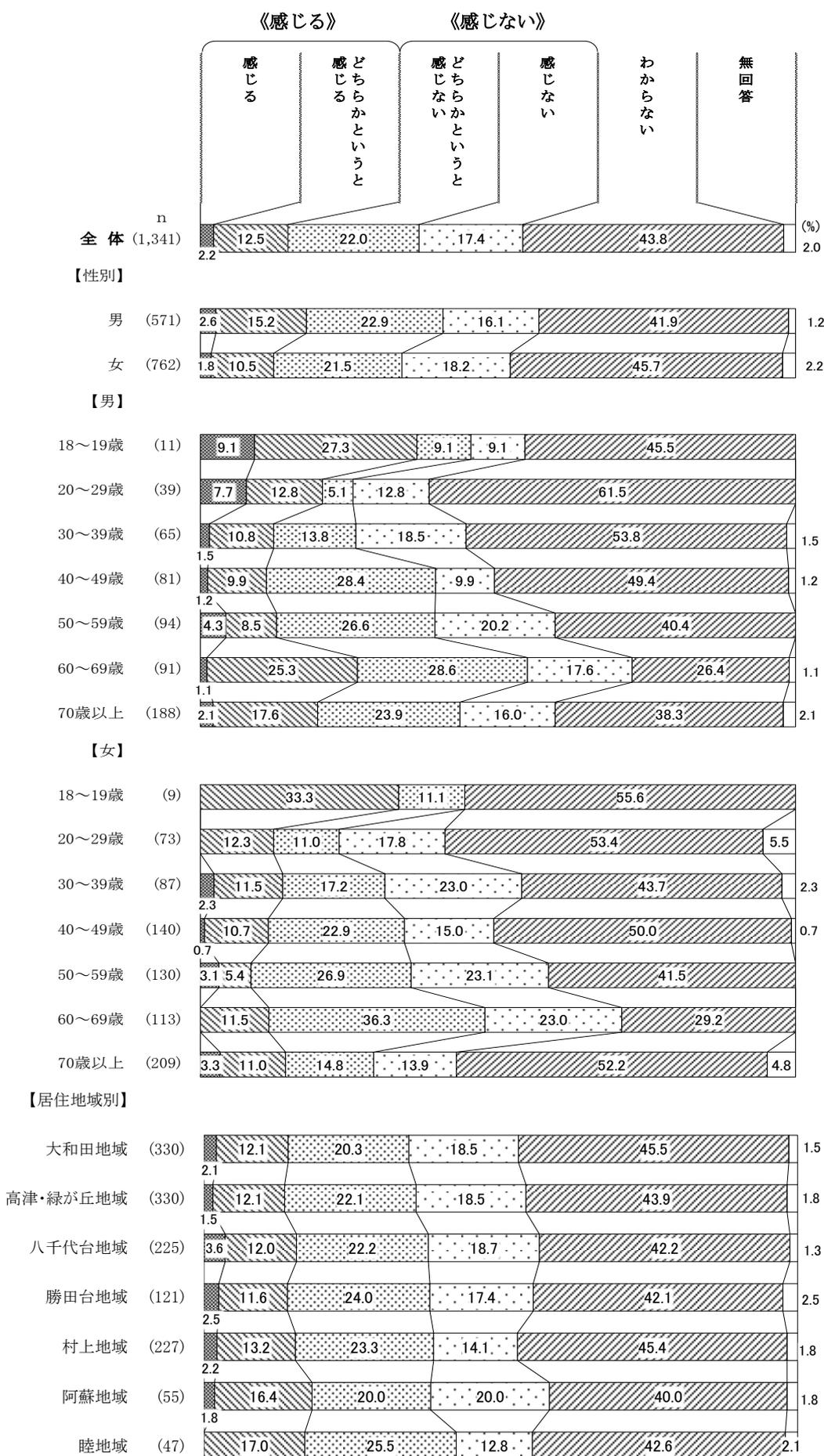
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(17.8%)で約2割、女性(12.3%)で1割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性(39.0%)、女性(39.7%)ともに約4割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(36.4%)で3割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(26.4%)で2割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(33.3%)で3割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(14.3%)で1割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(46.8%)で4割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(46.2%)でも4割台半ばとなっている。女性では60～69歳(59.3%)で約6割と最も高く、次いで50～59歳(50.0%)で5割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、阿蘇地域(18.2%)で約2割と最も高く、次いで睦地域(17.0%)でも約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、勝田台地域(41.4%)で4割を超えて最も高く、次いで八千代台地域(40.9%)で4割となっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

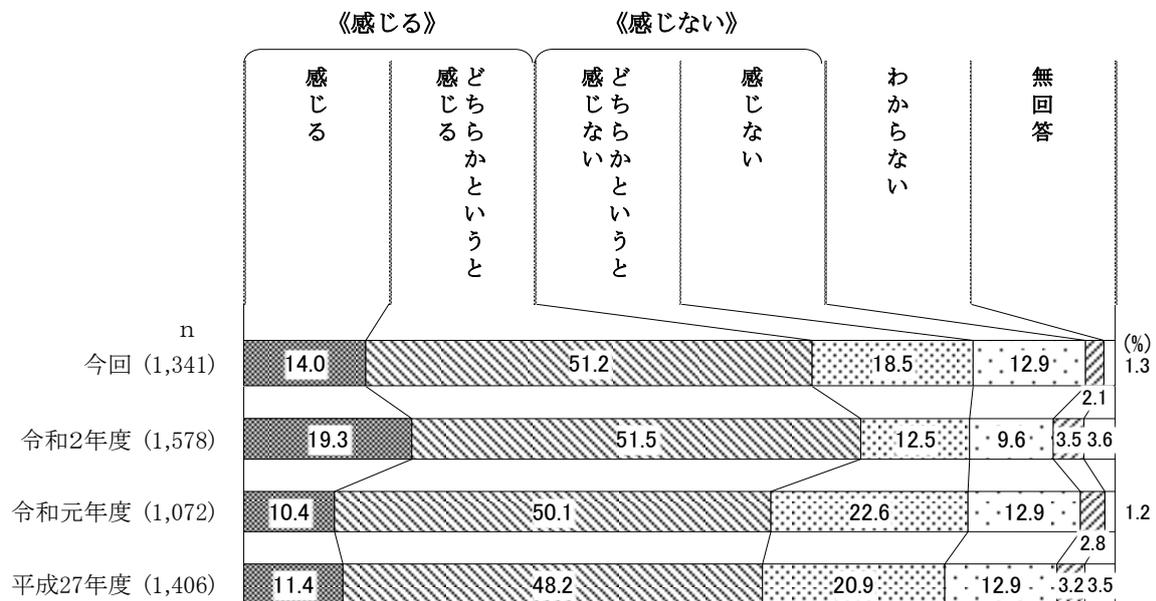


III 調査結果の分析

■環境共生都市をめざして

① まちのきれいさ

【問15】 まちにごみがなくきれいだと感じますか。



まちにごみがなくきれいだと感じるかについては、「感じる」(14.0%)と「どちらかというと感じる」(51.2%)を合わせた《感じる》(65.2%)は6割台半ばとなっている。「感じない」(12.9%)と「どちらかというと感じない」(18.5%)を合わせた《感じない》(31.4%)は3割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(65.2%)は令和2年度(70.8%)から5.6ポイント減少し、《感じない》(31.4%)は令和2年度(22.1%)から9.3ポイント増加している。

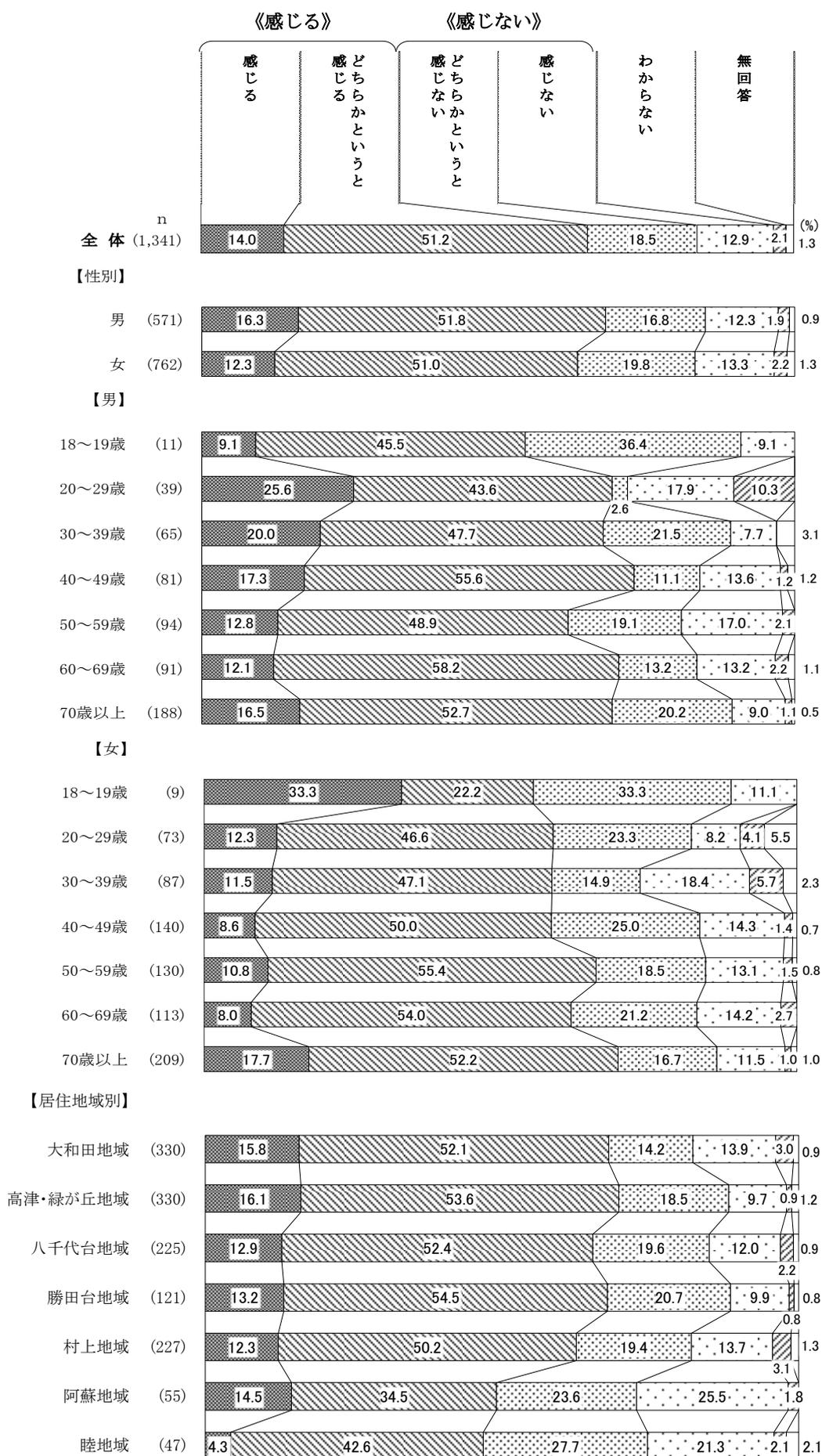
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(68.1%)で約7割、女性(63.3%)で6割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(29.1%)で約3割、女性(33.1%)で3割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では40～49歳(72.9%)で7割を超えて最も高く、次いで60～69歳(70.3%)で7割となっている。女性では70歳以上(69.9%)で約7割と最も高く、次いで50～59歳(66.2%)で6割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(36.1%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(44.4%)で4割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(39.3%)で約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、高津・緑が丘地域(69.7%)で約7割と最も高く、次いで大和田地域(67.9%)でも約7割となっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(49.1%)で約5割と最も高く、次いで睦地域(49.0%)でも約5割となっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

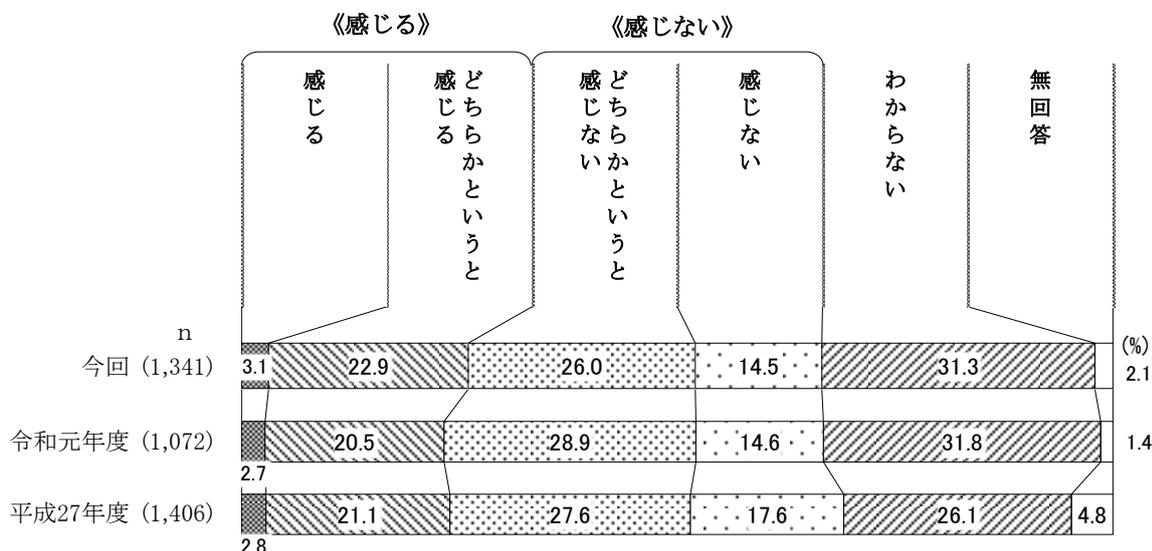


III 調査結果の分析

■安心安全都市をめざして

① 消費生活情報の得やすさ

【問16】消費生活情報の提供が適切に行われていると感じますか。



消費生活情報の提供が適切だと感じるかについては、「感じる」(3.1%)と「どちらかというと感じる」(22.9%)を合わせた《感じる》(26.0%)は2割台半ばとなっている。「感じない」(14.5%)と「どちらかというと感じない」(26.0%)を合わせた《感じない》(40.5%)は4割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(26.0%)は令和元年度(23.2%)から2.8ポイント増加し、《感じない》(40.5%)は3.0ポイント減少している。《感じない》(40.5%)は令和元年度(43.5%)から3ポイント減少している。

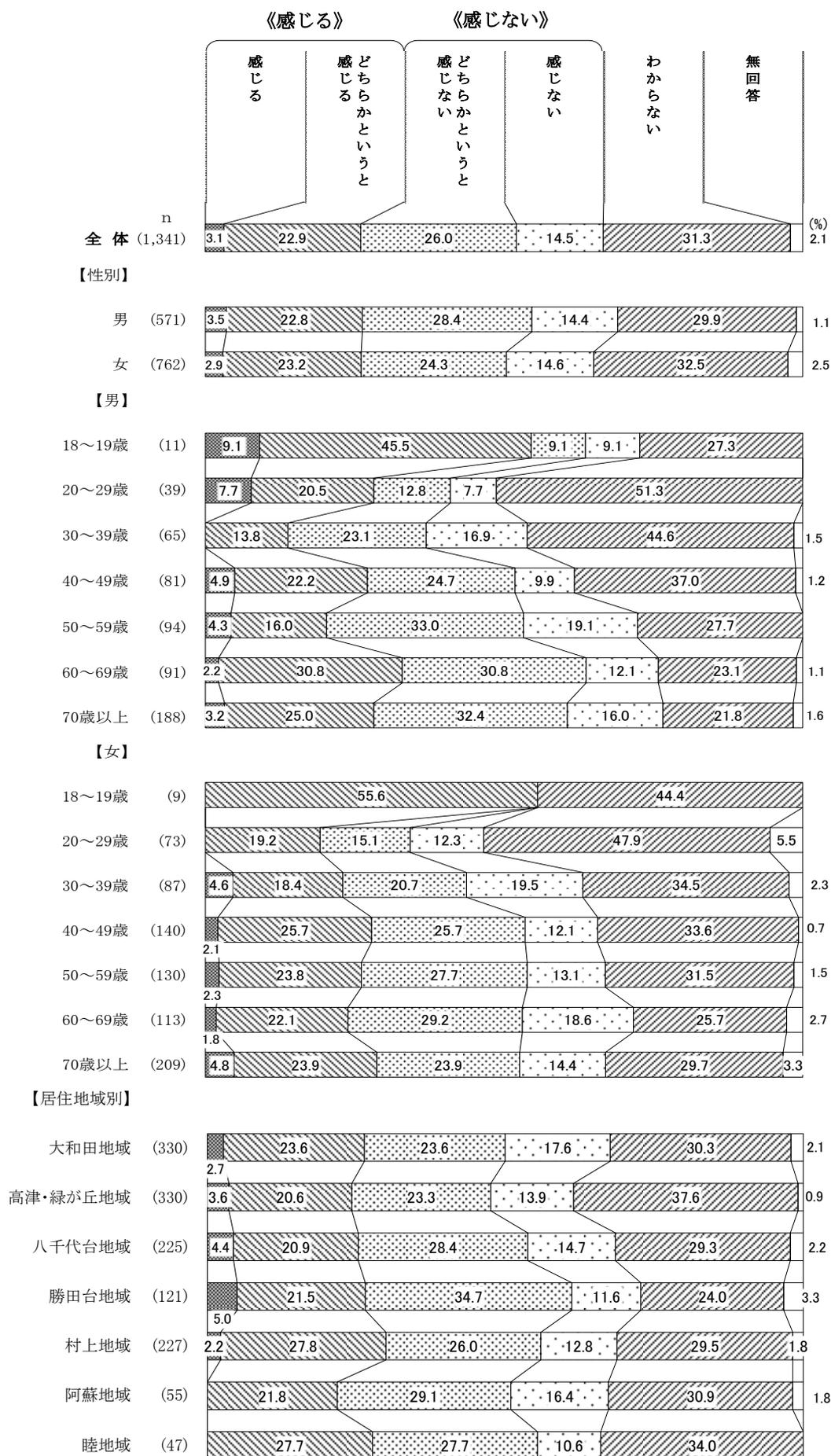
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(26.3%)、女性(26.1%)ともに2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(42.8%)で4割を超えており、女性(38.9%)で約4割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、回答者数は少ないが男性18～19歳(54.6%)で最も高く、次いで60～69歳(33.0%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.6%)で5割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(28.7%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(52.1%)で5割を超えて最も高く、次いで70歳以上(48.4%)でも約5割となっている。女性では60～69歳(47.8%)で約5割と最も高く、次いで50～59歳(40.8%)で約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、村上地域(30.0%)で3割と最も高く、次いで睦地域(27.7%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、勝田台地域(46.3%)で4割台半ばと最も高く、次いで阿蘇地域(45.5%)でも4割台半ばとなっている。

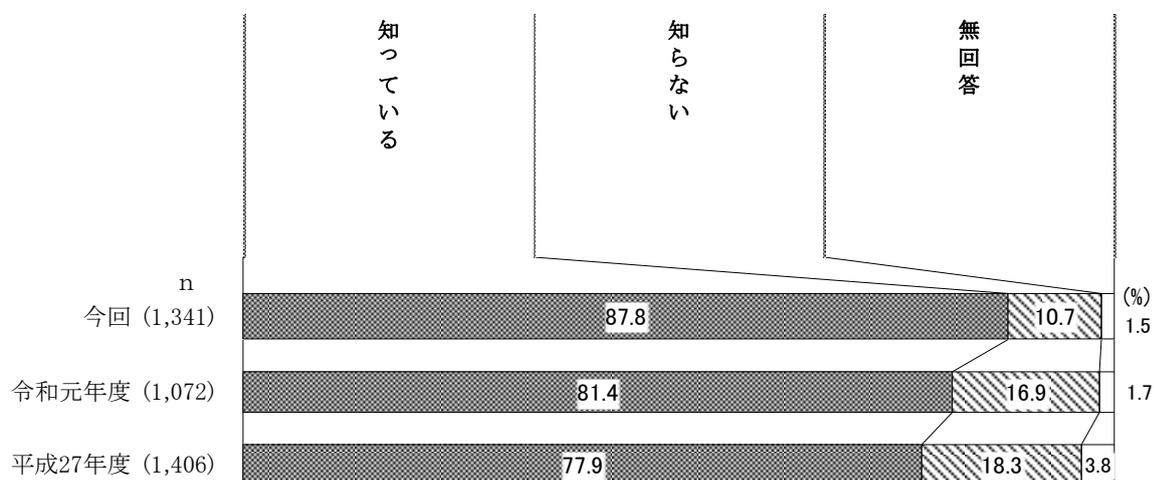
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 災害時の避難場所

【問17】 災害時の避難場所を知っていますか。



災害時の避難場所については、「知っている」(87.8%)は約9割となっている。「知らない」(10.7%)は1割となっている。

過去の調査結果と比較すると、「知っている」(87.8%)は令和元年度(81.4%)から6.4ポイント増加し、「知らない」(10.7%)は令和元年度(16.9%)から6.2ポイント減少している。

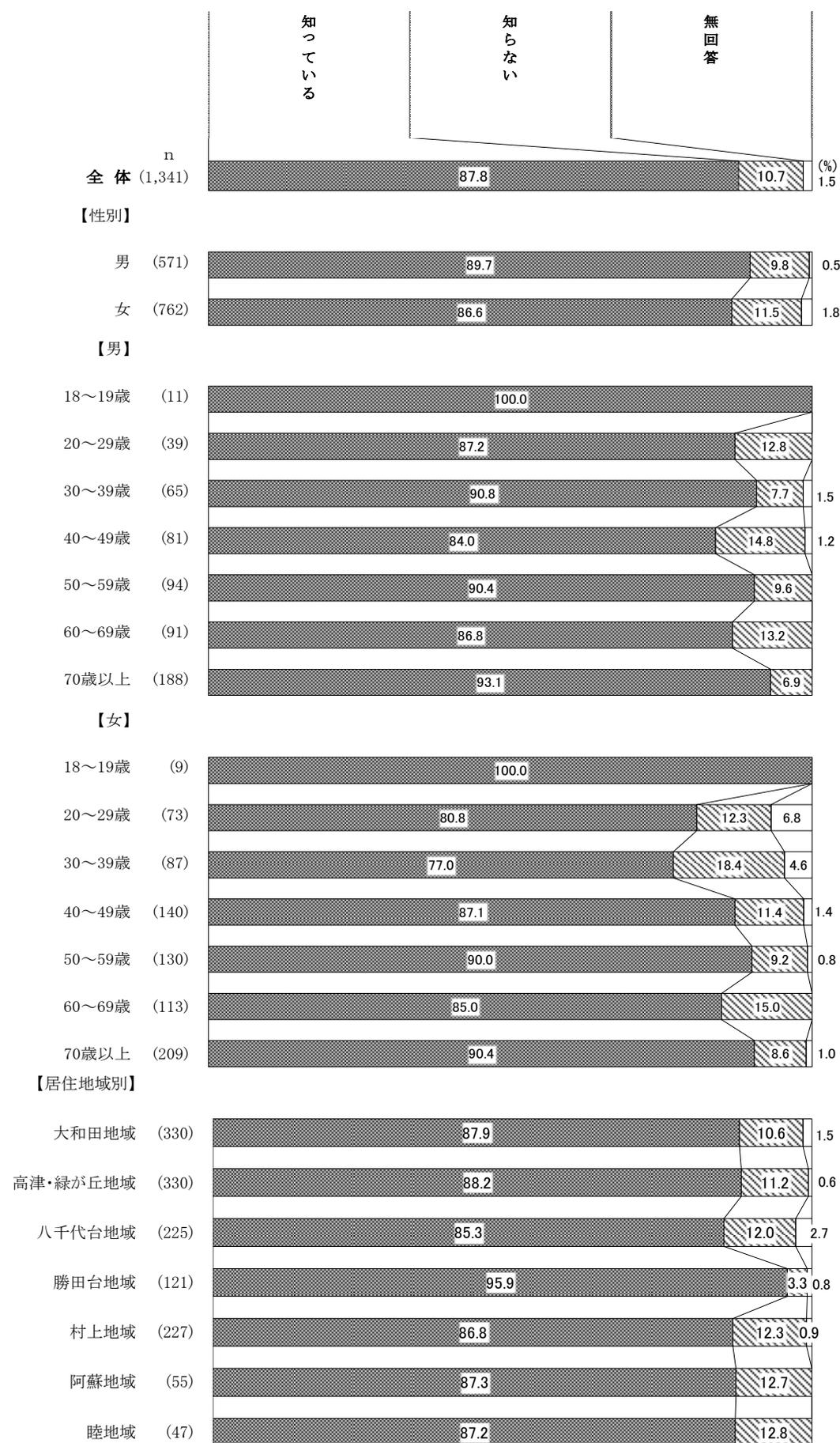
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、「知っている」の割合は、男性(89.7%)で約9割、女性(86.6%)で8割台半ばとなっている。一方、「知らない」の割合は、男性(9.8%)で約1割、女性(11.5%)で1割を超えている。

性・年齢別では、「知っている」の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(100.0%)で10割と最も高く、70歳以上(93.1%)で9割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(100.0%)で10割と最も高く、次いで70歳以上(90.4%)で9割となっている。一方、「知らない」の割合は、男性では40～49歳(14.8%)で1割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(13.2%)で1割台半ばとなっている。女性では30～39歳(18.4%)で約2割と最も高く、次いで60～69歳(15.0%)で1割台半ばとなっている。

居住地域別では、「知っている」の割合は、勝田台地域(95.9%)が9割台半ばと最も高く、次いで高津・緑が丘地域(88.2%)で約9割となっている。一方、「知らない」の割合は、睦地域(12.8%)が1割を超えて最も高く、次いで阿蘇地域(12.7%)でも1割を超えている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

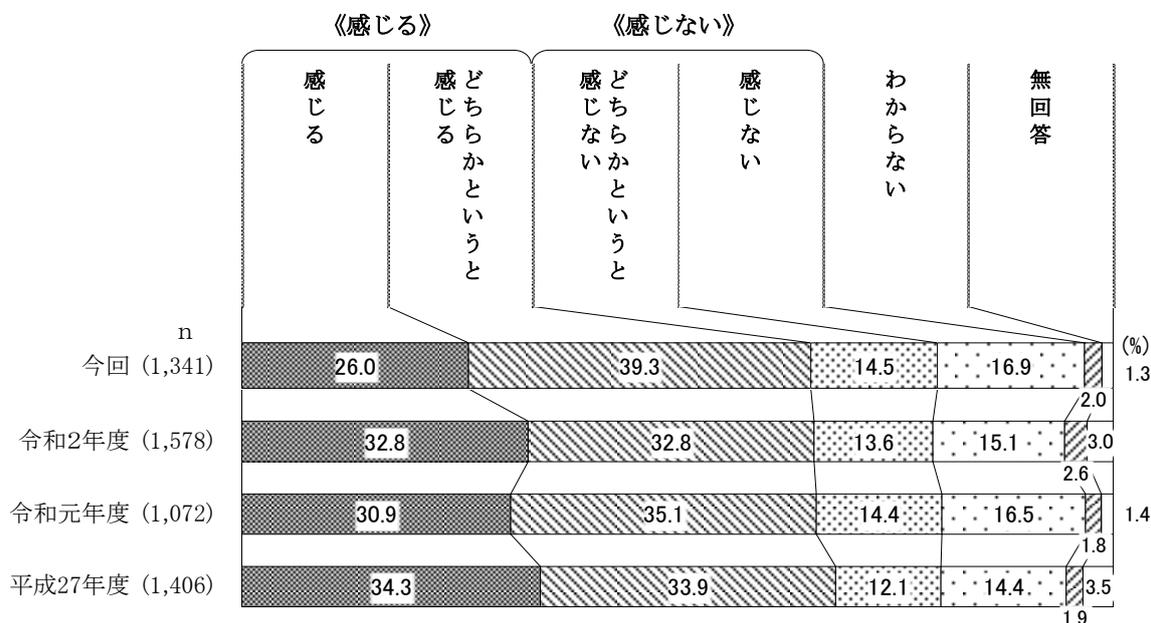


Ⅲ 調査結果の分析

■ 快適生活都市をめざして

① 鉄道の利用しやすさ

【問18】 鉄道が利用しやすいと感じますか。



鉄道が利用しやすいと感じるかについては、「感じる」(26.0%)と「どちらかというと感じる」(39.3%)を合わせた《感じる》(65.3%)は6割台半ばとなっている。「感じない」(16.9%)と「どちらかというと感じない」(14.5%)を合わせた《感じない》(31.4%)は3割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(65.3%)は令和2年度(65.6%)から大きな差はみられず、《感じない》(31.4%)は令和2年度(28.7%)から2.7ポイント減少している。

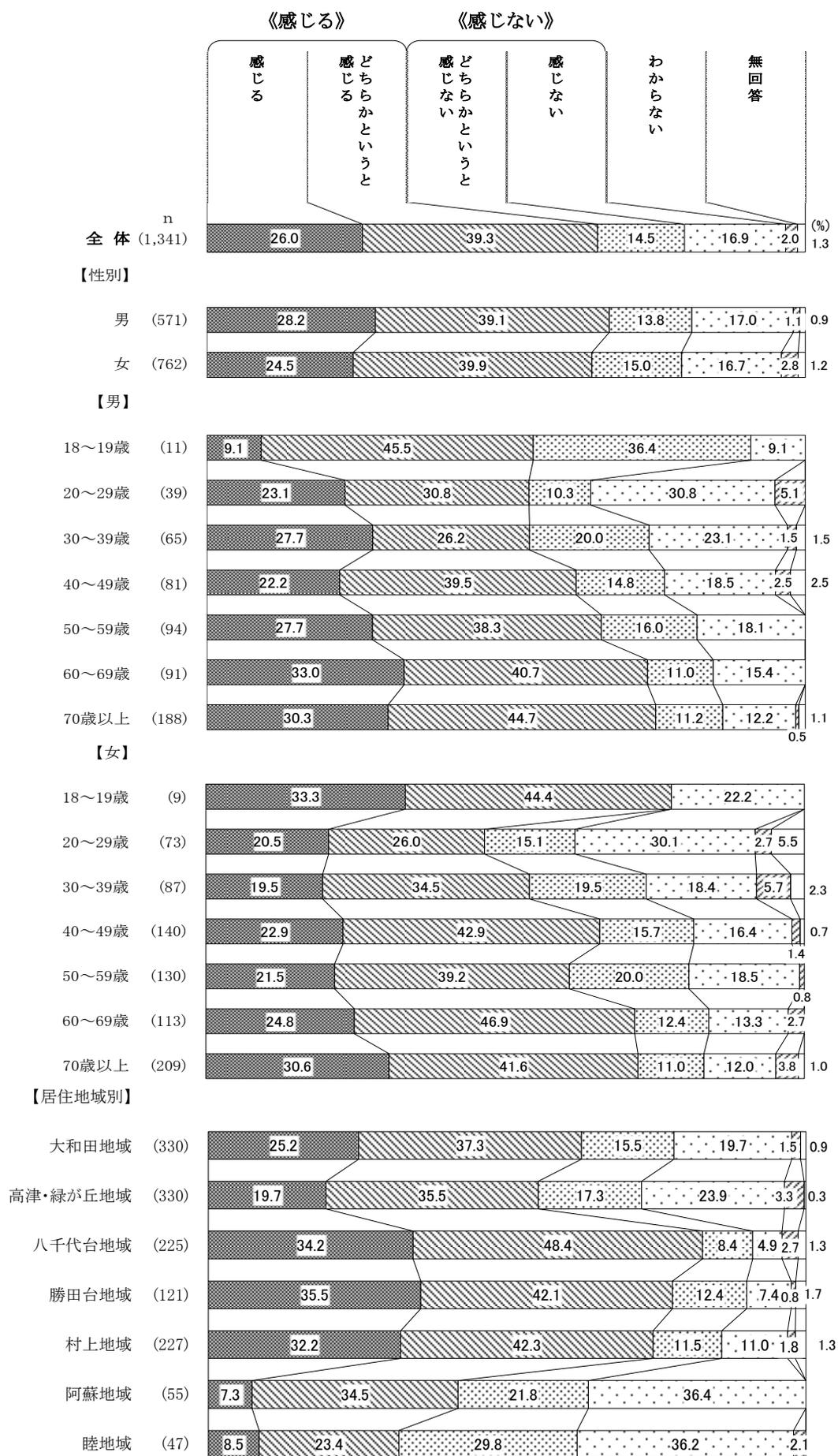
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(67.3%)で約7割、女性(64.4%)で6割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(30.8%)で3割、女性(31.7%)で3割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では70歳以上(75.0%)で7割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(73.7%)で7割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.7%)で約8割と最も高く、次いで70歳以上(72.2%)で7割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(43.1%)で4割台半ばとなっている。女性では20～29歳(45.2%)で4割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(38.5%)で約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、八千代台地域(82.6%)で8割を超えて最も高く、次いで勝田台地域(77.6%)で約8割となっている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(66.0%)で6割台半ばと最も高く、次いで阿蘇地域(58.2%)で約6割となっている。

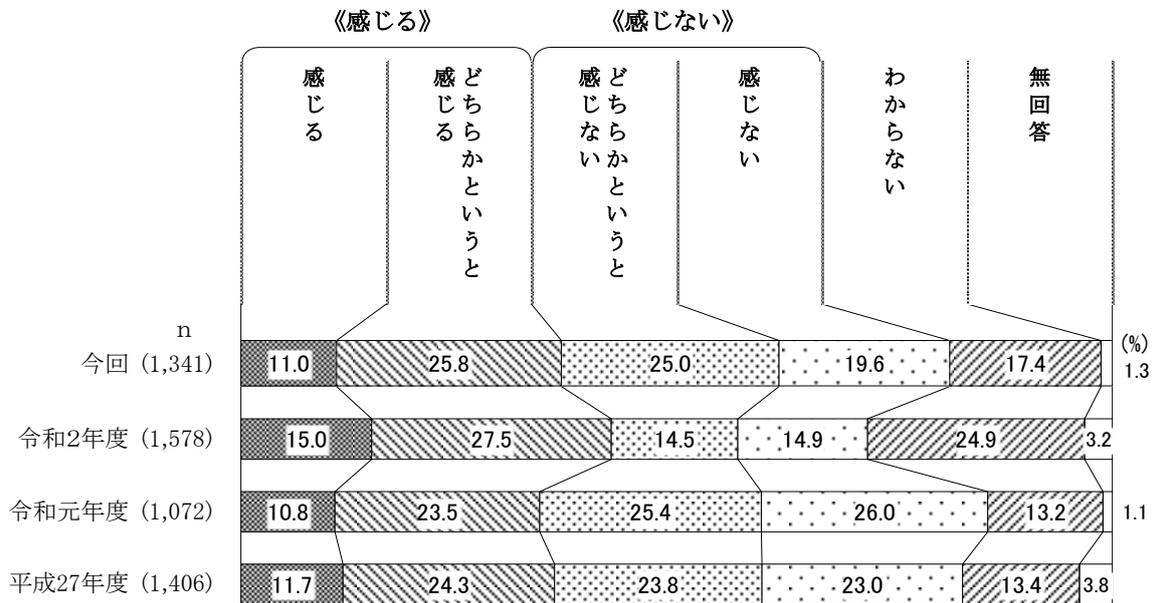
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② バスの利用しやすさ

【問19】市内のバスが利用しやすいと感じますか。



市内のバスが利用しやすいと感じるかについては、「感じる」(11.0%)と「どちらかというと感じる」(25.8%)を合わせた《感じる》(36.8%)は3割台半ばとなっている。「感じない」(19.6%)と「どちらかというと感じない」(25.0%)を合わせた《感じない》(44.6%)は4割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(36.8%)は令和2年度(42.5%)から5.7ポイント減少し、《感じない》(44.6%)は令和2年度(29.4%)から15.2ポイント増加している。

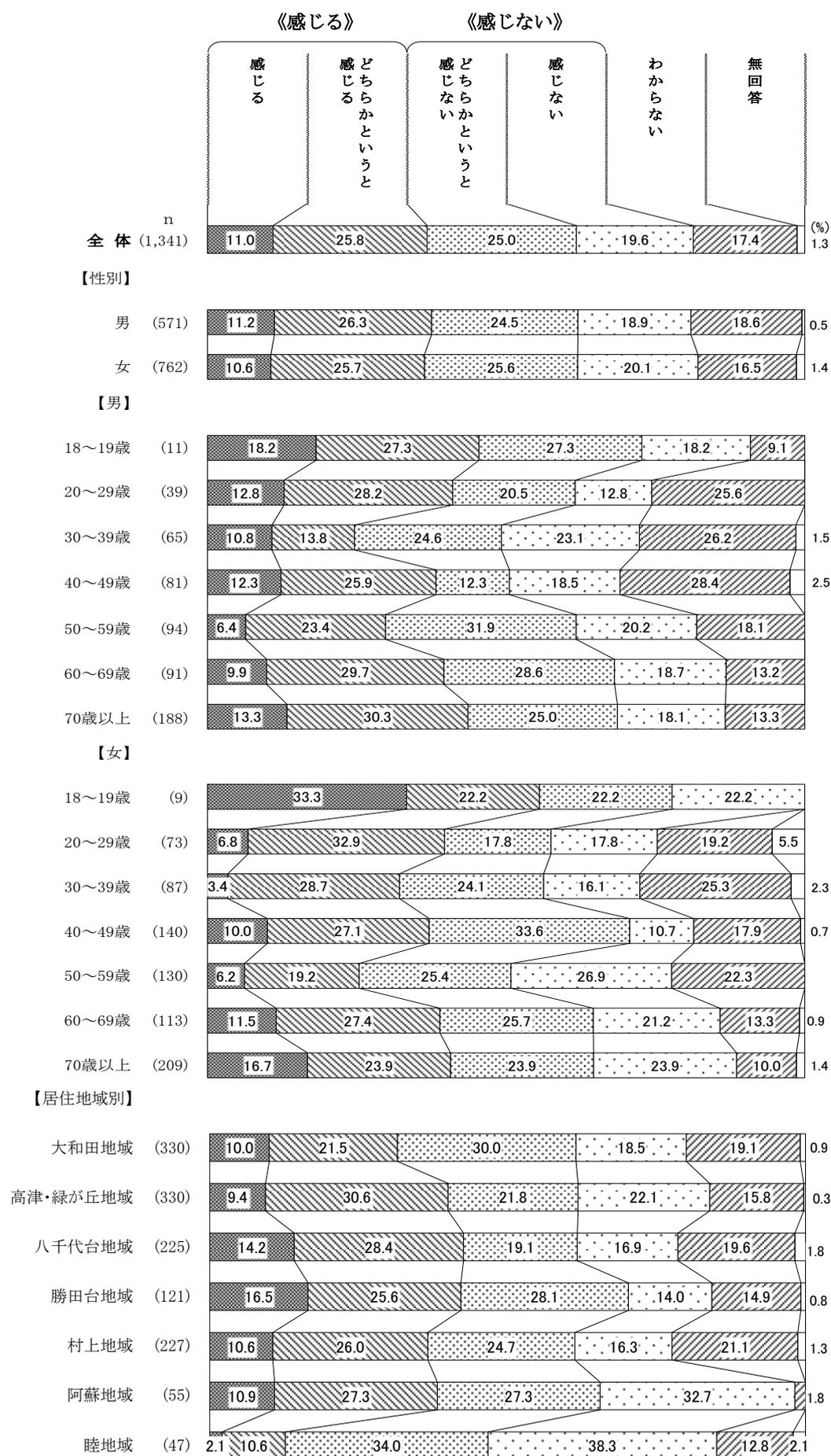
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(37.5%)で約4割となっており、女性(36.3%)で3割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(43.4%)、女性(45.7%)ともに4割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(43.6%)で4割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.5%)で5割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(40.6%)で4割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(52.1%)で5割を超えて最も高く、次いで30～39歳(47.7%)で約5割となっている。女性では50～59歳(52.3%)で5割を超えて最も高く、次いで70歳以上(47.8%)で約5割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、八千代台地域(42.6%)で4割を超えて最も高く、次いで勝田台地域(42.1%)でも4割を超えている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(72.3%)で7割を超えて最も高く、次いで阿蘇地域(60.0%)で6割となっている。

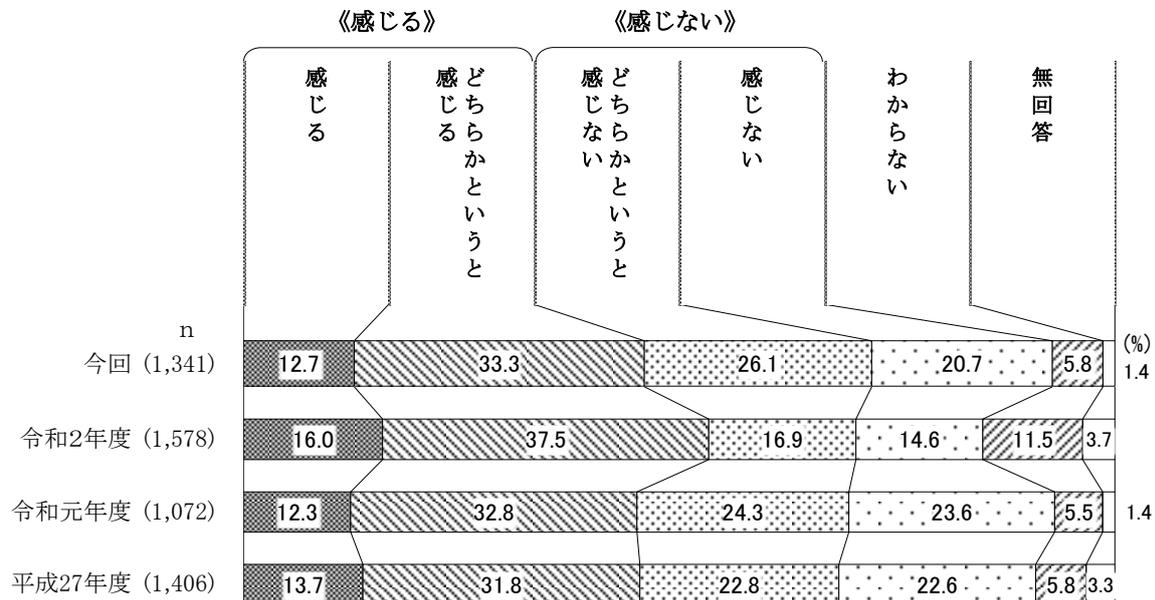
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

③ 市内・市外間の移動のしやすさ

【問20】 市内・市外間の移動がしやすいと感じますか。



市内・市外間の移動がしやすいと感じるかについては、「感じる」(12.7%)と「どちらかというと感じる」(33.3%)を合わせた《感じる》(46.0%)は4割台半ばとなっている。「感じない」(20.7%)と「どちらかというと感じない」(26.1%)を合わせた《感じない》(46.8%)は4割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(46.0%)は令和2年度(53.5%)から7.5ポイント減少し、《感じない》(46.8%)は令和2年度(31.5%)から15.3ポイント増加している。

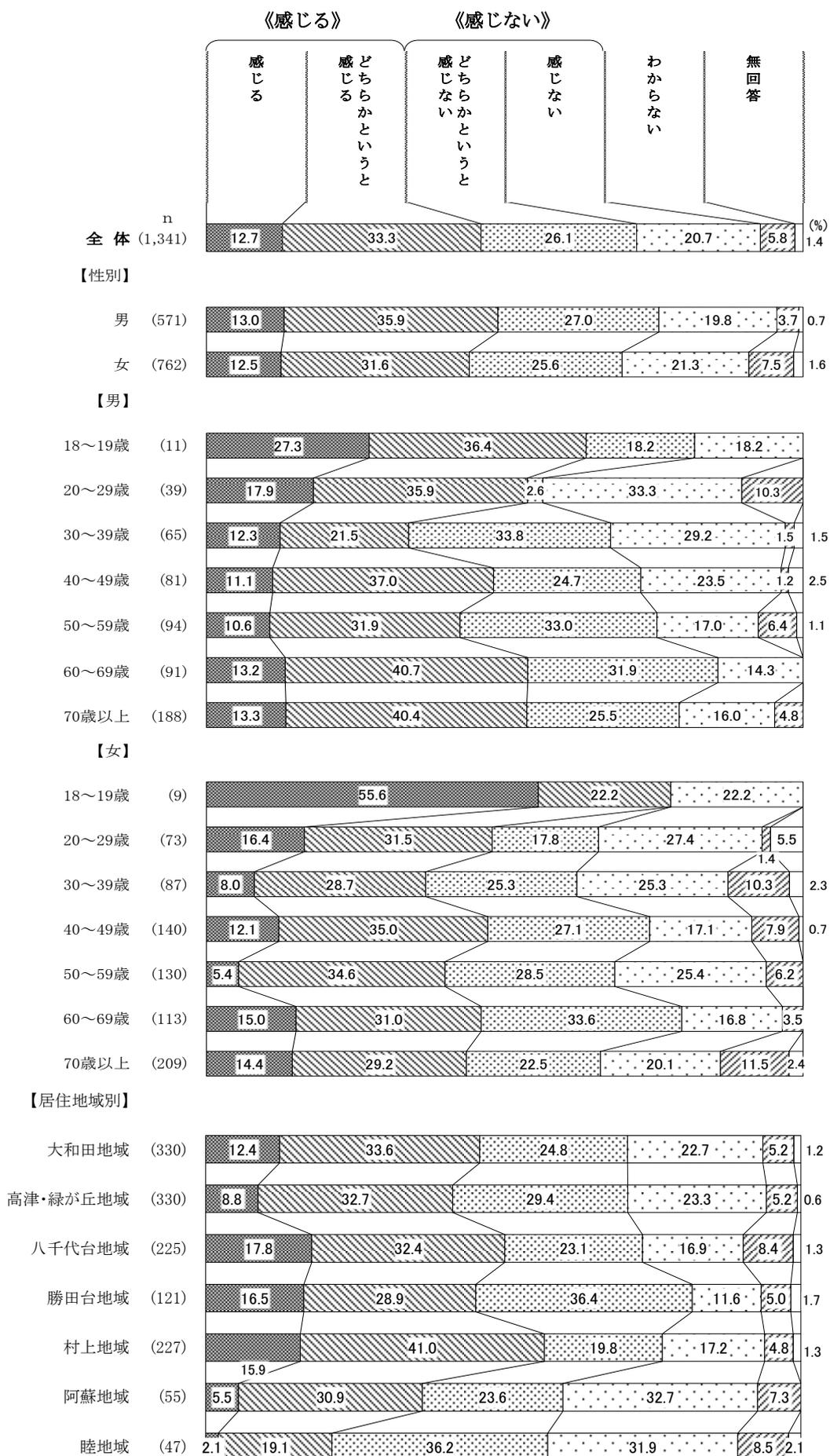
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(48.9%)で約5割、女性(44.1%)で4割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は男性(46.8%)、女性(46.9%)ともに4割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、回答者数は少ないが男性18～19歳(63.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(53.9%)で5割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.8%)で約8割と最も高く、次いで20～29歳(47.9%)で約5割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では30～39歳(63.0%)で6割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(50.0%)で5割となっている。女性では50～59歳(53.9%)で5割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(50.6%)で約5割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、村上地域(56.9%)で5割台半ばと最も高く、次いで八千代台地域(50.2%)で5割となっている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(68.1%)で約7割と最も高く、次いで阿蘇地域(56.3%)で5割台半ばとなっている。

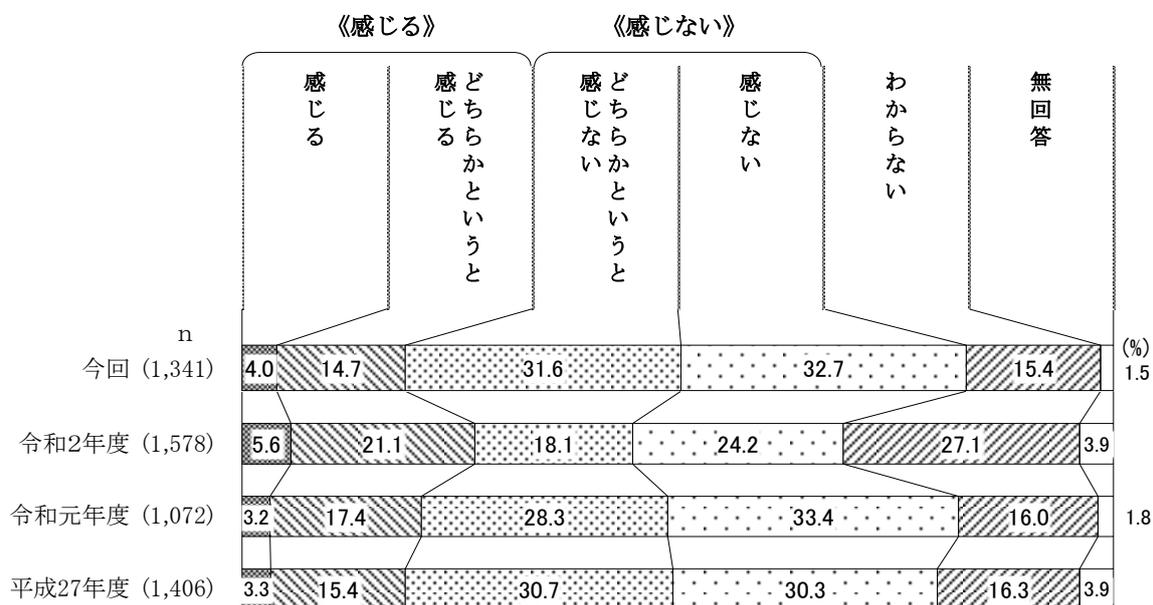
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

④ 交通弱者にやさしい交通環境

【問21】交通弱者にやさしい交通環境と感じますか。



交通弱者にやさしい交通環境と感じるかについては、「感じる」(4.0%)と「どちらかというと感じる」(14.7%)を合わせた《感じる》(18.7%)は約2割となっている。「感じない」(32.7%)と「どちらかというと感じない」(31.6%)を合わせた《感じない》(64.3%)は6割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(18.7%)は令和2年度(26.7%)から8.0ポイント減少し、《感じない》(64.3%)は令和2年度(42.3%)から22.0ポイント増加している。

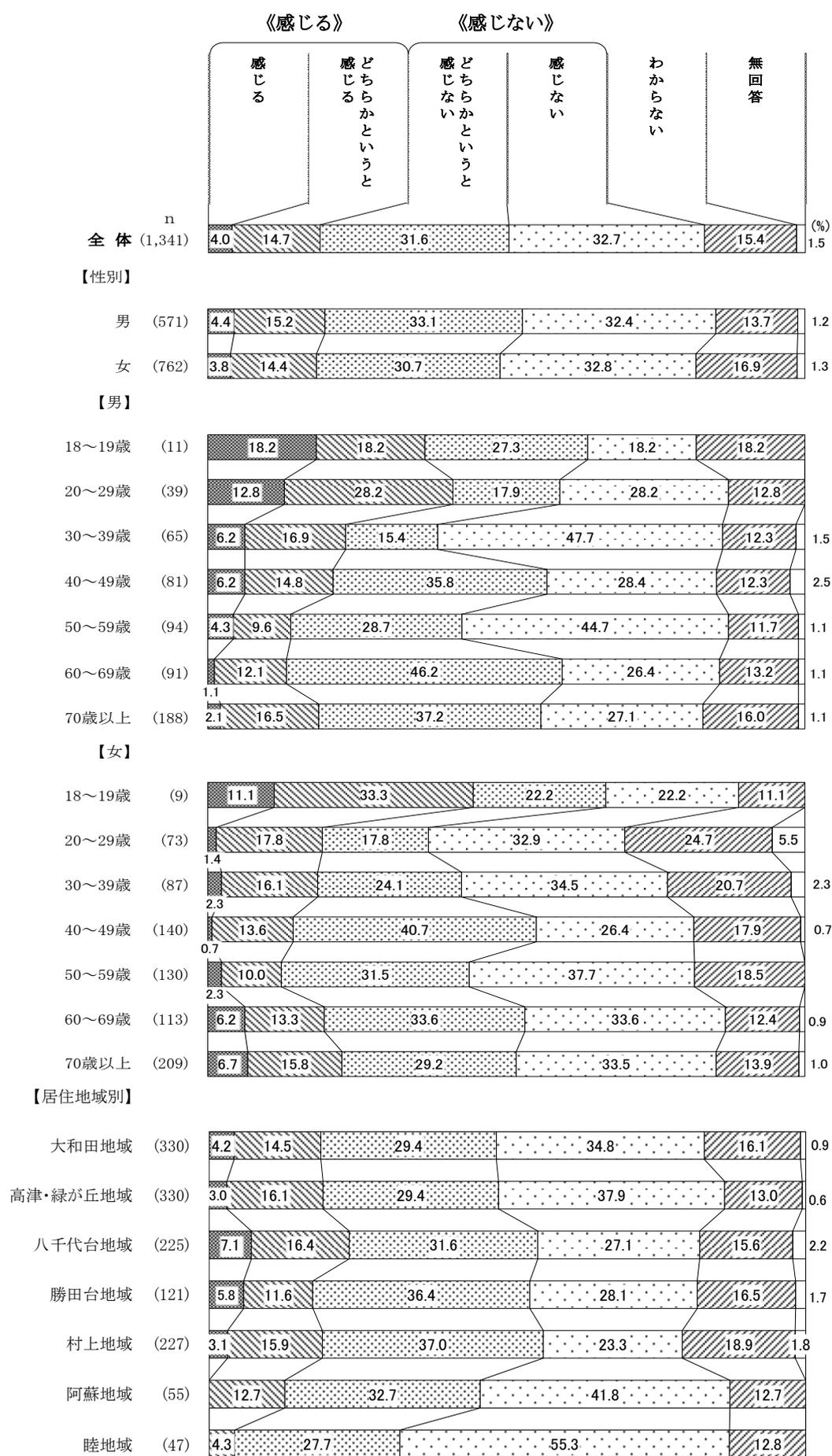
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(19.6%)、女性(18.2%)ともに約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(65.5%)、女性(63.5%)ともに6割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(41.0%)で4割を超えて最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(36.4%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(44.4%)で4割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(22.5%)で2割を超えている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(73.4%)で7割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(72.6%)で7割を超えている。女性では50～59歳(69.2%)で約7割と最も高く、次いで60～69歳(67.2%)でも約7割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、八千代台地域(23.5%)で2割台半ばと最も高く、次いで高津・緑が丘地域(19.1%)で約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(83.0%)で8割台半ばと最も高く、次いで阿蘇地域(74.5%)で7割台半ばとなっている。

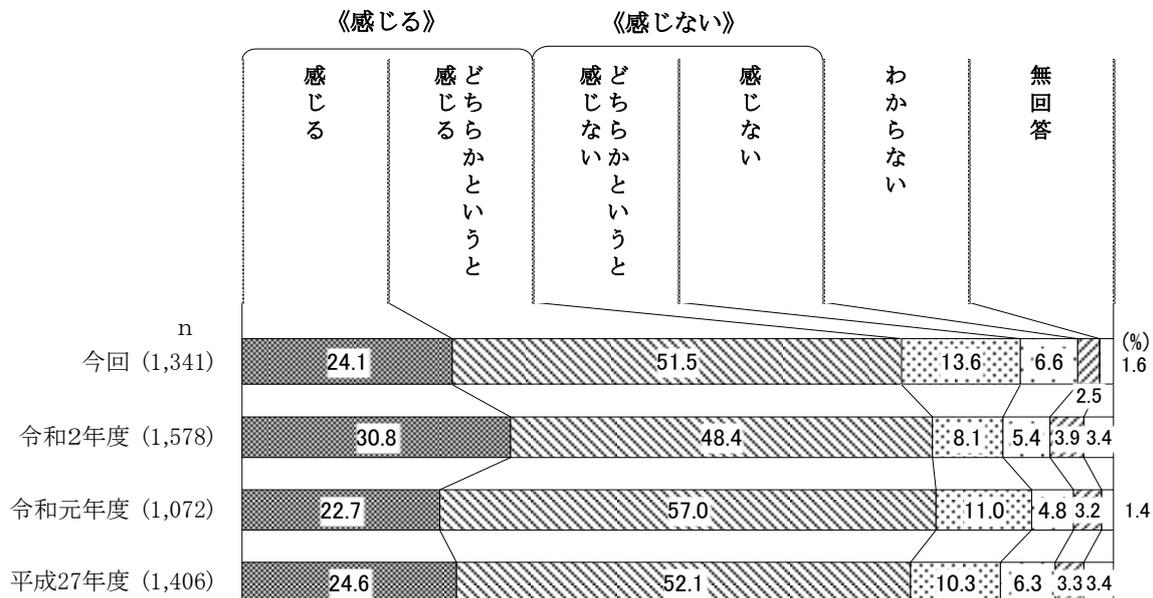
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑤ 緑豊かなまち

【問22】 緑豊かなまちと感じますか。



緑豊かなまちと感じるかについては、「感じる」(24.1%)と「どちらかというと感じる」(51.5%)を合わせた《感じる》(75.6%)は7割台半ばとなっている。「感じない」(6.6%)と「どちらかというと感じない」(13.6%)を合わせた《感じない》(20.2%)は2割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(75.6%)は令和2年度(79.2%)から3.6ポイント減少し、《感じない》(20.2%)は令和2年度(13.5%)から6.7ポイント増加している。

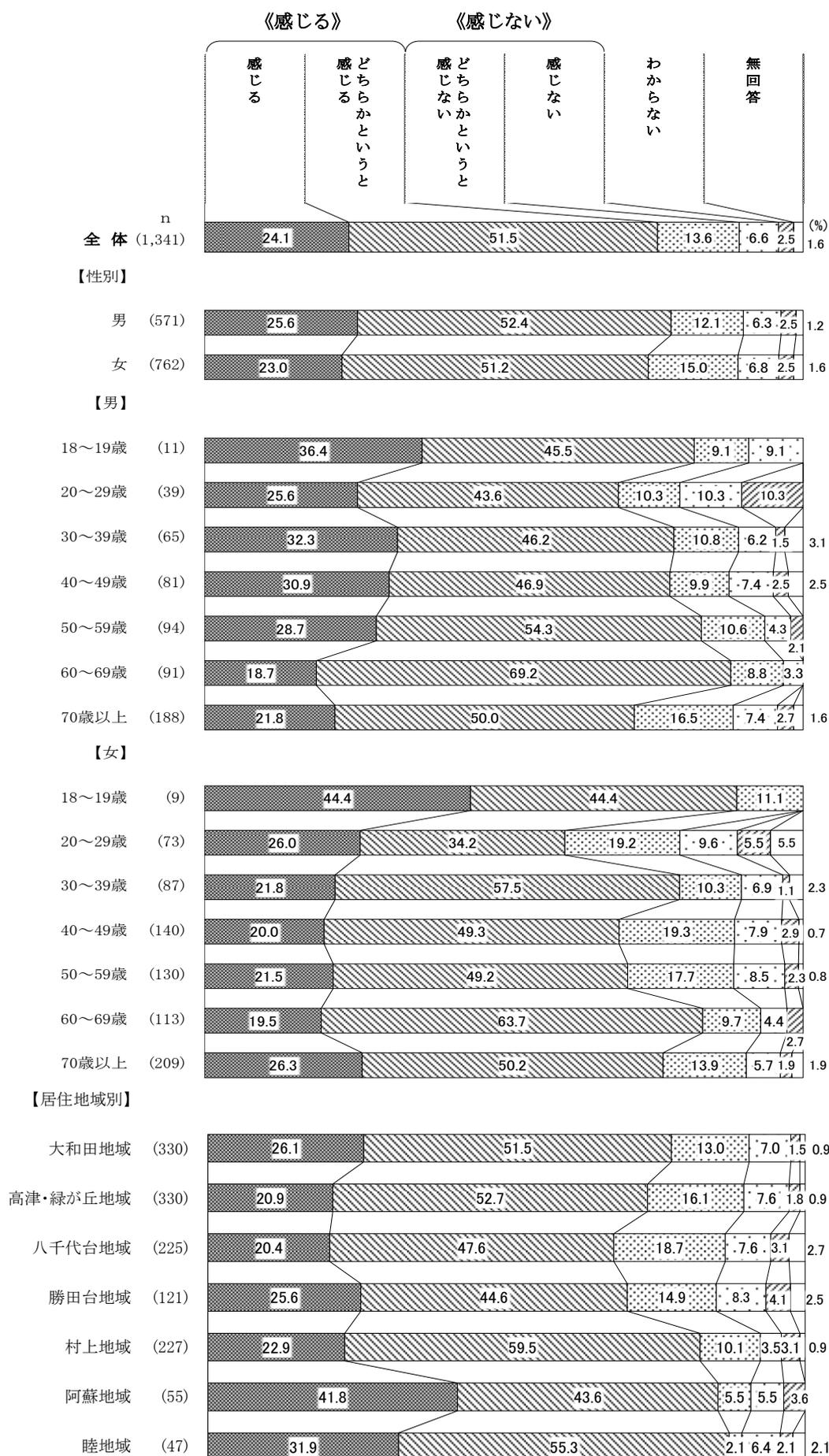
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(78.0%)で約8割、女性(74.2%)で7割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(18.4%)で約2割、女性(21.8%)で2割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(87.9%)で約9割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(81.9%)で8割を超えている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.8%)で約9割と最も高く、次いで60～69歳(83.2%)で8割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では70歳以上(23.9%)で2割台半ばと最も高く、次いで20～29歳(20.6%)で2割となっている。女性では20～29歳(28.8%)で約3割と最も高く、次いで40～49歳(27.2%)でも約3割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、睦地域(87.2%)で約9割と最も高く、次いで阿蘇地域(85.4%)で8割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、八千代台地域(26.3%)で2割台半ばと最も高く、次いで高津・緑が丘地域(23.7%)でも2割台半ばとなっている。

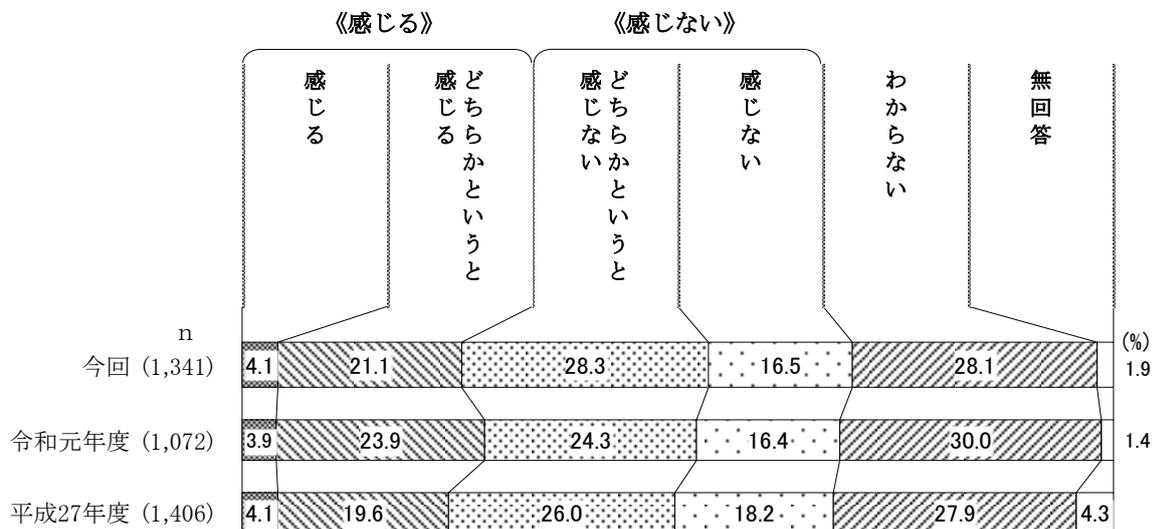
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑥ 市街地整備

【問23】市街地整備の誘導が適切に図られていると感じますか。



市街地整備の誘導が適切に図られていると感じるかについては、「感じる」(4.1%)と「どちらかというと感じる」(21.1%)を合わせた《感じる》(25.2%)は2割台半ばとなっている。「感じない」(16.5%)と「どちらかというと感じない」(28.3%)を合わせた《感じない》(44.8%)は4割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(25.2%)は令和元年度(27.8%)から2.6ポイント減少し、《感じない》(44.8%)は令和元年度(40.7%)から4.1ポイント増加している。

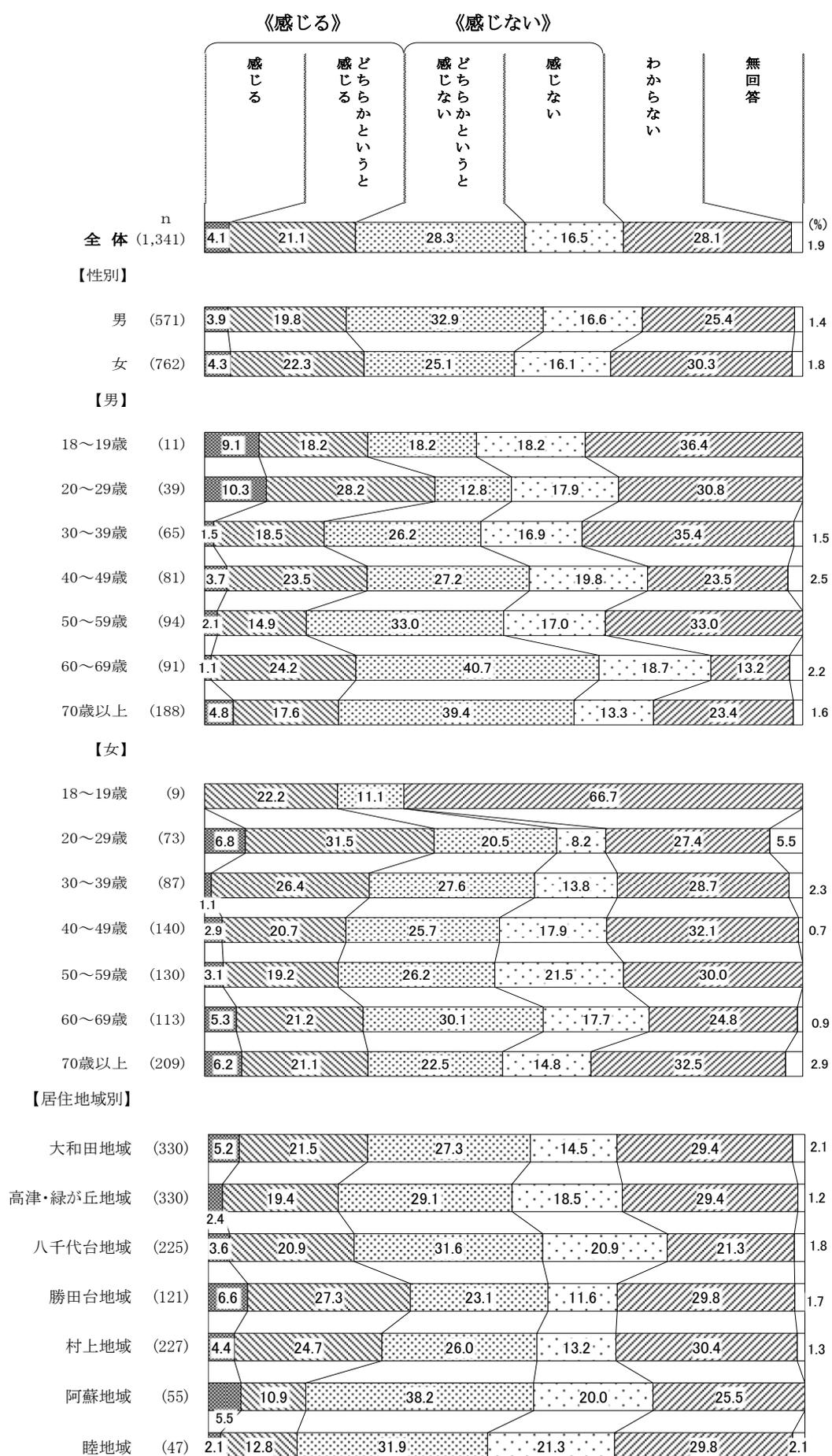
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(23.7%)、女性(26.6%)ともに2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(49.5%)で約5割、女性(41.2%)で4割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(38.5%)で約4割と最も高く、次いで40～49歳(27.2%)で約3割となっている。女性では20～29歳(38.3%)で約4割と最も高く、次いで30～39歳(27.5%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では60～69歳(59.4%)で約6割と最も高く、次いで70歳以上(52.7%)で5割を超えている。女性では60～69歳(47.8%)で約5割と最も高く、次いで50～59歳(47.7%)でも約5割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(33.9%)で3割台半ばと最も高く、次いで村上地域(29.1%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(58.2%)で約6割と最も高く、次いで睦地域(53.2%)で5割台半ばとなっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

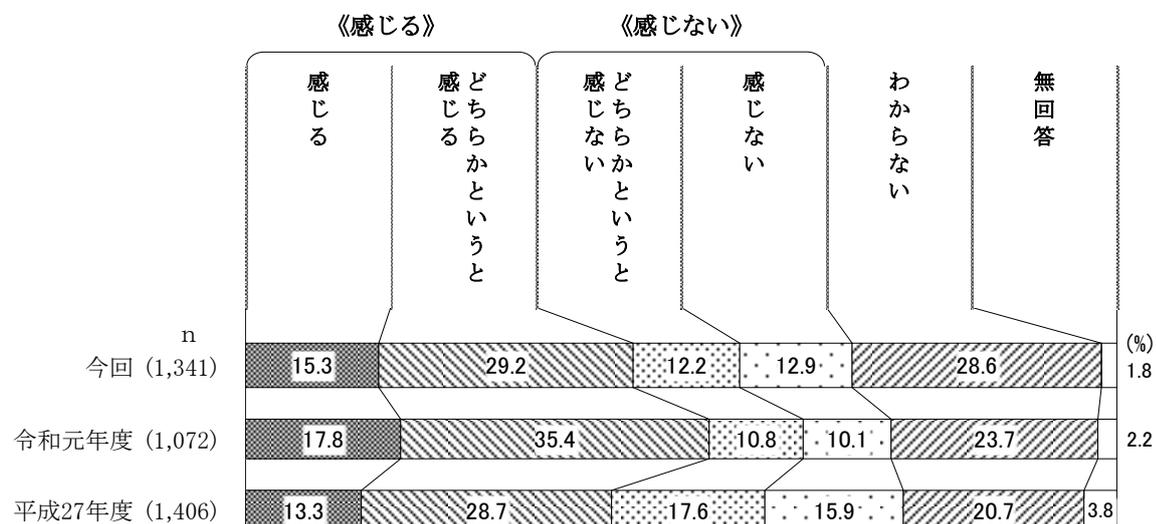


III 調査結果の分析

■産業活力都市をめざして

① ふるさと親子祭

【問24】ふるさと親子祭が、市民相互の親睦と地域の活性化に役立っていると感じますか。



ふるさと親子祭が市民相互の親睦と地域の活性化に役立っていると感じるかについては、「感じる」(15.3%)と「どちらかというと感じる」(29.2%)を合わせた《感じる》(44.5%)は4割台半ばとなっている。「感じない」(12.9%)と「どちらかというと感じない」(12.2%)を合わせた《感じない》(25.1%)は2割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(44.5%)は令和元年度(53.2%)から8.7ポイント減少し、《感じない》(25.1%)は令和元年度(20.9%)から4.2ポイント増加している。

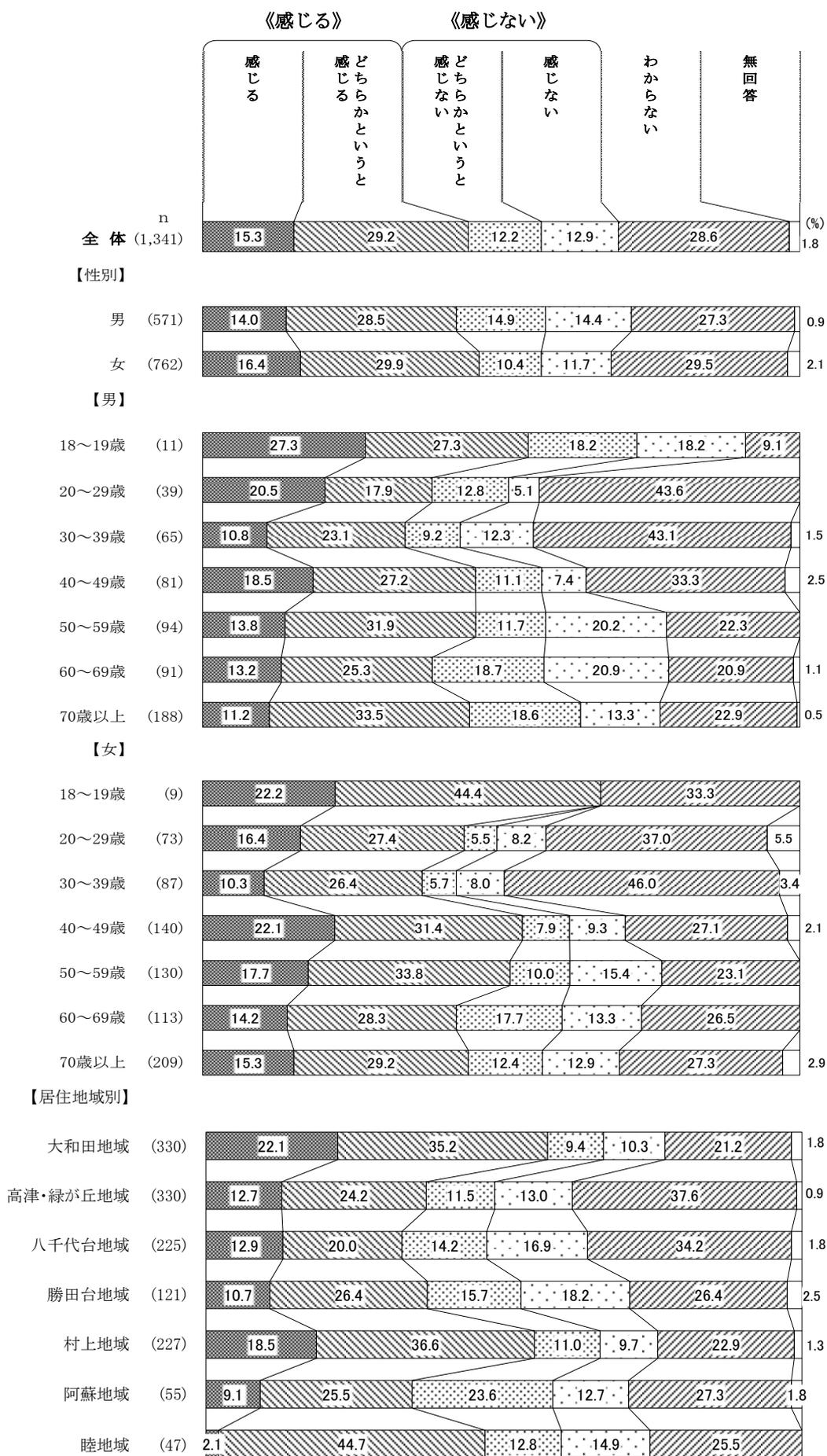
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(42.5%)で4割を超えており、女性(46.3%)で4割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(29.3%)で約3割、女性(22.1%)で2割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(54.6%)で5割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(45.7%)、50～59歳(45.7%)で4割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.6%)で6割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(53.5%)で5割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では60～69歳(39.6%)で約4割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(36.4%)で3割台半ばとなっている。女性では60～69歳(31.0%)で3割を超えて最も高く、次いで50～59歳(25.4%)で2割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、大和田地域(57.3%)が約6割と最も高く、次いで村上地域(55.1%)で5割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(36.3%)で3割台半ばと最も高く、次いで勝田台地域(33.9%)でも3割台半ばとなっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

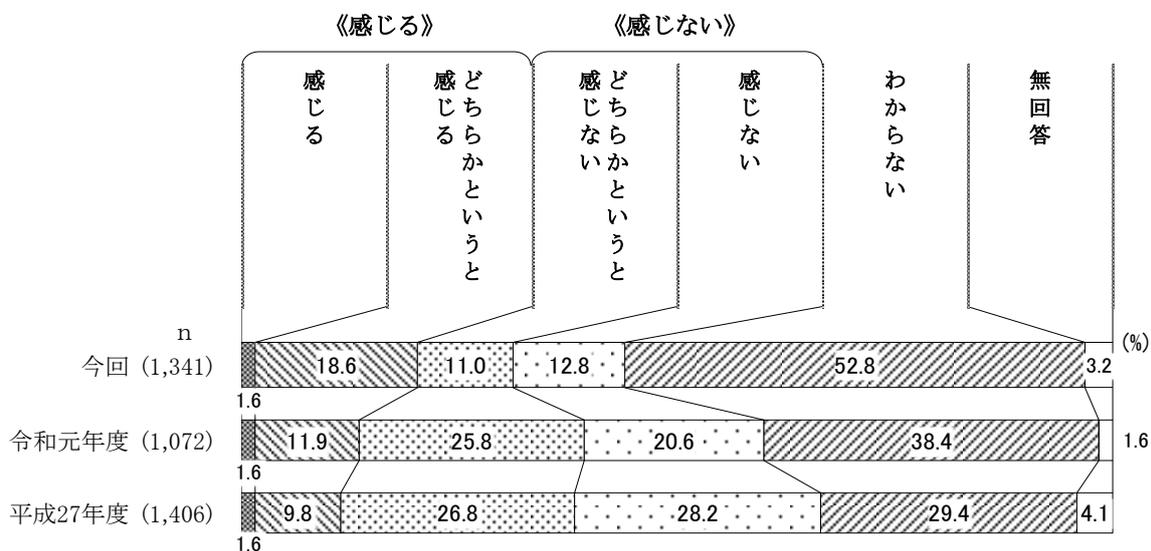


III 調査結果の分析

■ 計画の推進のために

① 透明性の高い市政運営

【問25】 透明性の高い市政運営がなされていると感じますか。



透明性の高い市政運営がなされていると感じるかについては、「感じる」(1.6%)と「どちらかというと感じる」(18.6%)を合わせた《感じる》(20.2%)は2割となっている。「感じない」(12.8%)と「どちらかというと感じない」(11.0%)を合わせた《感じない》(23.8%)は2割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(20.2%)は令和元年度(13.5%)から6.7ポイント増加し、《感じない》(23.8%)は令和元年度(46.4%)から22.6ポイント減少している。

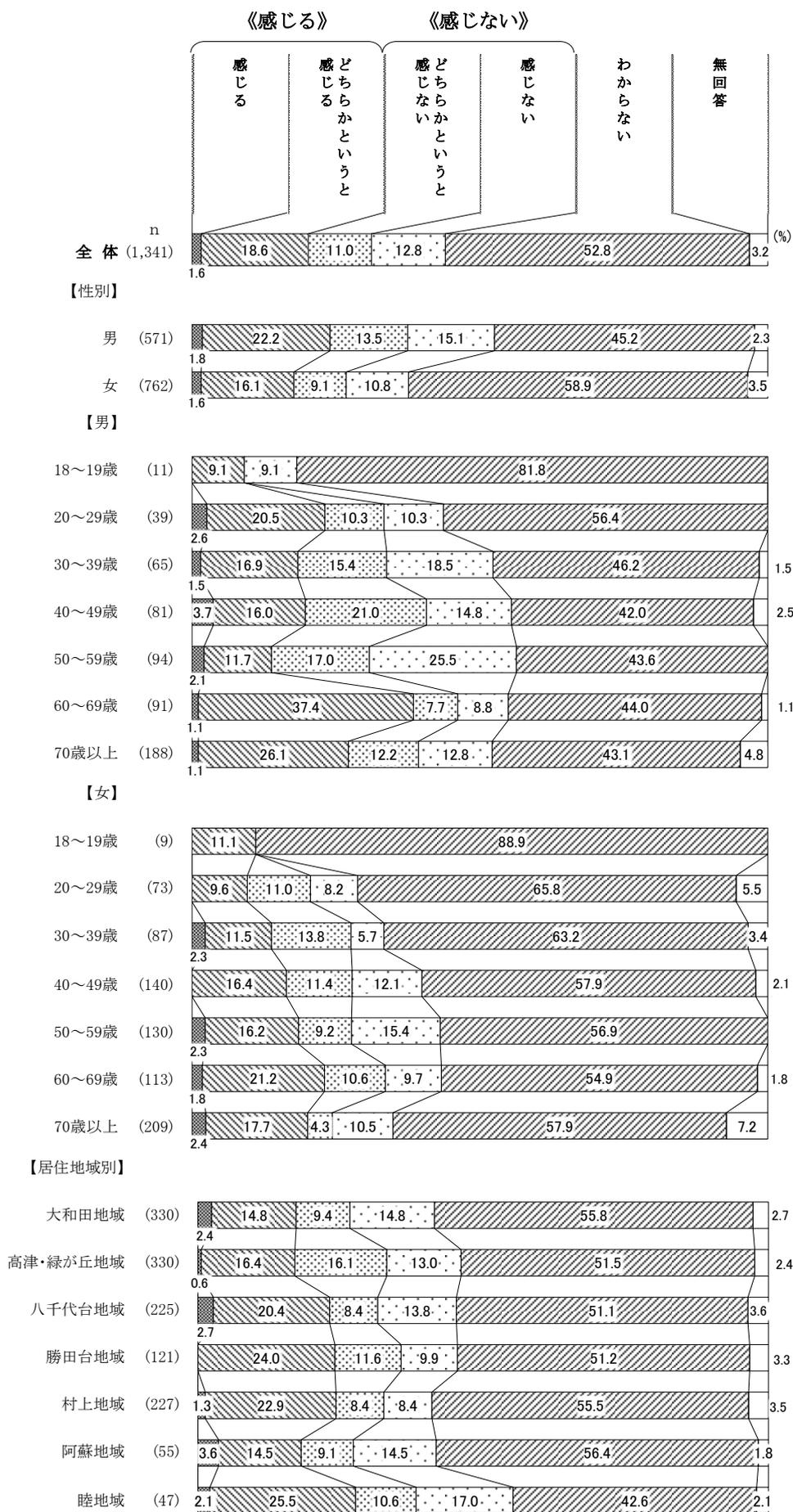
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(24.0%)で2割台半ば、女性(17.7%)で約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(28.6%)で約3割、女性(19.9%)で約2割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(38.5%)で約4割と最も高く、次いで70歳以上(27.2%)で約3割となっている。女性では60～69歳(23.0%)で2割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(20.1%)で2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(42.5%)で4割を超えて最も高く、次いで40～49歳(35.8%)で3割台半ばとなっている。女性では50～59歳(24.6%)で2割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(23.5%)でも2割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、睦地域(27.6%)で約3割と最も高く、次いで村上地域(24.2%)で2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、高津・緑が丘地域(29.1%)で約3割と最も高く、次いで睦地域(27.6%)でも約3割となっている。

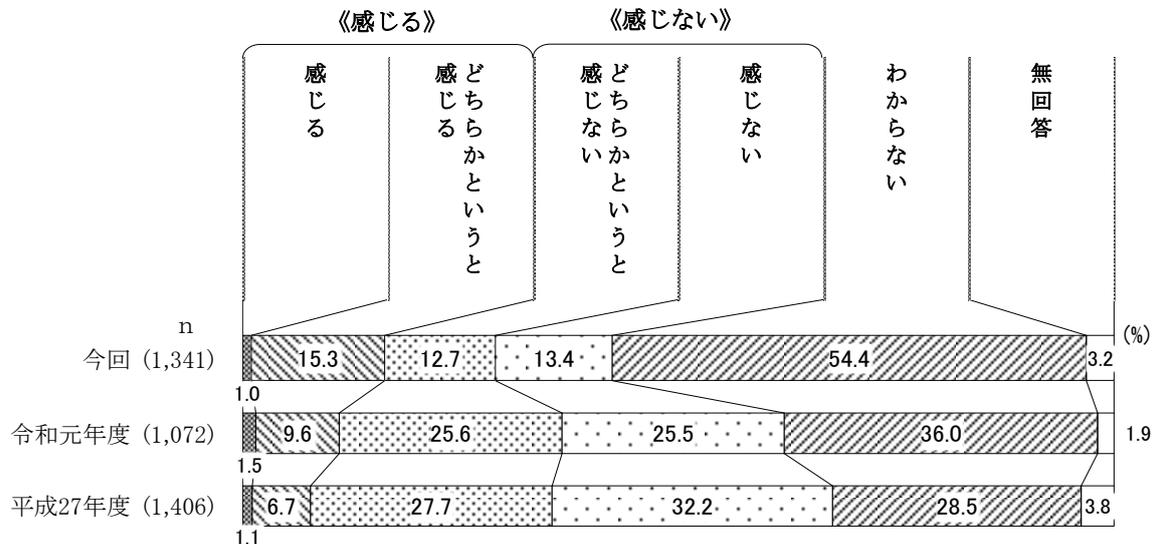
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 市民意見の反映

【問26】市民の意見が市政に反映されていると感じますか。



市民の意見が市政に反映されていると感じるかについては、「感じる」(1.0%)と「どちらかというと感じる」(15.3%)を合わせた《感じる》(16.3%)は1割台半ばとなっている。「感じない」(13.4%)と「どちらかというと感じない」(12.7%)を合わせた《感じない》(26.1%)は2割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(16.3%)は令和元年度(11.1%)から5.2ポイント増加し、《感じない》(26.1%)は令和元年度(51.1%)から25.0ポイント減少している。

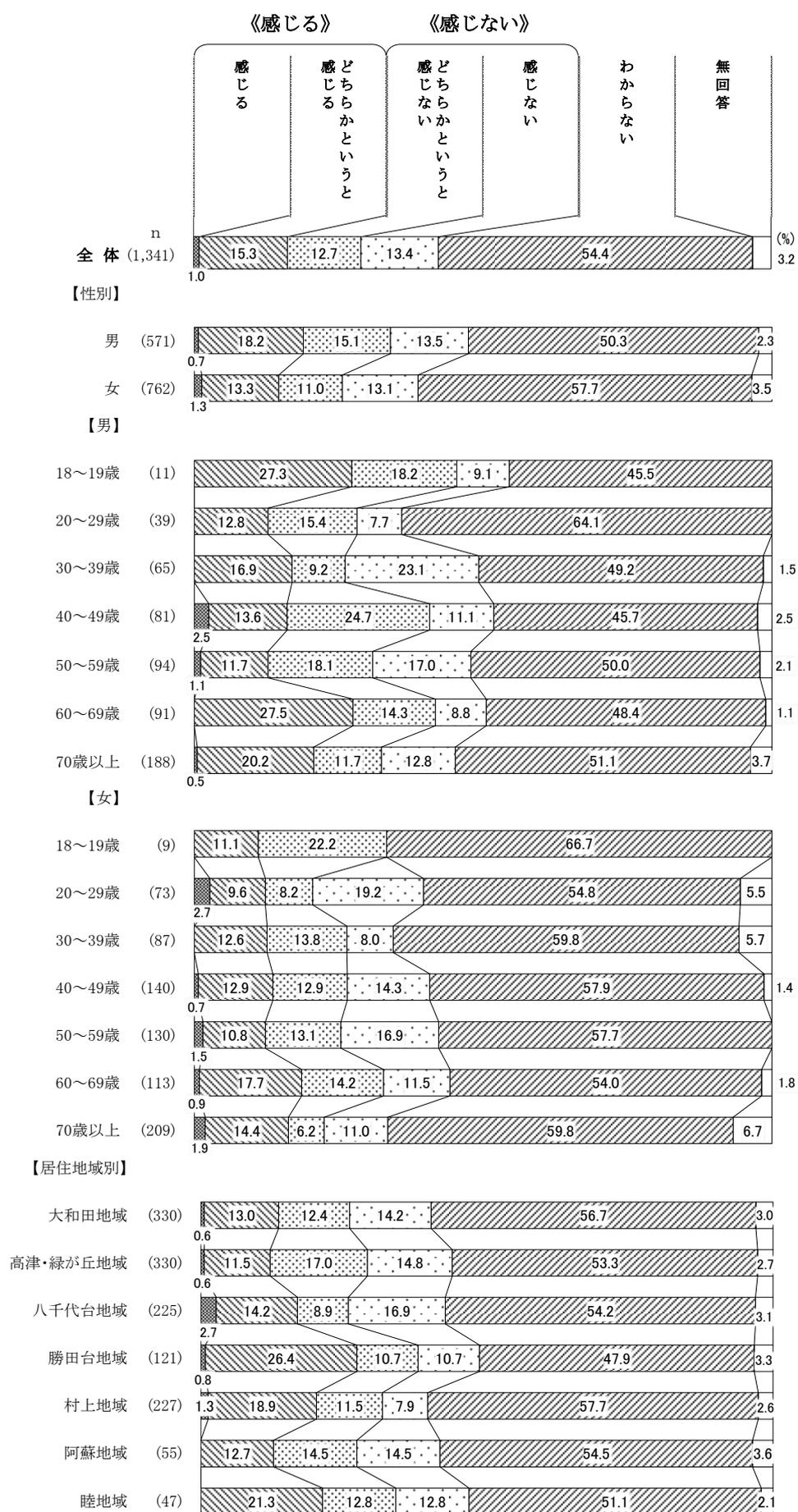
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(18.9%)で約2割、女性(14.6%)で1割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(28.6%)で約3割、女性(24.1%)で2割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(27.5%)で約3割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(27.3%)でも約3割となっている。女性では60～69歳(18.6%)で約2割と最も高く、次いで70歳以上(16.3%)で1割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では40～49歳(35.8%)で3割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(35.1%)でも3割台半ばとなっている。女性では50～59歳(30.0%)で3割と最も高く、次いで20～29歳(27.4%)で約3割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(27.2%)で約3割と最も高く、次いで睦地域(21.3%)で2割を超えている。一方、《感じない》の割合は、高津・緑が丘地域(31.8%)で3割を超えて最も高く、次いで阿蘇地域(29.0%)で約3割となっている。

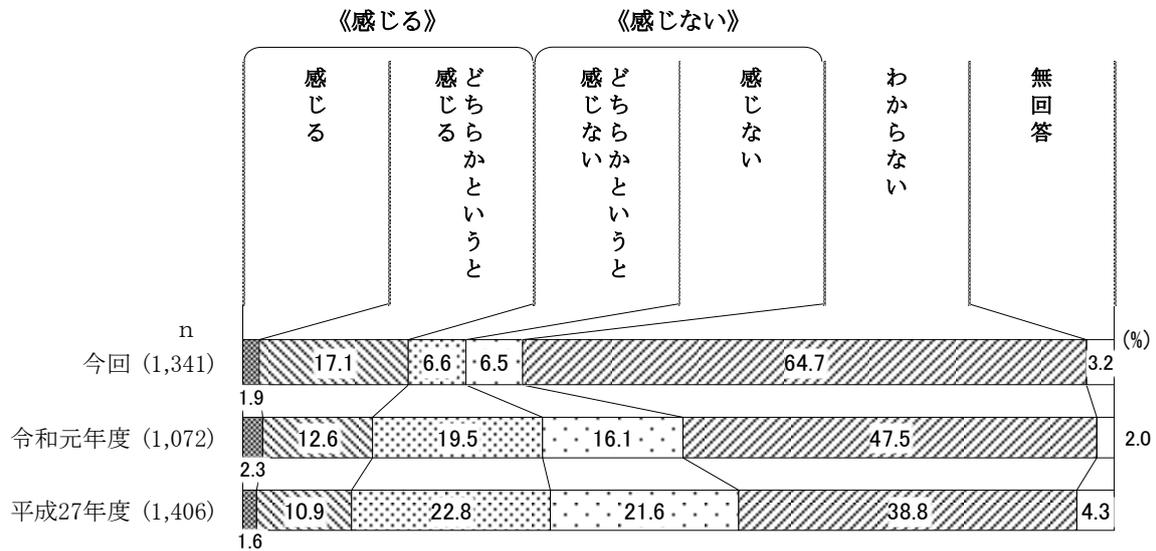
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

③ 自立した市政運営

【問27】 自立した市政運営が行われていると感じますか。



自立した市政運営が行われていると感じるかについては、「感じる」(1.9%)と「どちらかというと感じる」(17.1%)を合わせた《感じる》(19.0%)は約2割となっている。「感じない」(6.5%)と「どちらかというと感じない」(6.6%)を合わせた《感じない》(13.1%)は1割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(19.0%)は令和元年度(14.9%)から4.1ポイント増加し、《感じない》(13.1%)は令和元年度(35.6%)から22.5ポイント減少している。

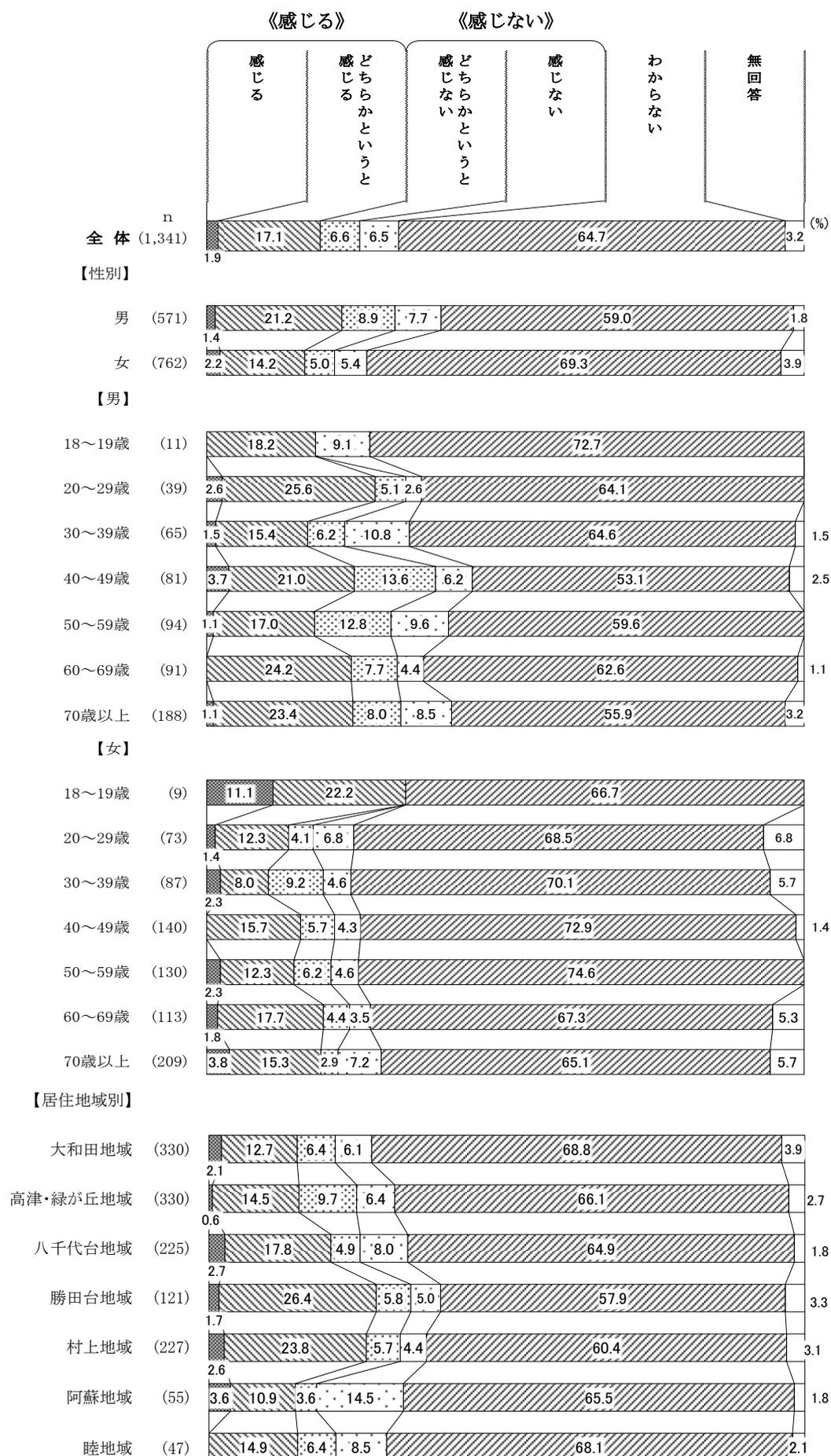
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(22.6%)で2割を超えており、女性(16.4%)で1割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(16.6%)で1割台半ば、女性(10.4%)で1割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(28.2%)で約3割と最も高くなっており、次いで40～49歳(24.7%)で2割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(33.3%)で3割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(19.5%)で約2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(22.4%)で2割を超えて最も高く、次いで40～49歳(19.8%)で約2割となっている。女性では30～39歳(13.8%)で1割台半ばと最も高く、次いで20～29歳(10.9%)で1割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(28.1%)で約3割と最も高く、次いで村上地域(26.4%)で2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(18.1%)で約2割と最も高く、次いで高津・緑が丘地域(16.1%)で1割台半ばとなっている。

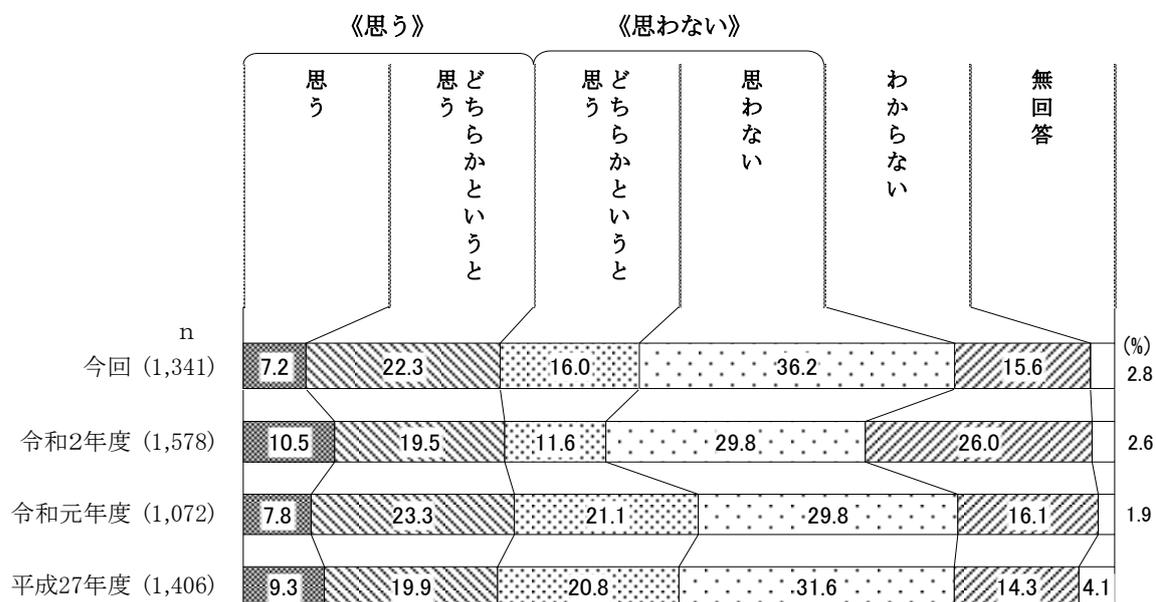
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

④ 国際交流・協力

【問28】国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいと思いますか。



国際交流・協力に関する活動を行ってみたい、参加してみたいについては、「思う」(7.2%)と「どちらかというと思う」(22.3%)を合わせた《思う》(29.5%)は約3割となっている。「思わない」(36.2%)と「どちらかというと思わない」(16.0%)を合わせた《思わない》(52.2%)は5割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(29.5%)は令和2年度(29.5%)と同水準であり、《感じない》(52.2%)は令和2年度(41.4%)から10.8ポイント増加している。

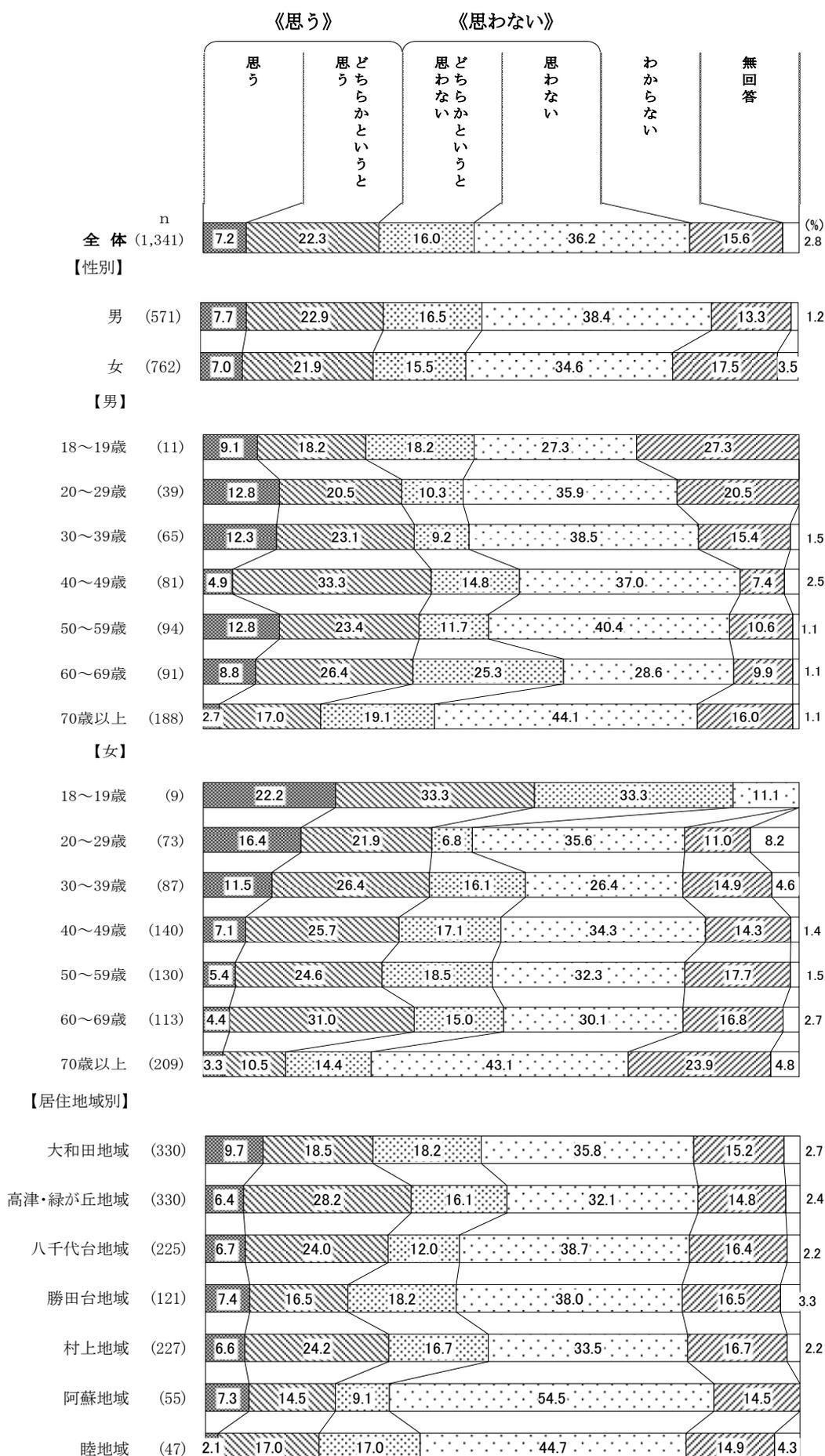
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(30.6%)で3割、女性(28.9%)で約3割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性(54.9%)で5割台半ば、女性(50.1%)で5割となっている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では40～49歳(38.2%)で約4割と最も高く、次いで50～59歳(36.2%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.5%)で5割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(37.9%)で約4割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性では70歳以上(63.2%)で6割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(53.9%)でも5割台半ばとなっている。女性では70歳以上(57.5%)で約6割と最も高く、次いで40～49歳(51.4%)で5割を超えている。

居住地域別では、《思う》の割合は、高津・緑が丘地域(34.6%)で3割台半ばと最も高く、次いで村上地域(30.8%)で3割となっている。一方、《思わない》の割合は、阿蘇地域(63.6%)で6割台半ばと最も高く、次いで陸地域(61.7%)で6割を超えている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

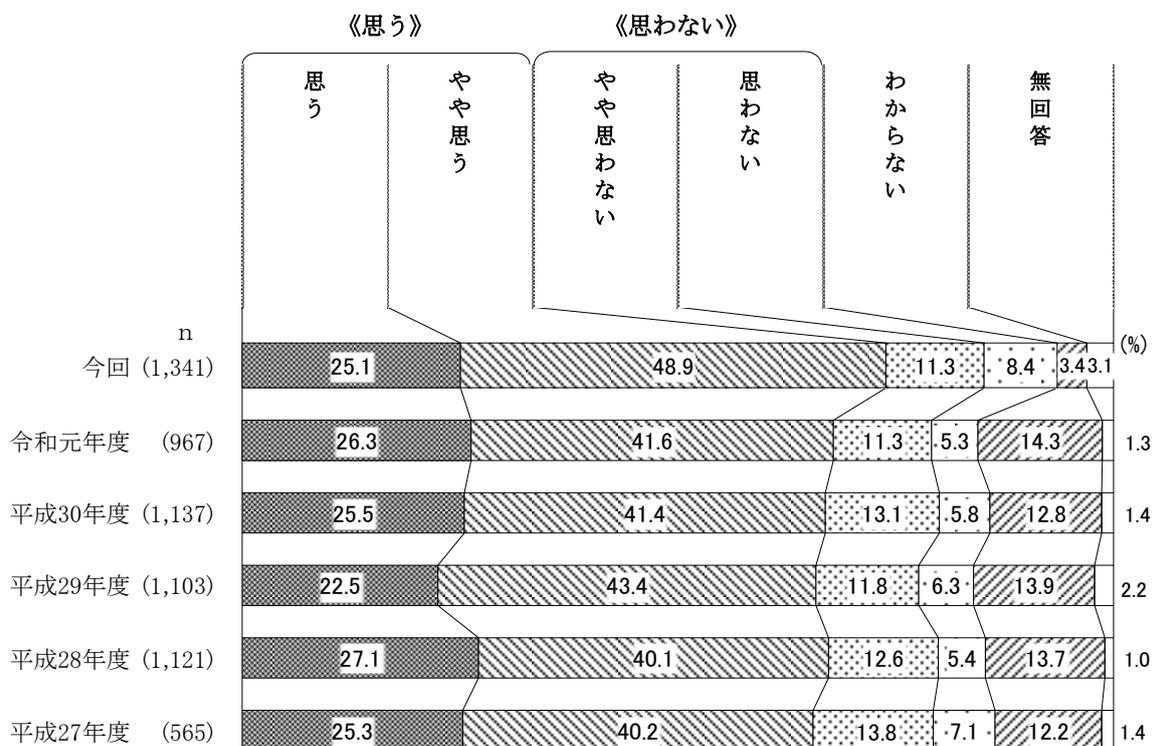


Ⅲ 調査結果の分析

(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する質問

① 「八千代市のイメージ」について

【問29】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。本市は、都心から30km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？



本市のイメージが良いと思うかについては、「思う」(25.1%)と「やや思う」(48.9%)を合わせた《思う》(74.0%)は7割台半ばとなっている。「思わない」(8.4%)と「やや思わない」(11.3%)を合わせた《思わない》(19.7%)は約2割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《思う》(74.0%)は令和元年度(67.9%)から6.1ポイント増加し、《思わない》(19.7%)は令和元年度(16.6%)から3.1ポイント増加している。

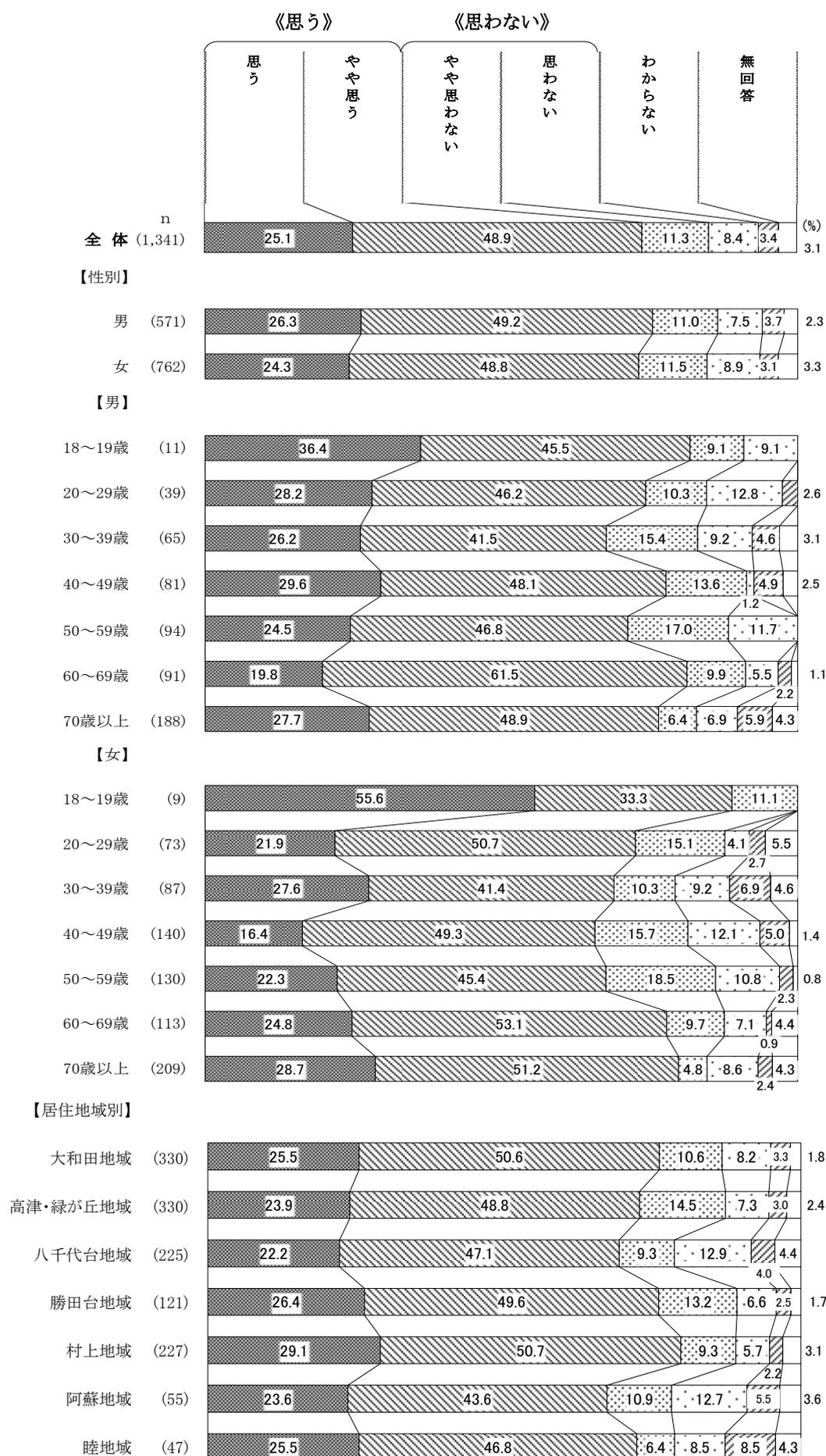
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(75.5%)、女性(73.1%)ともに7割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性(18.5%)で約2割、女性(20.4%)で2割となっている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(81.9%)で8割を超えて最も高く、次いで60～69歳(81.3%)で8割を超えている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.9%)で約9割と最も高く、次いで70歳以上(79.9%)で約8割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性では50～59歳(28.7%)で約3割と最も高く、次いで30～39歳(24.6%)で2割台半ばとなっている。女性では50～59歳(29.3%)で約3割と最も高く、次いで40～49歳(27.8%)で約3割となっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、村上地域(79.8%)で約8割と最も高く、次いで大和田地域(76.1%)で7割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、阿蘇地域(23.6%)で2割台半ばと最も高く、次いで八千代台地域(22.2%)で2割を超えている。

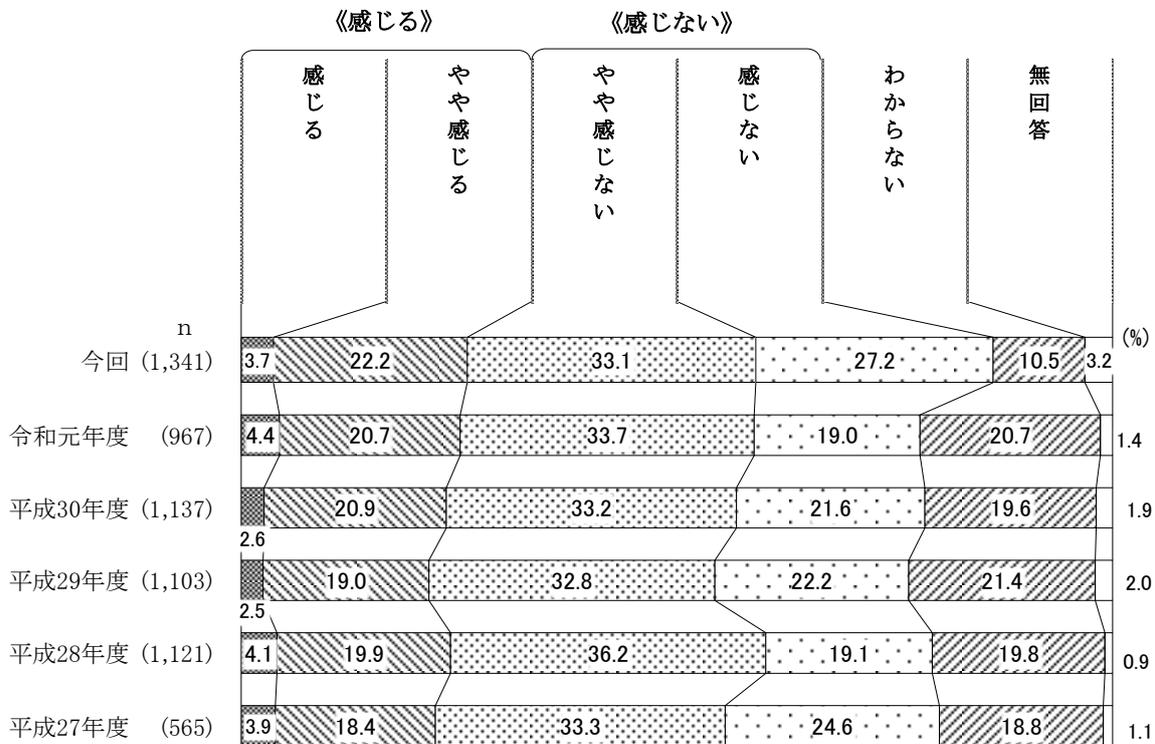
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 「八千代市の活性化」について

【問30】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？



まちが活性化していると感じるかについては、「感じる」(3.7%)と「やや感じる」(22.2%)を合わせた《感じる》(25.9%)は2割台半ばとなっている。「感じない」(27.2%)と「やや感じない」(33.1%)を合わせた《感じない》(60.3%)は6割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(25.9%)は令和元年度(25.1%)から大きな差はみられず、《感じない》(60.3%)は令和元年度(52.7%)から7.6ポイント増加している。

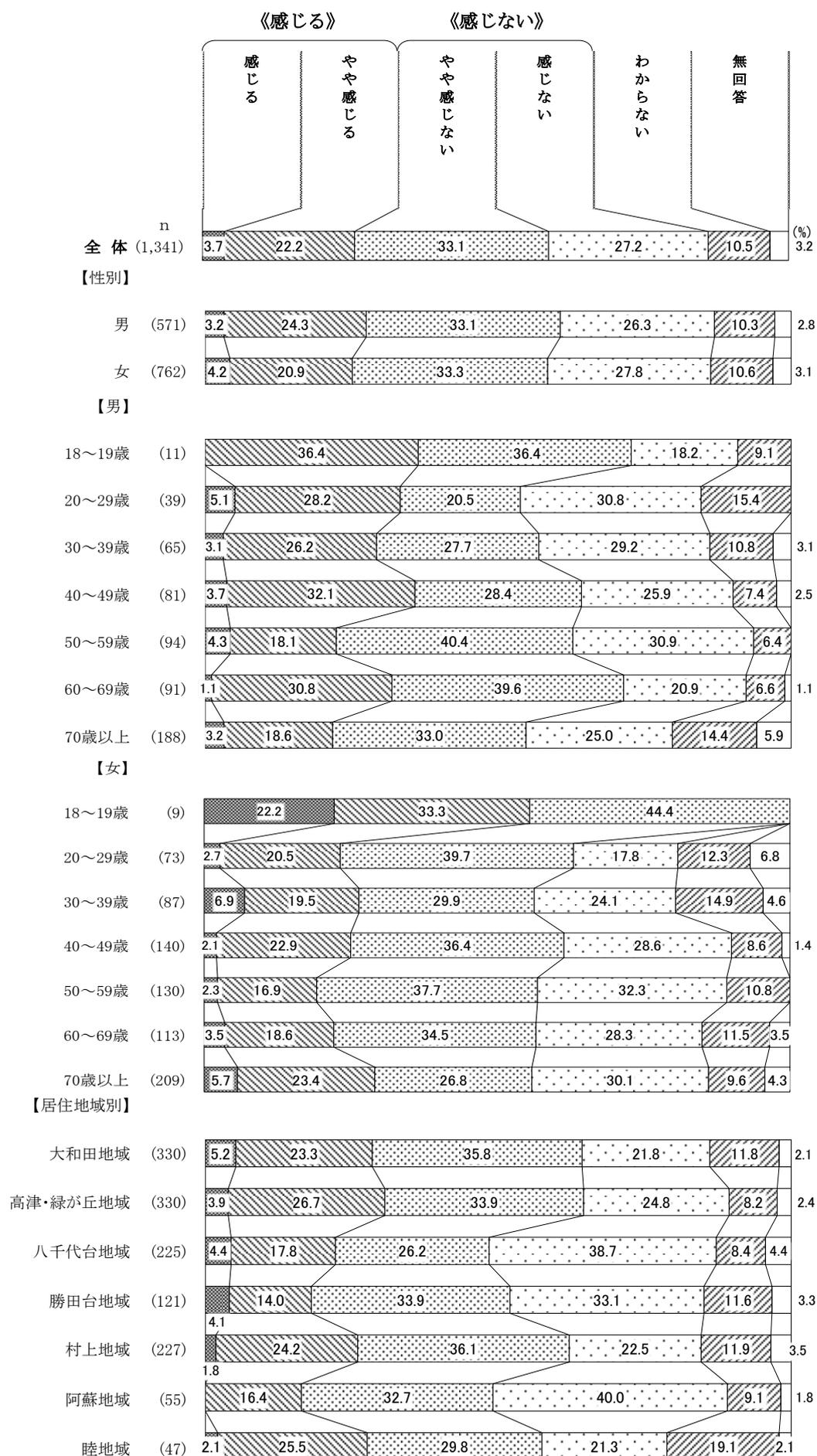
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(27.5%)で約3割、女性(25.1%)で2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(59.4%)で約6割、女性(61.1%)で6割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(36.4%)で3割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(35.8%)で3割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.5%)で5割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(29.1%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(71.3%)で7割を超えて最も高く、次いで60～69歳(60.5%)で6割となっている。女性では50～59歳(70.0%)で7割と最も高く、次いで40～49歳(65.0%)で6割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、高津・緑が丘地域(30.6%)で3割と最も高く、次いで大和田地域(28.5%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(72.7%)で7割を超えて最も高く、次いで勝田台地域(67.0%)で6割台半ばとなっている。

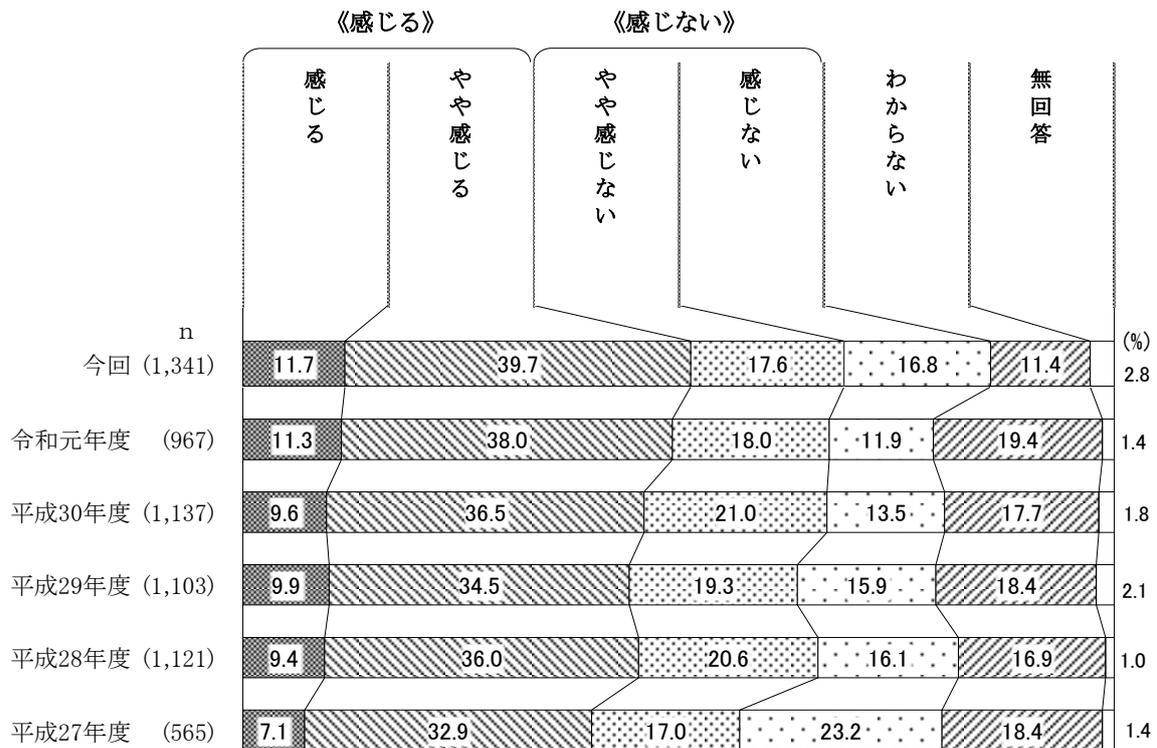
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

③ 「新川周辺の活性化」について

【問31】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？



新川周辺が活性化していると感じるかについては、「感じる」(11.7%)と「やや感じる」(39.7%)を合わせた《感じる》(51.4%)は5割を超えている。「感じない」(16.8%)と「やや感じない」(17.6%)を合わせた《感じない》(34.4%)は3割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(51.4%)は令和元年度(49.3%)から2.1ポイント増加し、《感じない》(34.4%)は令和元年度(29.9%)から4.5ポイント増加している。

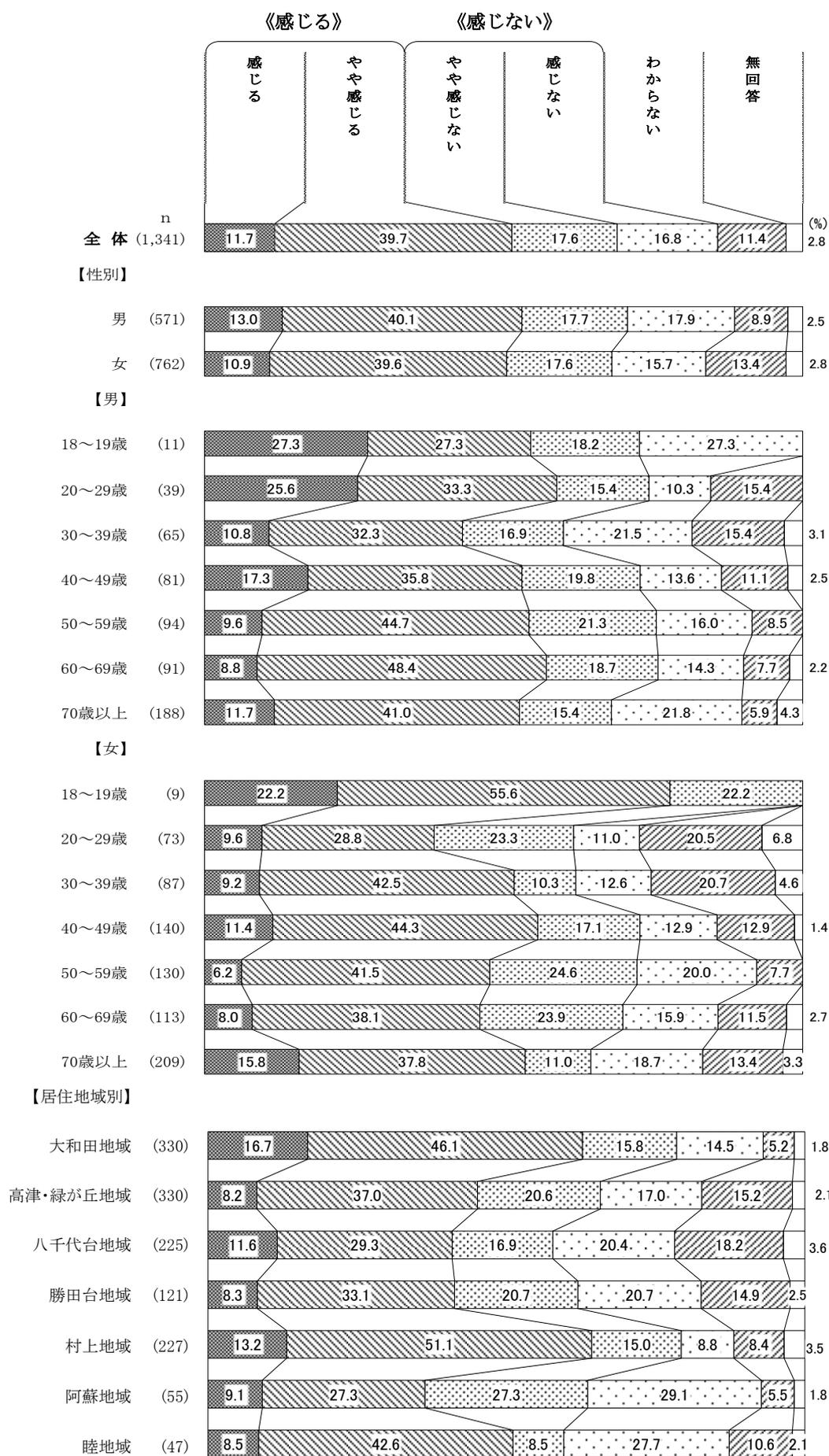
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(53.1%)で5割台半ば、女性(50.5%)で5割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(35.6%)、女性(33.3%)ともに3割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(58.9%)で約6割と最も高く、次いで60～69歳(57.2%)で約6割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.8%)で約8割と最も高く、次いで40～49歳(55.7%)で5割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(38.4%)で約4割となっている。女性では50～59歳(44.6%)で4割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(39.8%)で約4割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、村上地域(64.3%)で6割台半ばと最も高く、次いで大和田地域(62.8%)で6割を超えている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(56.4%)で5割台半ばと最も高く、次いで勝田台地域(41.4%)で4割を超えている。

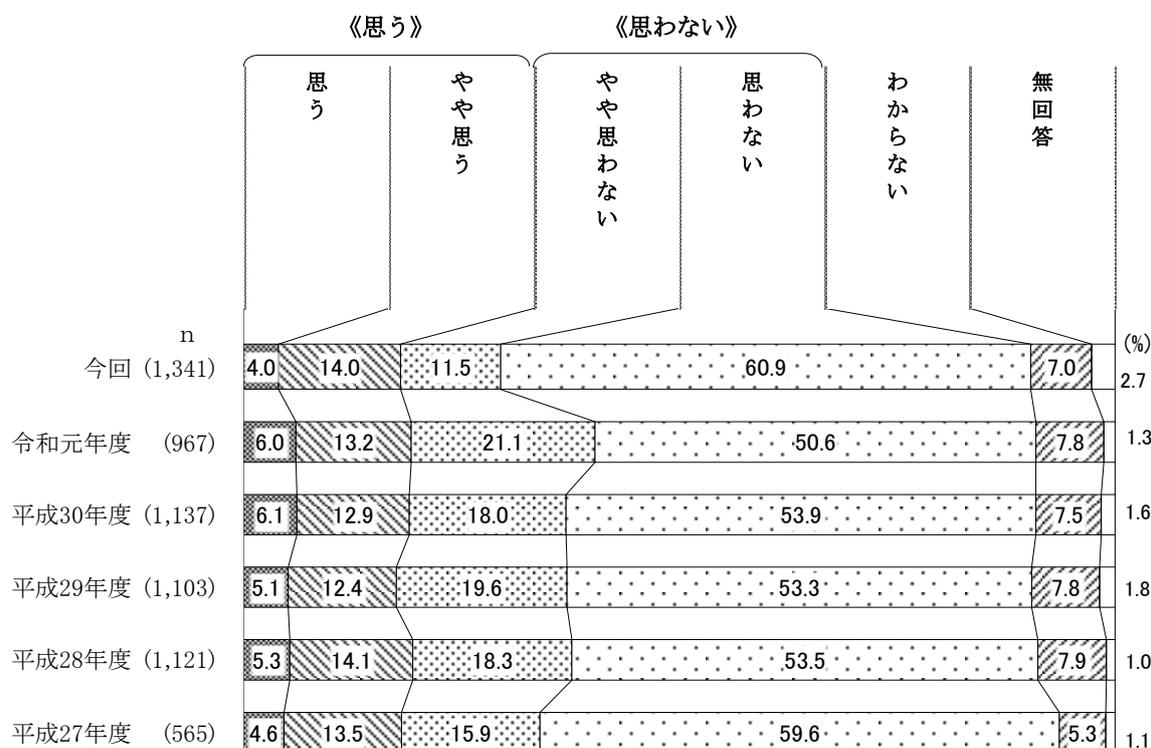
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

④ 「地域活動」について

【問32】「地域活動」についてお尋ねします。地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると思いますか？



積極的に地域活動に参加していると思うかについては、「思う」(4.0%)と「やや思う」(14.0%)を合わせた《思う》(18.0%)は約2割となっている。「思わない」(60.9%)と「やや思わない」(11.5%)を合わせた《思わない》(72.4%)は7割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《思う》(18.0%)、《思わない》(72.4%)ともに令和元年度から大きな差はみられない。

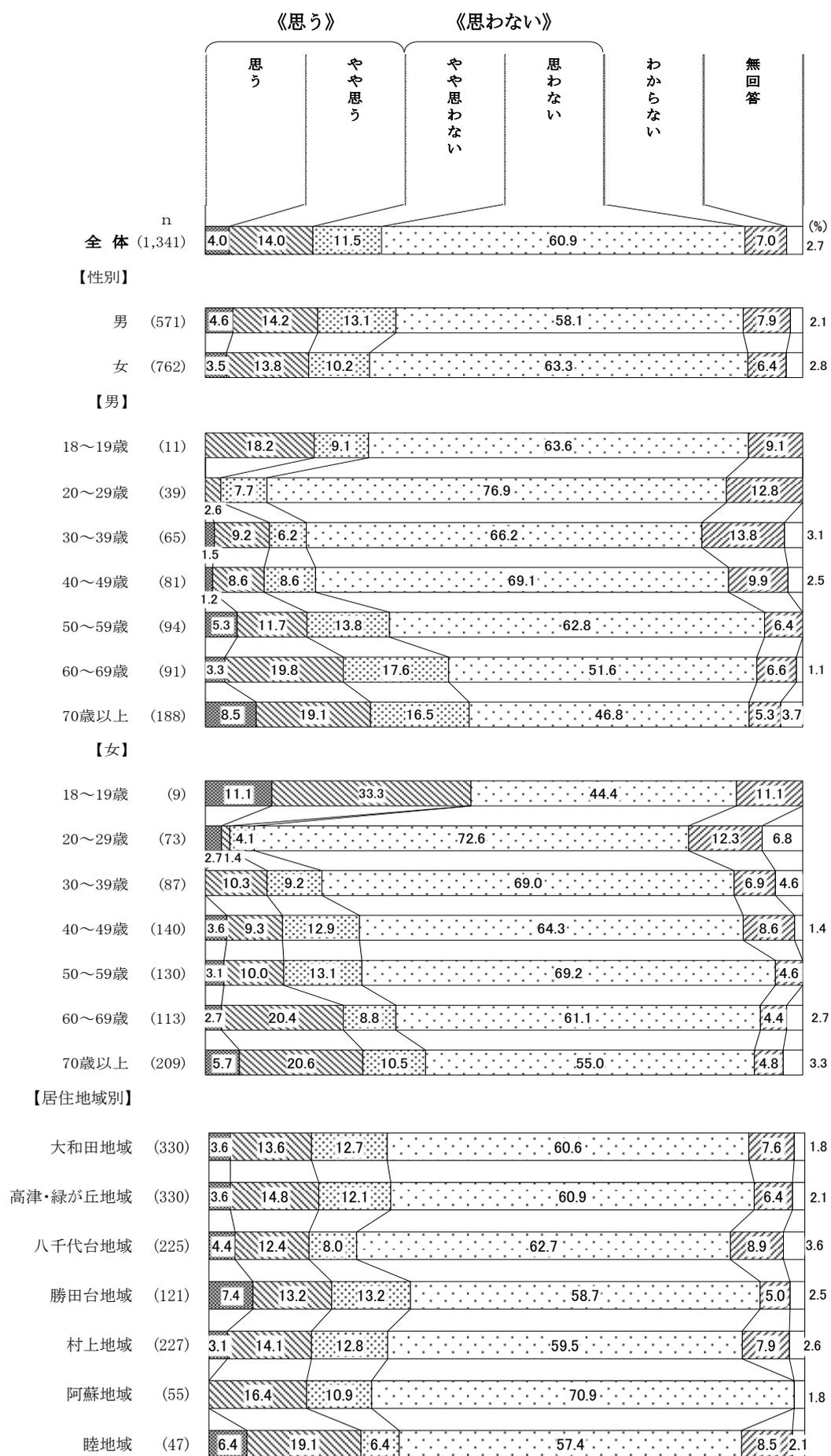
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(18.8%)、女性(17.3%)ともに約2割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性(71.2%)で7割を超えており、女性(73.5%)で7割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では70歳以上(27.6%)で約3割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(27.3%)でも約3割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(44.4%)で4割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(26.3%)で2割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性では20～29歳(84.6%)で8割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(77.7%)で約8割となっている。女性では50～59歳(82.3%)で8割を超えて最も高く、次いで30～39歳(78.2%)で約8割となっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、睦地域(25.5%)で2割台半ばと最も高く、次いで勝田台地域(20.6%)で2割となっている。一方、《思わない》の割合は、阿蘇地域(81.8%)で8割を超えて最も高く、次いで大和田地域(73.3%)で7割台半ばとなっている。

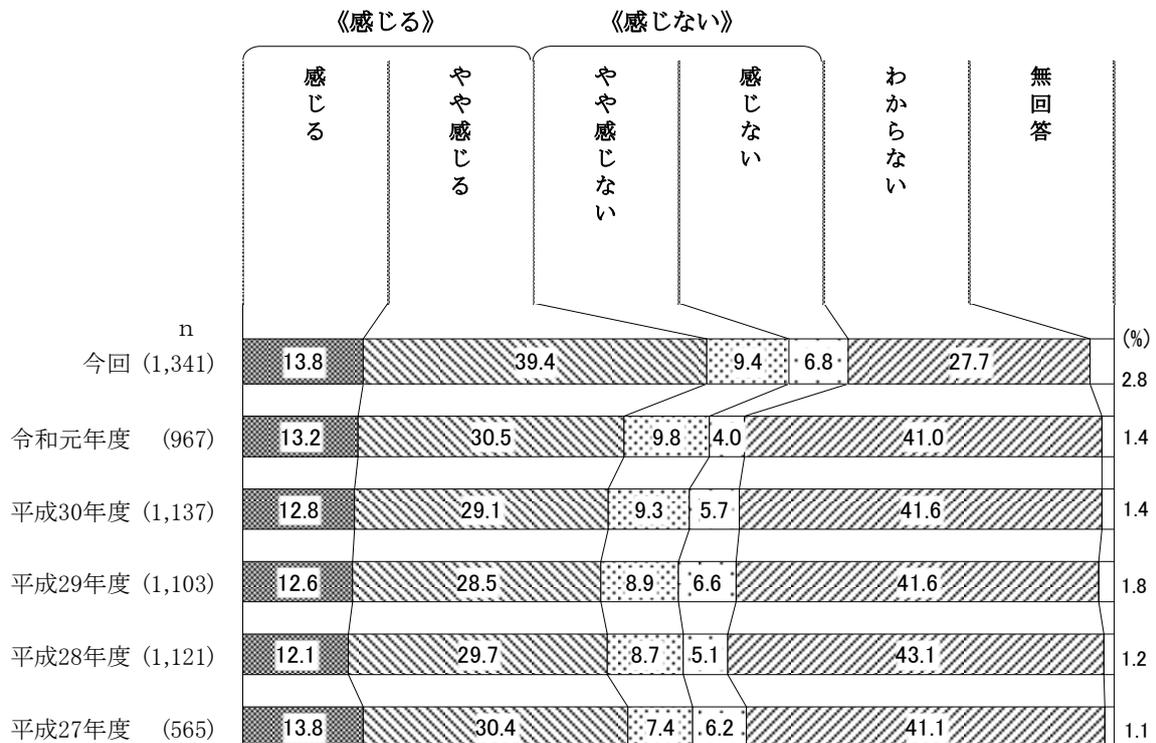
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑤ 「地域消防・救急体制」について

【問33】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？



本市の地域消防・救急体制が整っていると感じるかについては、「感じる」(13.8%)と「やや感じる」(39.4%)を合わせた《感じる》(53.2%)は5割台半ばとなっている。「感じない」(6.8%)と「やや感じない」(9.4%)を合わせた《感じない》(16.2%)は1割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(53.2%)は令和元年度(43.7%)から9.5ポイント増加し、《感じない》(16.2%)は令和元年度(13.8%)から2.4ポイント増加している。

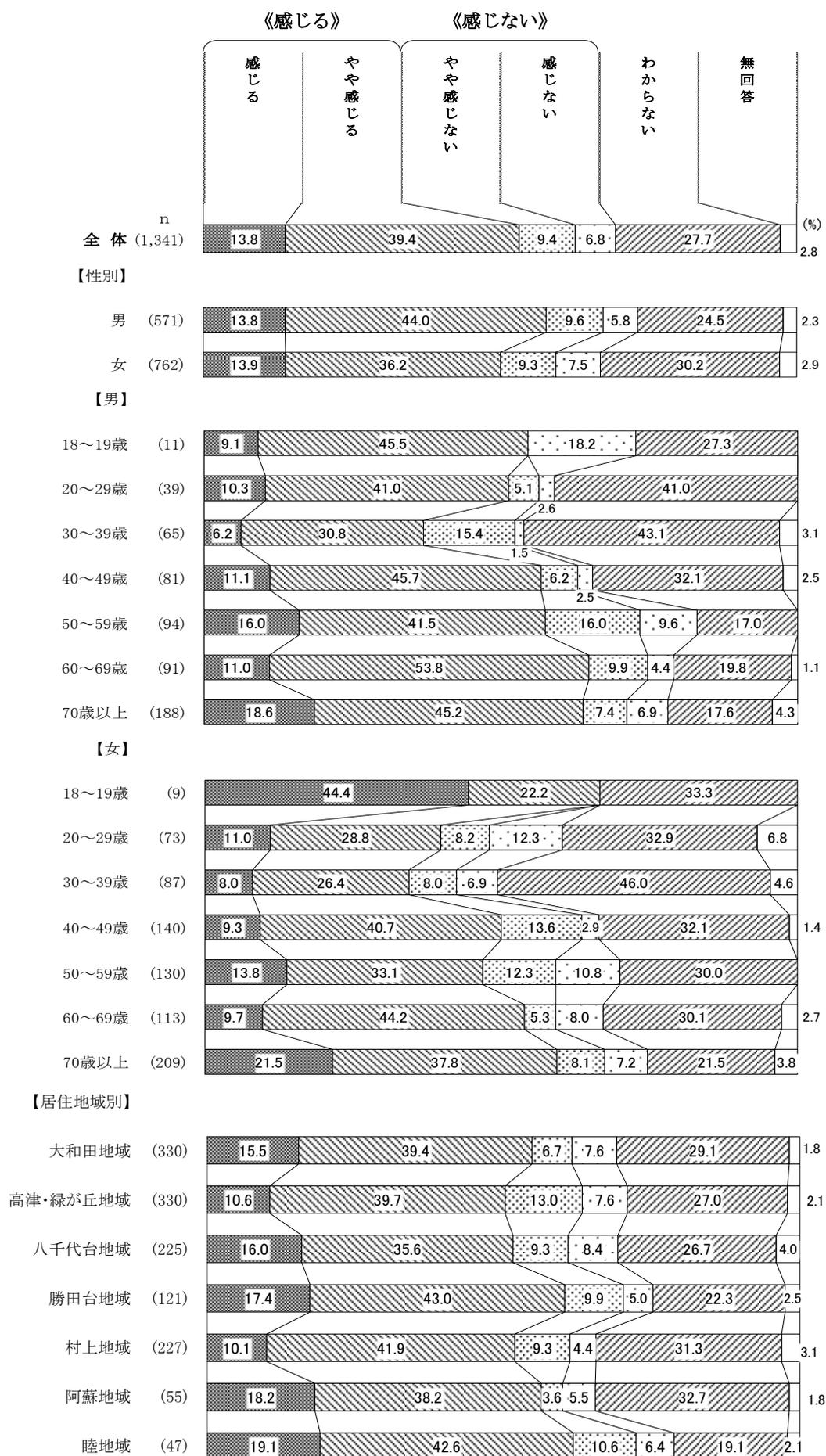
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(57.8%)で約6割、女性(50.1%)で5割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(15.4%)で1割台半ば、女性(16.8%)で1割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(64.8%)で6割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(63.8%)でも6割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.6%)で6割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(59.3%)で約6割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(25.6%)で2割台半ばと最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(18.2%)で約2割となっている。女性では50～59歳(23.1%)で2割台半ばと最も高く、次いで20～29歳(20.5%)で2割となっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、睦地域(61.7%)で6割を超えて最も高く、次いで勝田台地域(60.4%)で6割となっている。一方、《感じない》の割合は、高津・緑が丘地域(20.6%)で2割と最も高く、次いで八千代台地域(17.7%)で約2割となっている。

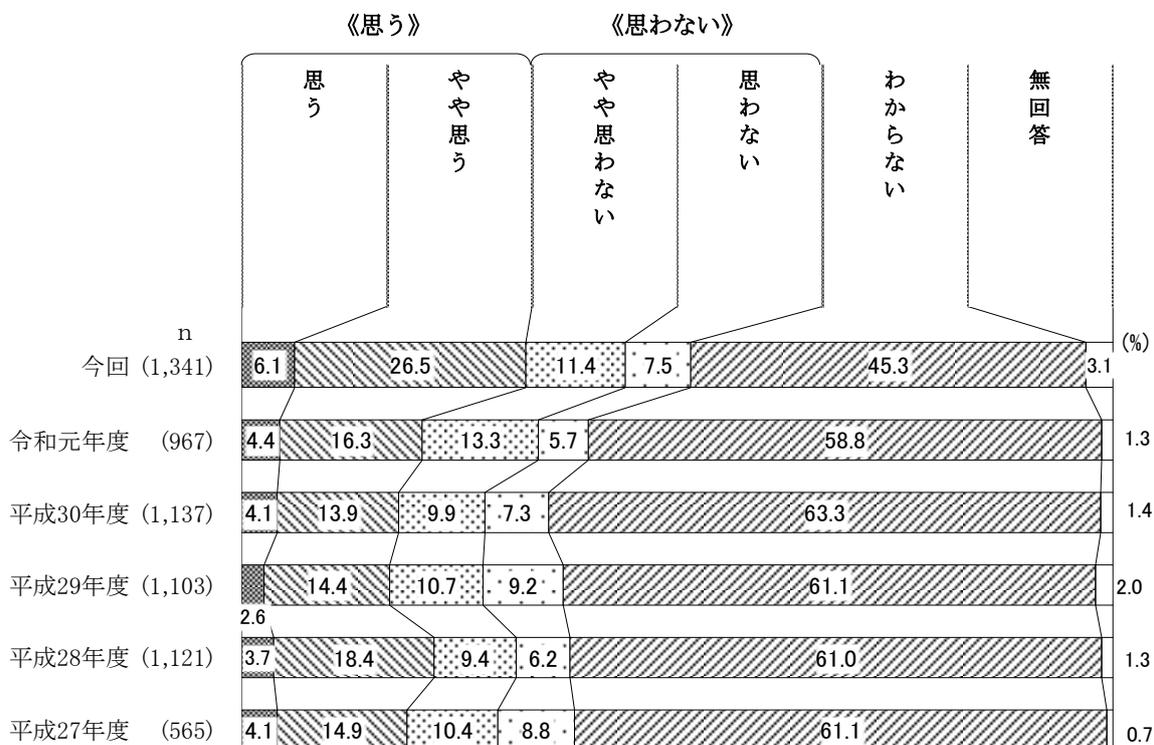
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑥ 「災害に備えた対策」について

【問34】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？



本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思うかについては、「思う」(6.1%)と「やや思う」(26.5%)を合わせた《思う》(32.6%)は3割を超えている。「思わない」(7.5%)と「やや思わない」(11.4%)を合わせた《思わない》(18.9%)は約2割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《思う》(32.6%)は令和元年度(20.7%)から11.9ポイント増加し、《思わない》(18.9%)は令和元年度(19.0%)から大きな差はみられない。

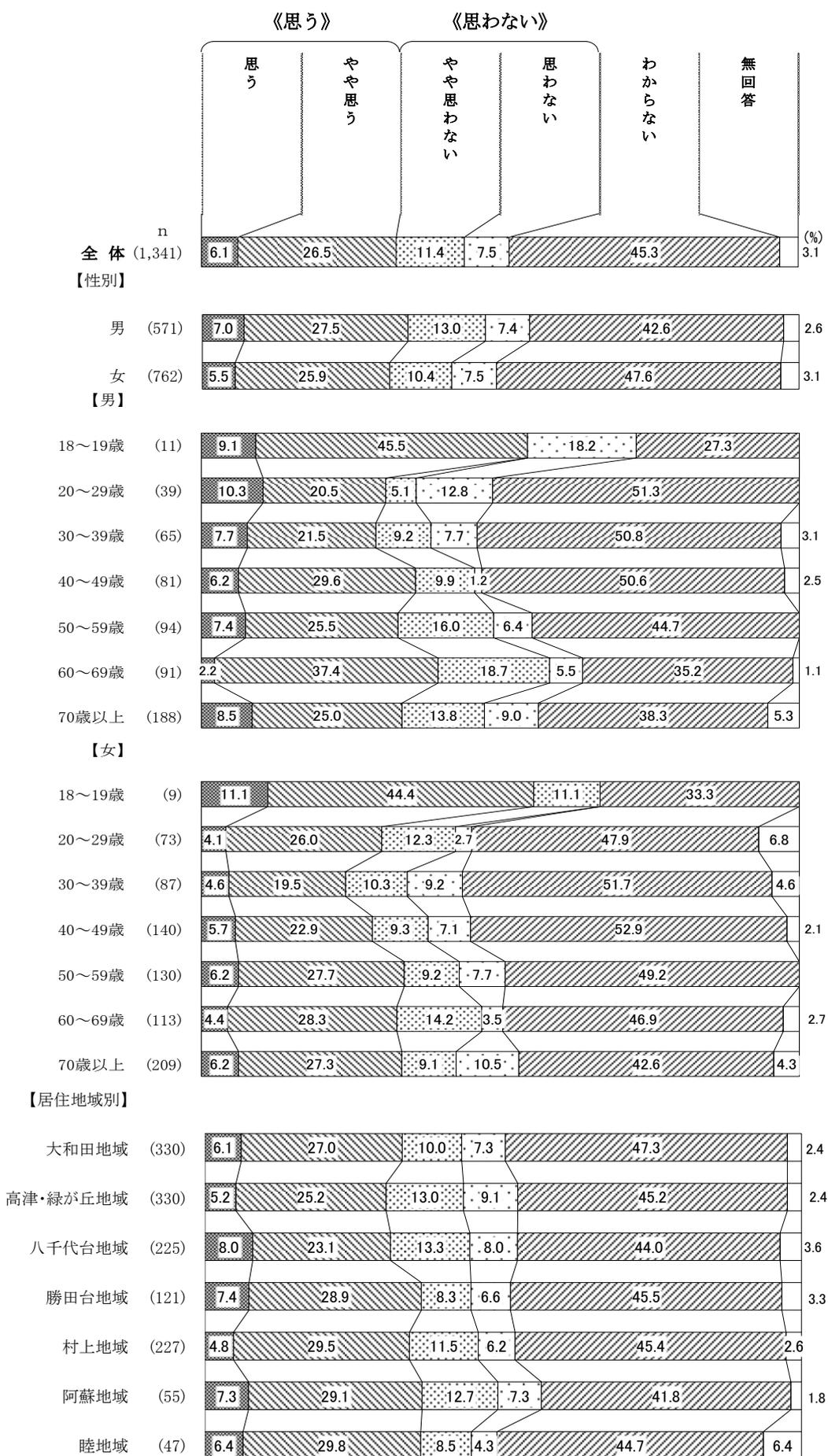
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(34.5%)で3割台半ば、女性(31.4%)で3割を超えている。一方、《思わない》の割合は、男性(20.4%)で2割、女性(17.9%)で約2割となっている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(54.6%)で5割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(39.6%)で約4割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.5%)で5割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(33.9%)で3割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性では60～69歳(24.2%)で2割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(22.8%)で2割を超えている。女性では70歳以上(19.6%)で約2割と最も高く、次いで30～39歳(19.5%)で約2割となっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、阿蘇地域(36.4%)で3割台半ばと最も高く、次いで勝田台地域(36.3%)でも3割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、高津・緑が丘地域(22.1%)で2割を超えて最も高く、次いで八千代台地域(21.3%)でも2割を超えている。

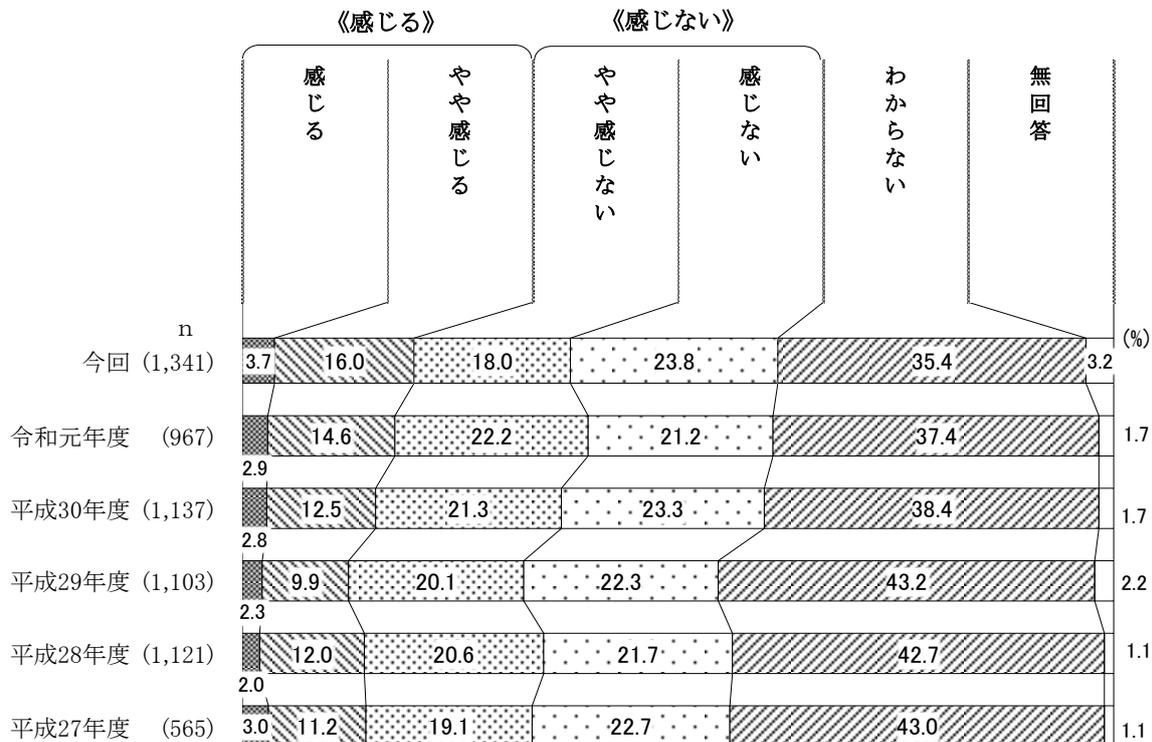
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑦ 「公共交通不便地域における高齢者の移動」について

【問35】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？



本市は交通弱者にやさしい交通環境だと感じるかについては、「感じる」(3.7%)と「やや感じる」(16.0%)を合わせた《感じる》(19.7%)は約2割となっている。「感じない」(23.8%)と「やや感じない」(18.0%)を合わせた《感じない》(41.8%)は4割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(19.7%)は令和元年度(17.5%)から2.2ポイント増加し、《感じない》(41.8%)は令和元年度(33.4%)から8.4ポイント増加している。

【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(18.6%)、女性(20.5%)ともに2割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(42.0%)、女性(41.8%)ともに4割を超えている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(30.7%)で3割と最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(27.3%)で約3割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(55.5%)で5割台半ばと最も高く、次いで20～29歳(27.4%)で約3割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性では60～69歳(49.5%)で約5割と最も高く、次いで50～59歳(46.8%)で4割台半ばとなっている。女性では60～69歳(52.2%)で5割を超えて最も高く、次いで50～59歳(45.4%)で4割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、八千代台地域(23.1%)で2割台半ばと最も高く、次いで村上地域(22.4%)で2割を超えている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(59.6%)で約6割と最も高く、次いで阿蘇地域(56.4%)で5割台半ばとなっている。

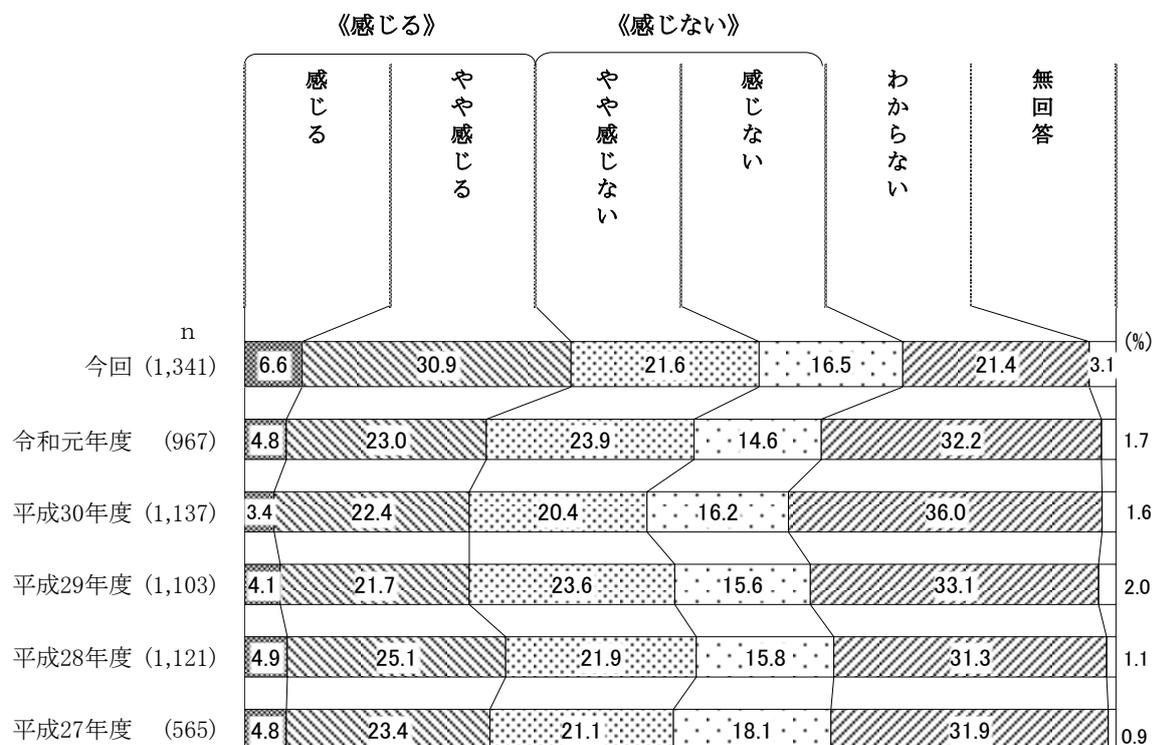
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑧ 「防災・生活情報の得やすさ」について

【問36】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいますが、あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？



生活・防災情報が得やすいと感じるかについては、「感じる」(6.6%)と「やや感じる」(30.9%)を合わせた《感じる》(37.5%)は約4割となっている。「感じない」(16.5%)と「やや感じない」(21.6%)を合わせた《感じない》(38.1%)は約4割となっている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(37.5%)は令和元年度(27.8%)から9.7ポイント増加し、《感じない》(38.1%)は令和元年度(38.5%)から大きな差はみられない。

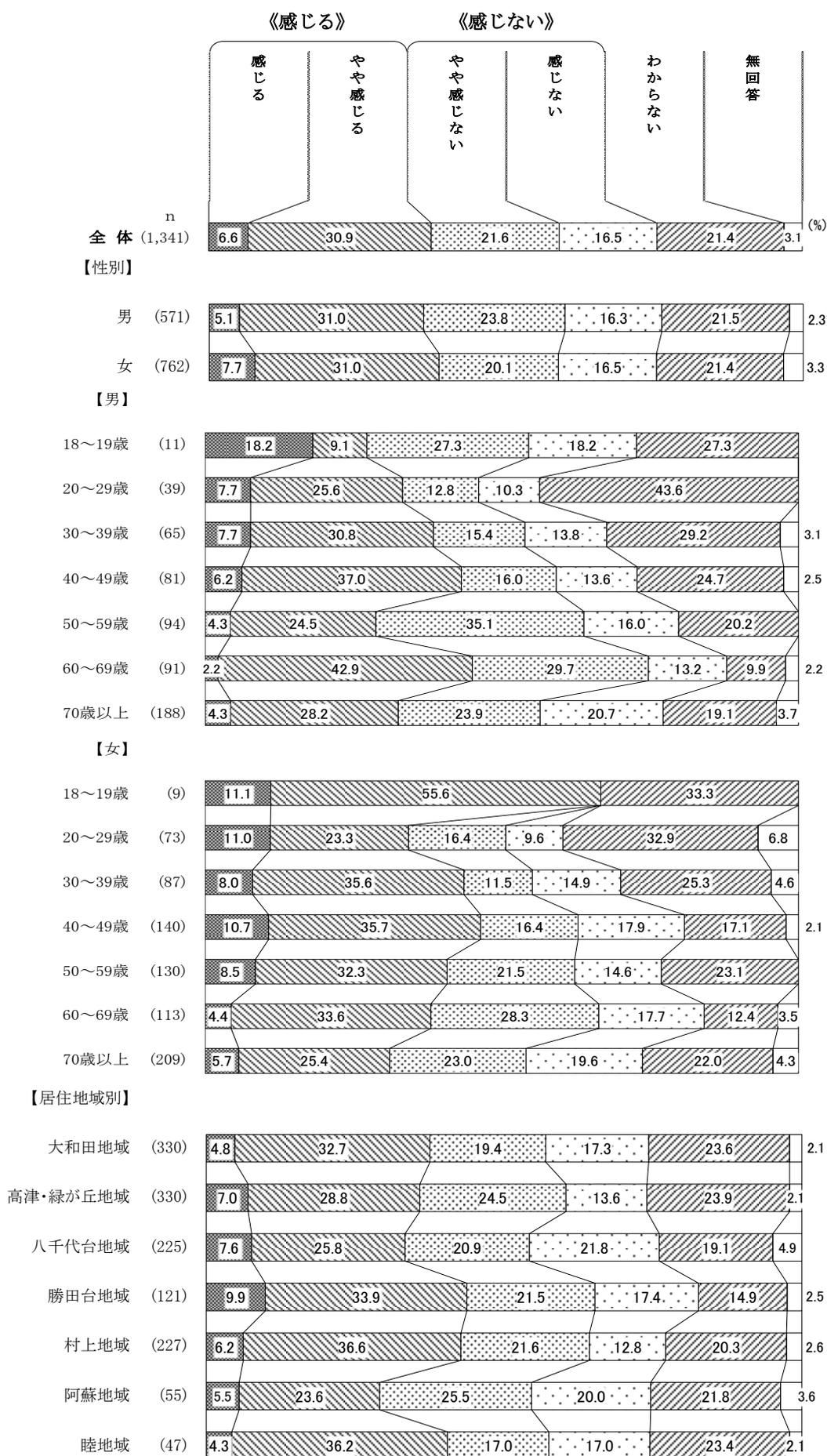
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(36.1%)で3割台半ば、女性(38.7%)で約4割となっている。一方、《感じない》の割合は、男性(40.1%)で4割、女性(36.6%)で3割台半ばとなっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では60～69歳(45.1%)で4割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(43.2%)でも4割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで40～49歳(46.4%)で4割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(51.1%)で5割を超えて最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばとなっている。女性では60～69歳(46.0%)で4割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(42.6%)で4割を超えている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(43.8%)で4割台半ばと最も高く、次いで村上地域(42.8%)で4割を超えている。一方、《感じない》の割合は、阿蘇地域(45.5%)で4割台半ばと最も高く、次いで八千代台地域(42.7%)で4割を超えている。

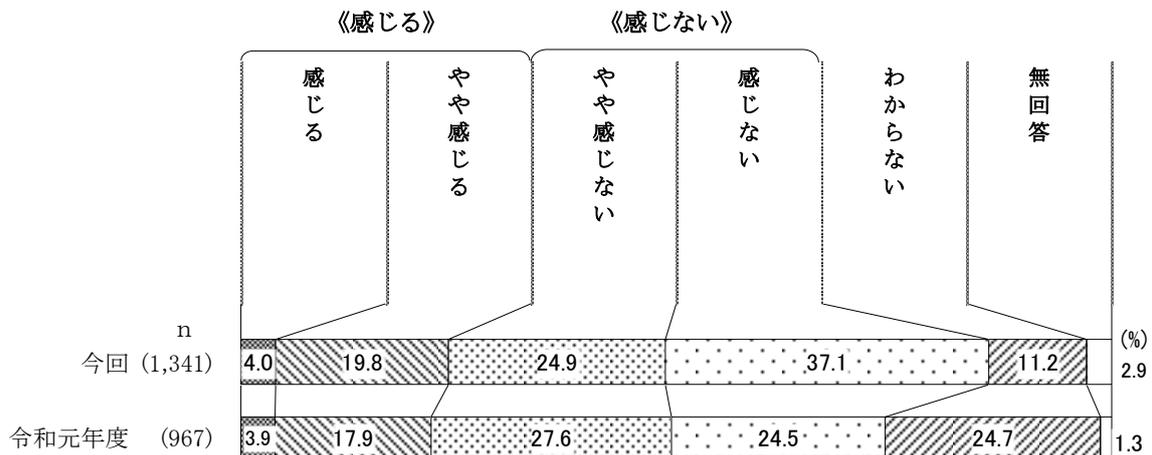
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑨ 「地域の犯罪の多さ」について

【問37】「地域の犯罪の多さ」についてお尋ねします。市では、犯罪発生情報の提供や地域防犯活動の推進、防犯施設の整備（防犯灯、防犯カメラ）に取り組んでいますが、あなたの住んでいる地域に犯罪が多いと感じますか？



住んでいる地域に犯罪が多いと感じるかについては、「感じる」(4.0%)と「やや感じる」(19.8%)を合わせた《感じる》(23.8%)は2割台半ばとなっている。「感じない」(37.1%)と「やや感じない」(24.9%)を合わせた《感じない》(62.0%)は6割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《感じる》(23.8%)は令和元年度(21.8%)から2ポイント増加し、《感じない》(62.0%)は令和元年度(52.1%)から9.9ポイント増加している。

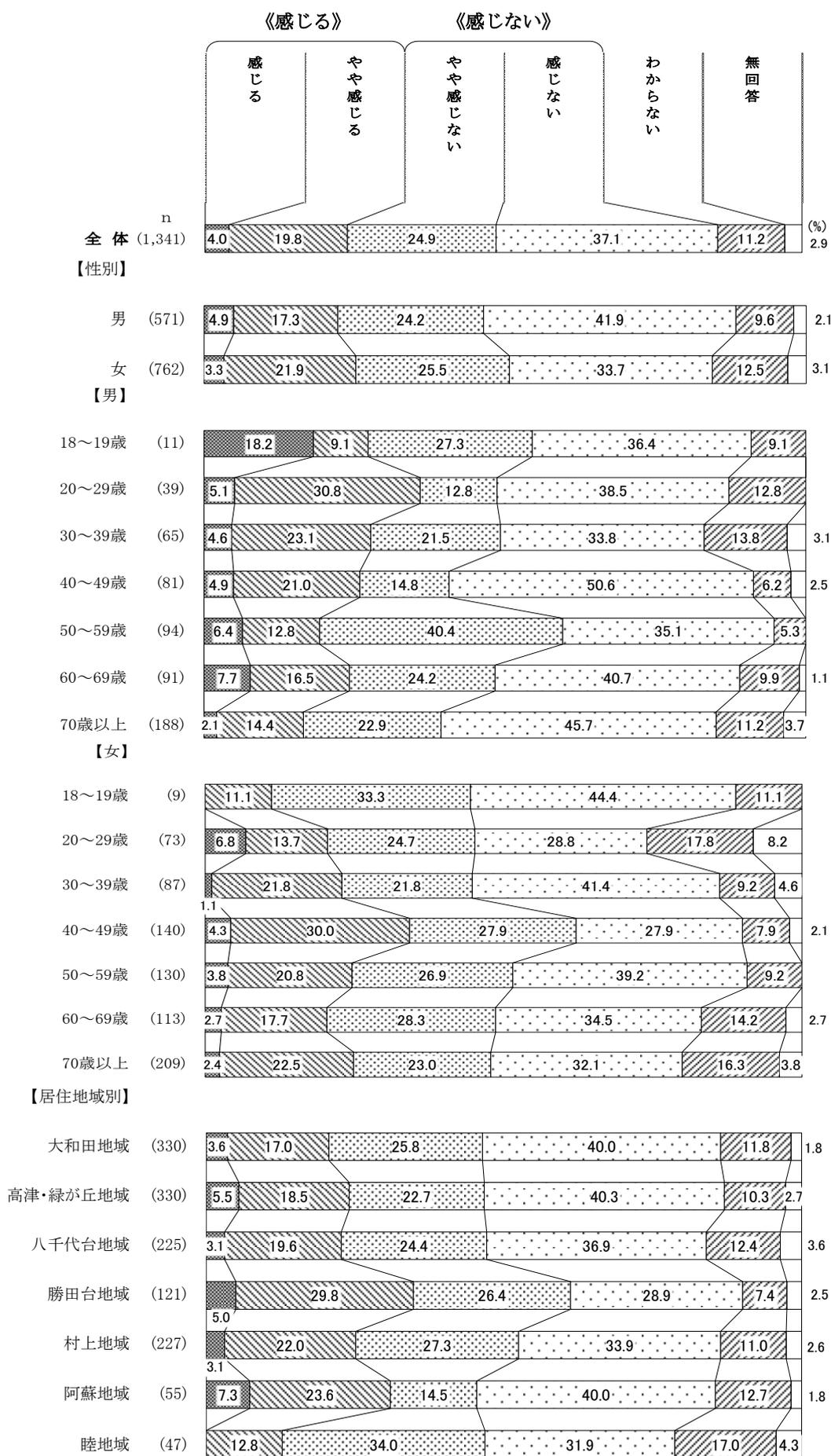
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《感じる》の割合は、男性(22.2%)で2割を超えており、女性(25.2%)で2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性(66.1%)で6割台半ば、女性(59.2%)で約6割となっている。

性・年齢別では、《感じる》の割合は、男性では20～29歳(35.9%)で3割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(27.7%)で約3割となっている。女性では40～49歳(34.3%)で3割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(24.9%)で2割台半ばとなっている。一方、《感じない》の割合は、男性では50～59歳(75.5%)で7割台半ばと最も高く、次いで70歳以上(68.6%)で約7割となっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(77.7%)で約8割と最も高く、次いで50～59歳(66.1%)で6割台半ばとなっている。

居住地域別では、《感じる》の割合は、勝田台地域(34.8%)で3割台半ばと最も高く、次いで阿蘇地域(30.9%)で3割となっている。一方、《感じない》の割合は、睦地域(65.9%)で6割台半ばと最も高く、次いで大和田地域(65.8%)でも6割台半ばとなっている。

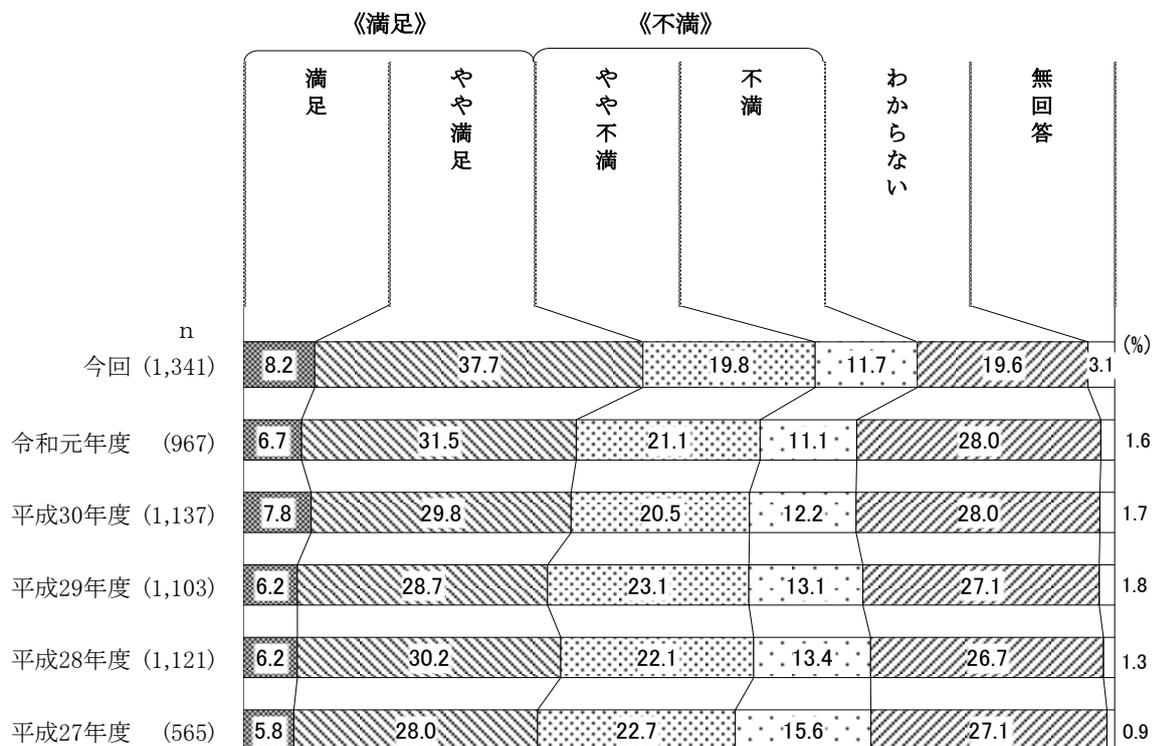
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



III 調査結果の分析

⑩ 公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度について

【問38】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？



公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足しているかについては、「満足」(8.2%)と「やや満足」(37.7%)を合わせた《満足》(45.9%)は4割台半ばとなっている。「不満」(11.7%)と「やや不満」(19.8%)を合わせた《不満》(31.5%)は3割を超えている。

過去の調査結果と比較すると、《満足》(45.9%)は令和元年度(38.2%)から7.7ポイント増加し、《不満》(31.5%)は令和元年度(32.2%)から大きな差はみられない。

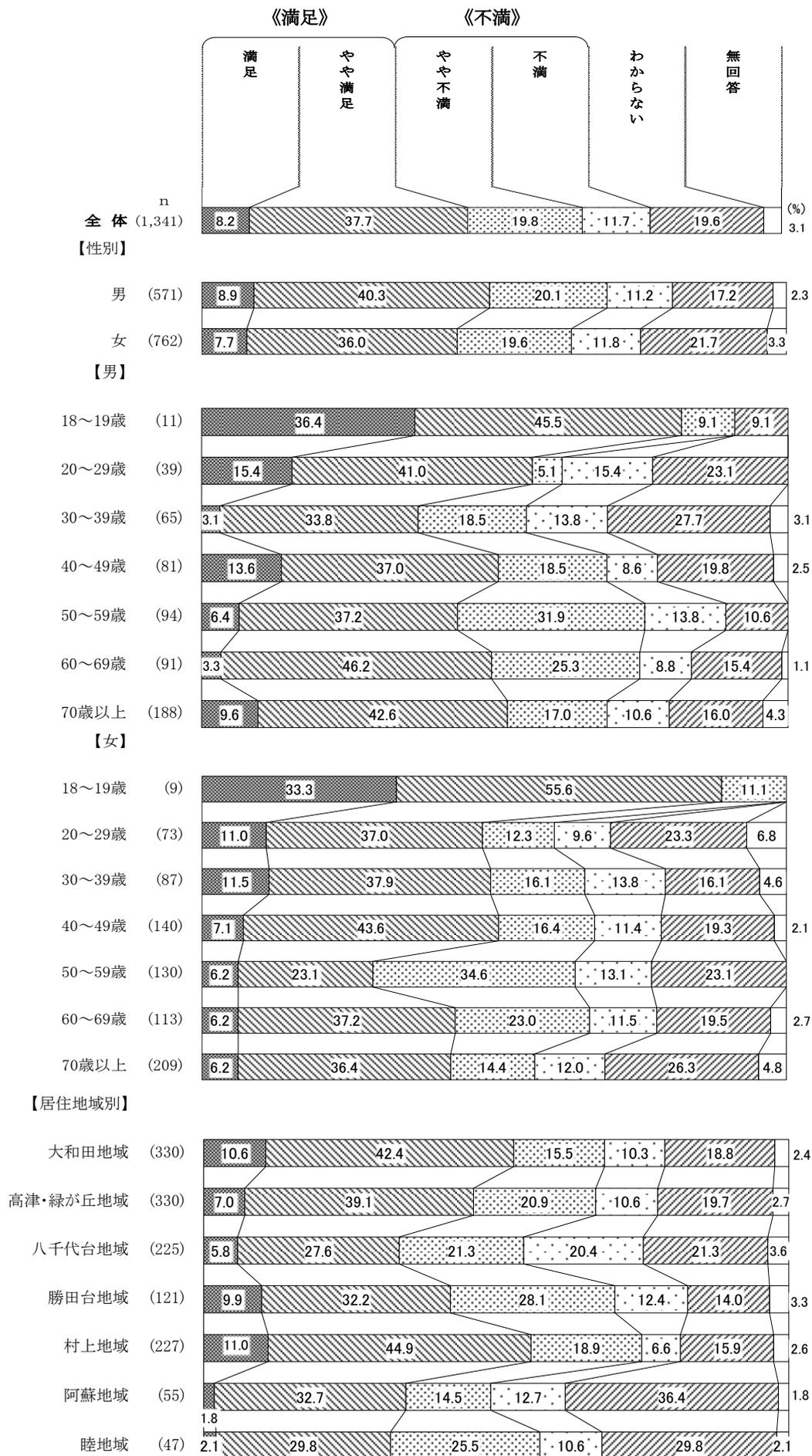
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《満足》の割合は、男性(49.2%)で約5割、女性(43.7%)で4割台半ばとなっている。一方、《不満》の割合は、男性(31.3%)、女性(31.4%)ともに3割を超えている。

性・年齢別では、《満足》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(81.9%)で8割を超えて最も高く、次いで20～29歳(56.4%)で5割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.9%)で約9割と最も高く、次いで40～49歳(50.7%)で5割となっている。一方、《不満》の割合は、男性では50～59歳(45.7%)で4割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(34.1%)で3割台半ばとなっている。女性では50～59歳(47.7%)で約5割と最も高く、次いで60～69歳(34.5%)で3割台半ばとなっている。

居住地域別では、《満足》の割合は、村上地域(55.9%)で5割台半ばと最も高く、次いで大和田地域(53.0%)でも5割台半ばとなっている。一方、《不満》の割合は、八千代台地域(41.7%)で4割を超えて最も高く、次いで勝田台地域(40.5%)で4割となっている。

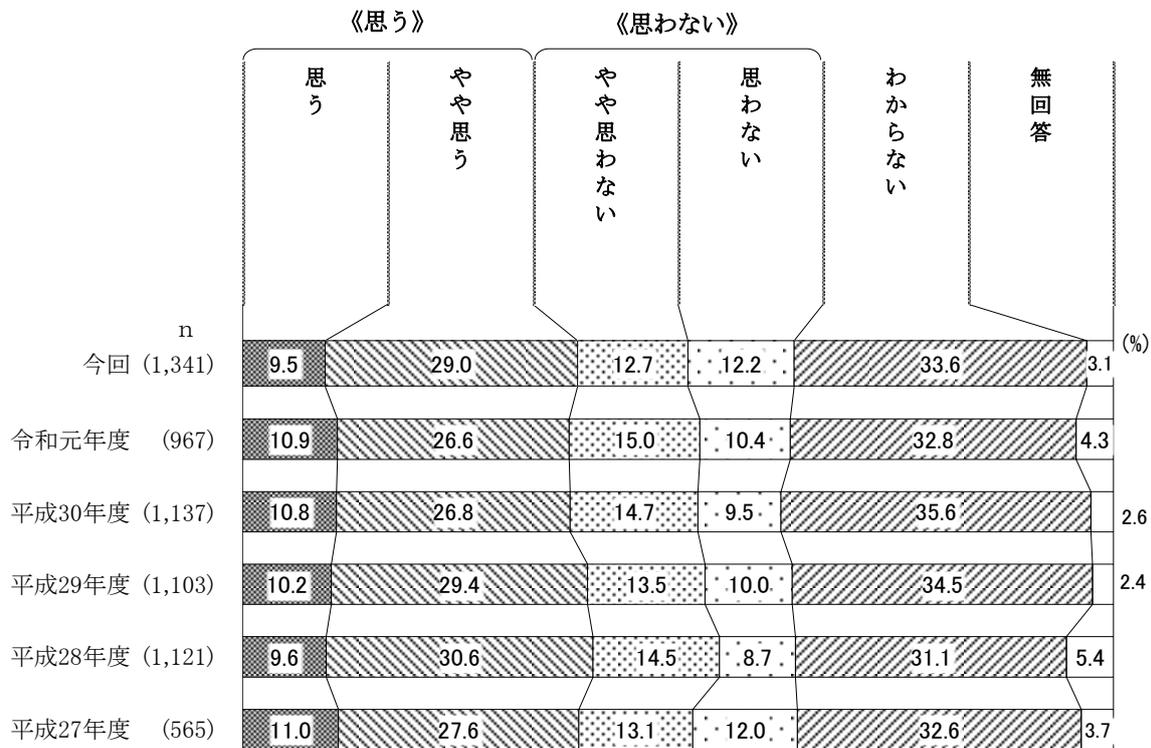
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

⑪ 「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について

【問39】「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてお尋ねします。平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問29から問38までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？



総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思うかについては、「思う」(9.5%)と「やや思う」(29.0%)を合わせた《思う》(38.5%)は約4割となっている。「思わない」(12.2%)と「やや思わない」(12.7%)を合わせた《思わない》(24.9%)は2割台半ばとなっている。

過去の調査結果と比較すると、《思う》(38.5%)、《思わない》(24.9%)ともに令和元年度から大きな差はみられない。

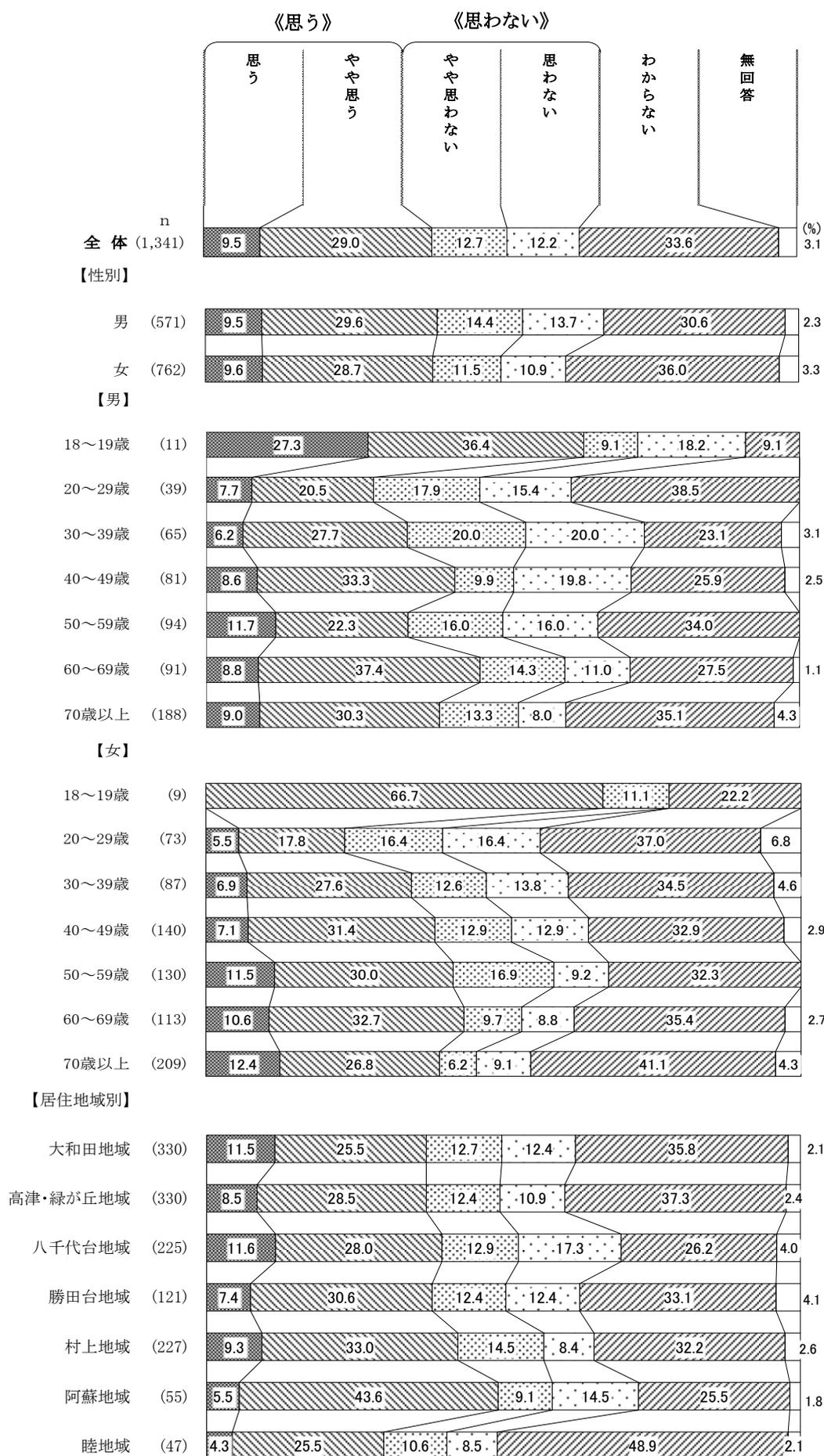
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(39.1%)、女性(38.3%)ともに約4割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性(28.1%)で約3割、女性(22.4%)で2割を超えている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(63.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(46.2%)で4割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(66.7%)で6割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(43.3%)で4割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性では30～39歳(40.0%)で4割と最も高く、次いで20～29歳(33.3%)で3割台半ばとなっている。女性では20～29歳(32.8%)で3割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(26.4%)で2割台半ばとなっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、阿蘇地域(49.1%)で約5割と最も高く、次いで村上地域(42.3%)で4割を超えている。一方、《思わない》の割合は、八千代台地域(30.2%)で3割と最も高く、次いで大和田地域(25.1%)で2割台半ばとなっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

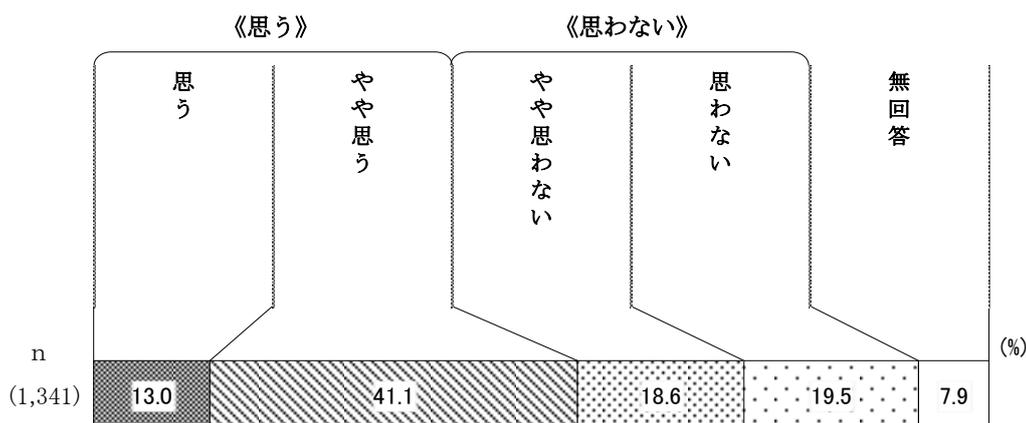


Ⅲ 調査結果の分析

(3) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業に係るアンケート調査

① 「地元中小企業向け支援策」について

【問40】「地元中小企業向け支援策」についてお尋ねします。本市では、地元中小企業の経営支援、地域経済の活性化のため、中小企業への支援金支給やキャッシュレス決済時のポイント付与による消費喚起などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？



地元中小企業向け支援策の効果があったと思うかについては、「思う」(13.0%)と「やや思う」(41.1%)を合わせた《思う》(54.1%)は5割台半ばとなっている。「思わない」(19.5%)と「やや思わない」(18.6%)を合わせた《思わない》(38.1%)は約4割となっている。

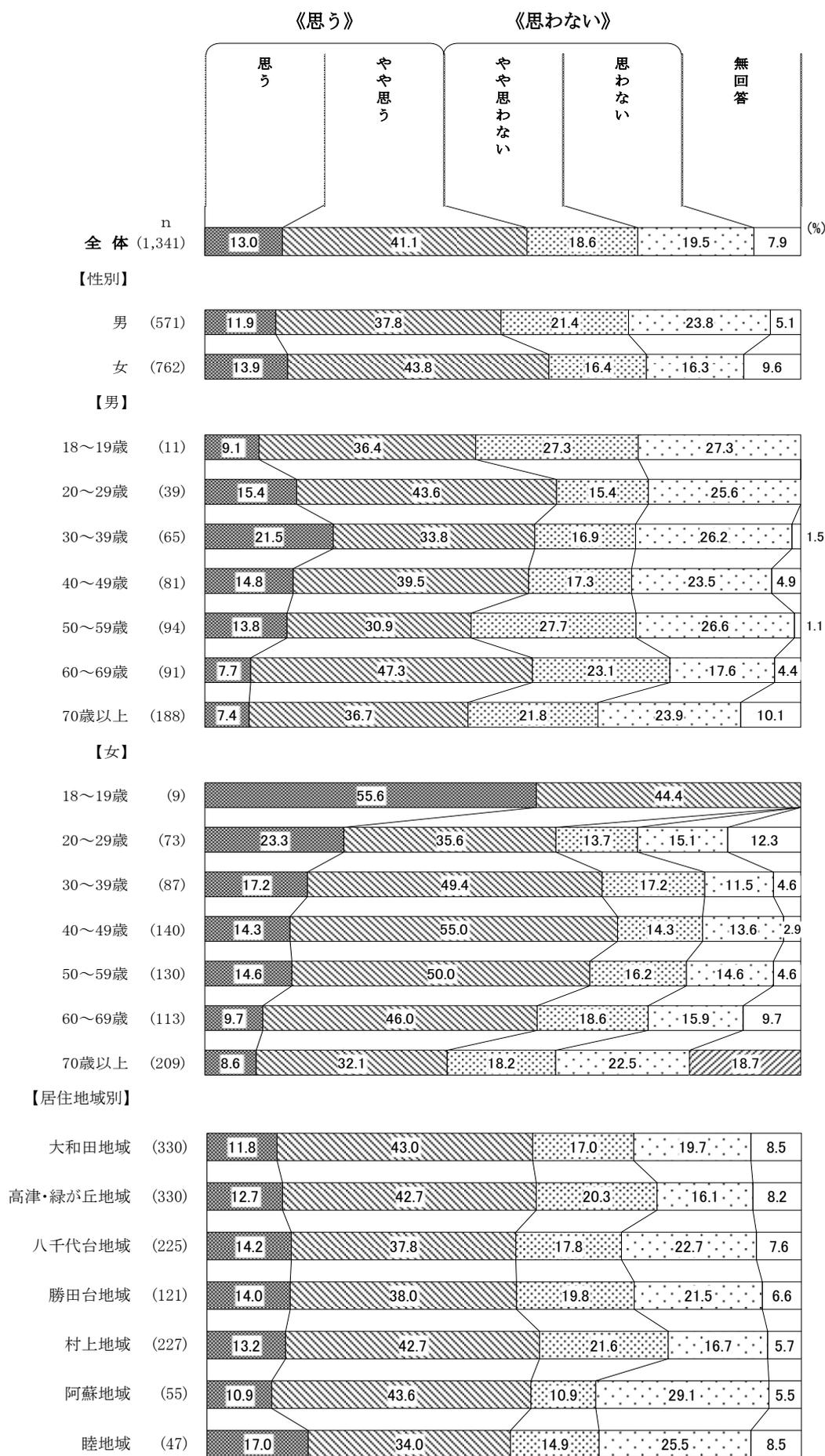
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(49.7%)で約5割、女性(57.7%)で約6割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性(45.2%)で4割台半ば、女性(32.7%)で3割を超えている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では20～29歳(59.0%)で約6割と最も高く、次いで60～69歳(55.3%)でも5割台半ばと高くなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(100.0%)で10割と最も高く、次いで40～49歳(69.3%)で約7割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性では回答者数は少ないが18～19歳(54.6%)で5割台半ばと最も高く、次いで50～59歳(54.3%)でも5割台半ばとなっている。女性では70歳以上(40.7%)で4割と最も高く、次いで60～69歳(34.5%)で3割台半ばとなっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、村上地域(55.9%)で5割台半ばと最も高く、次いで高津・緑が丘地域(55.4%)でも5割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、勝田台地域(41.3%)が4割を超えて最も高く、次いで八千代台地域(40.5%)で4割となっている。

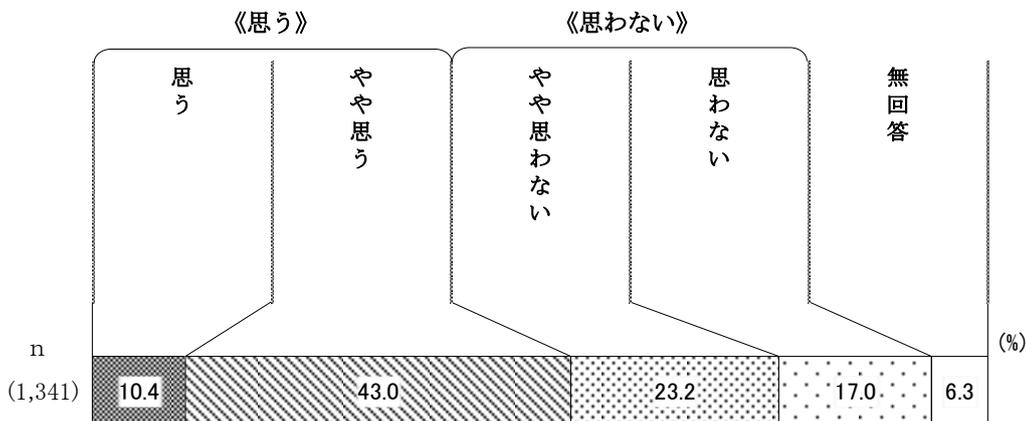
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

② 「市民向け支援策」について

【問41】「市民向け支援策」についてお尋ねします。本市では、市民生活を支援するため、感染症に関する情報発信の強化、生活への経済的影響の緩和、新しい生活様式の推進などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？



市民向け支援策の効果があったと思うかについては、「思う」(10.4%)と「やや思う」(43.0%)を合わせた《思う》(53.4%)は5割台半ばとなっている。「思わない」(17.0%)と「やや思わない」(23.2%)を合わせた《思わない》(40.2%)は4割となっている。

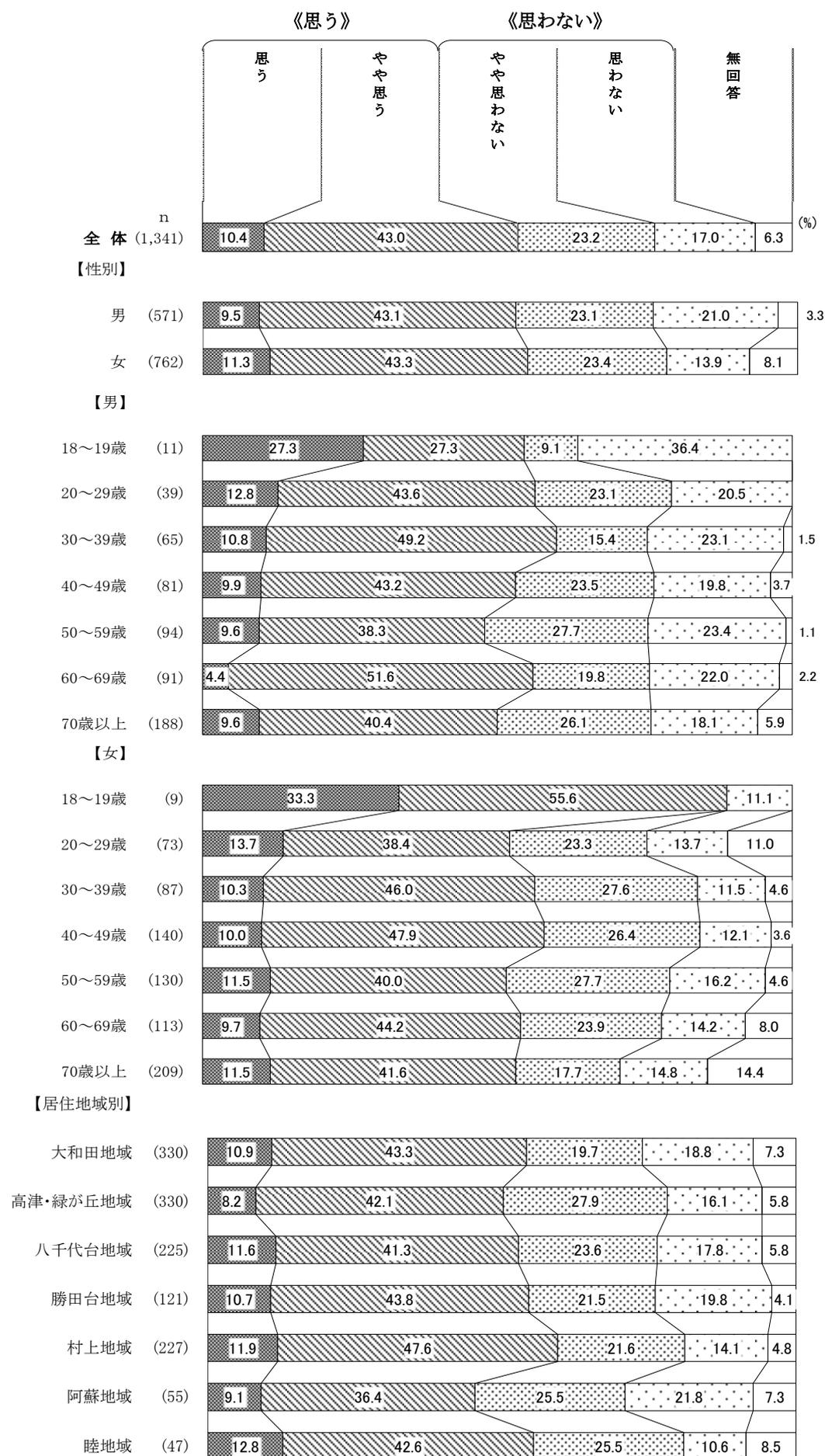
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(52.6%)で5割を超えており、女性(54.6%)で5割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性(44.1%)で4割台半ば、女性(37.3%)で約4割となっている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では30～39歳(60.0%)で6割と最も高く、次いで20～29歳(56.4%)で5割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.9%)で約9割と最も高く、次いで40～49歳(57.9%)で約6割となっている。一方、《思わない》の割合は、男性では50～59歳(51.1%)で5割を超えて最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(45.5%)で4割台半ばとなっている。女性では50～59歳(43.9%)で4割台半ばと最も高く、次いで30～39歳(39.1%)で約4割となっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、村上地域(59.5%)で約6割と最も高く、次いで睦地域(55.4%)で5割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、阿蘇地域(47.3%)で約5割と最も高く、次いで高津・緑が丘地域(44.0%)で4割台半ばとなっている。

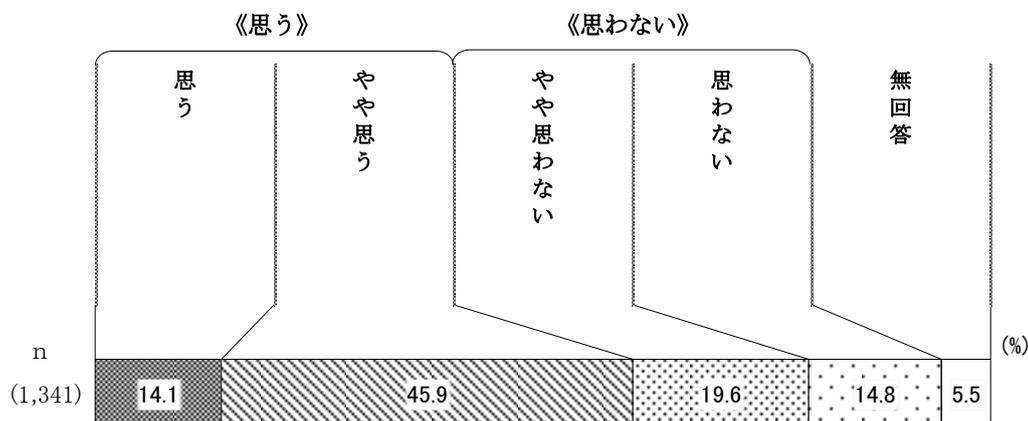
〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉



Ⅲ 調査結果の分析

③ 「新たな感染拡大防止策」について

【問42】「新たな感染拡大防止策」についてお尋ねします。本市では、感染拡大の防止を図るため、PCR検査の促進、介護施設等の衛生用品購入費補助、公共的空間の感染対策などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？



新たな感染拡大防止策の効果があったと思うかについては、「思う」(14.1%)と「やや思う」(45.9%)を合わせた《思う》(60.0%)は6割となっている。「思わない」(14.8%)と「やや思わない」(19.6%)を合わせた《思わない》(34.4%)は3割台半ばとなっている。

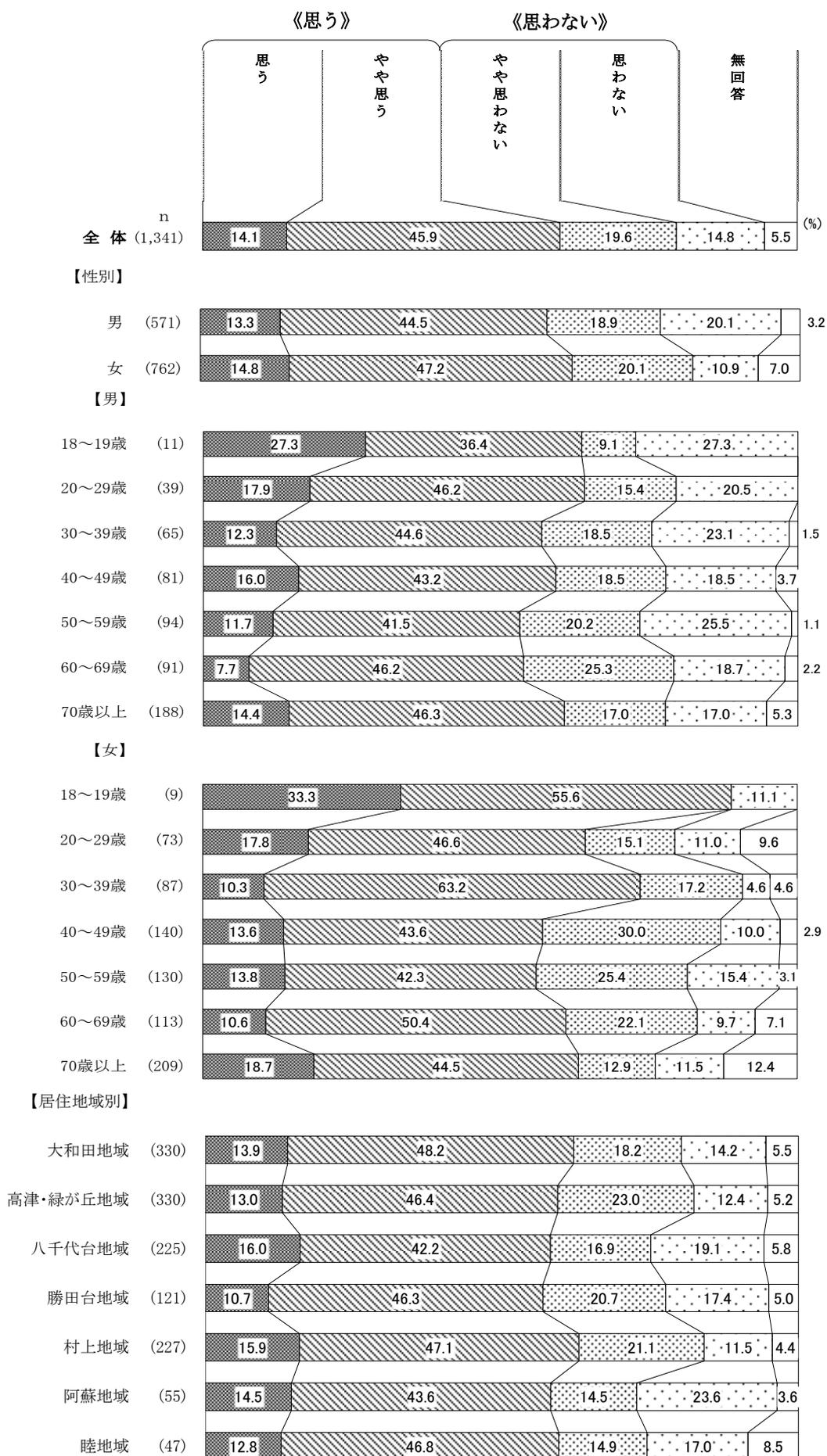
【性別／性・年齢別／居住地域別】

性別では、《思う》の割合は、男性(57.8%)で約6割、女性(62.0%)で6割を超えている。一方、《思わない》の割合は、男性(39.0%)で約4割、女性(31.0%)で3割を超えている。

性・年齢別では、《思う》の割合は、男性では20～29歳(64.1%)で6割台半ばと最も高く、次いで回答者数は少ないが18～19歳(63.7%)で6割台半ばとなっている。女性では回答者数は少ないが18～19歳(88.9%)で約9割と最も高く、次いで30～39歳(73.5%)で7割台半ばとなっている。一方、《思わない》の割合は、男性では50～59歳(45.7%)で4割台半ばと最も高く、次いで60～69歳(44.0%)でも4割を超えている。女性では50～59歳(40.8%)で4割と最も高く、次いで40～49歳(40.0%)でも4割となっている。

居住地域別では、《思う》の割合は、村上地域(63.0%)で6割台半ばと最も高く、次いで大和田地域(62.1%)で6割を超えている。一方、《思わない》の割合は、勝田台地域と阿蘇地域(ともに38.1%)が約4割で最も高く、次いで八千代台地域(36.0%)で3割台半ばとなっている。

〈 性別／性・年齢別／居住地域別 〉

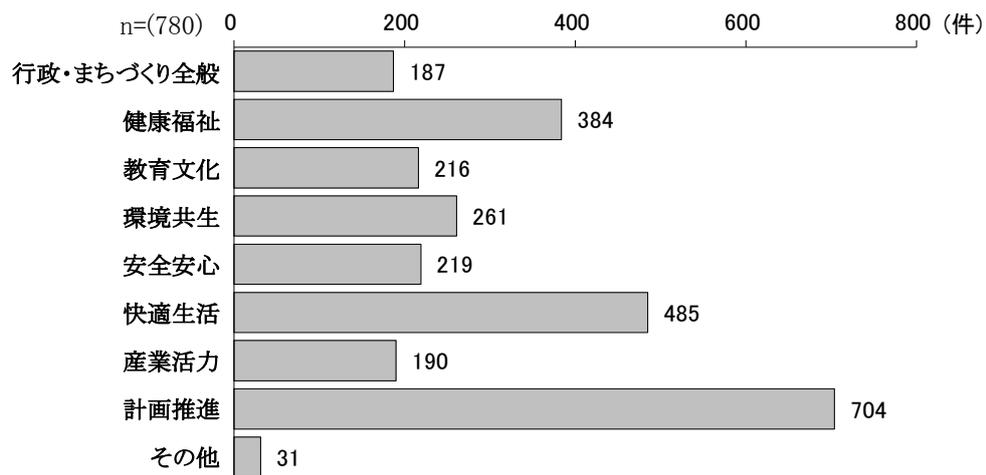


Ⅲ 調査結果の分析

(4) 自由意見

【問43】最後に、市政全般やこれからのまちづくりに向けて力を入れてほしい点など、市へのご意見やご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

市へのご意見・ご要望などについては、問43のほか、問43以外で寄せられたご意見等を合わせて780名から2,677件の回答があった。その内容分類別の件数は、以下のとおりである。



IV 使用した調査票

八千代市市民満足度調査

市民の皆様には、日頃より市政に対しましてご理解、ご協力を賜りお礼申し上げます。

この調査は、市民の皆様が現在の八千代市の状況についてどのように感じているかを満足度として把握し、今後の行政サービスの参考とさせていただくために行うものです。

調査は、市内にお住まいの18歳以上の3,500人を無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いしています。

お答えいただきました調査結果は市ホームページ等で公表しますがご回答いただいた個別の情報は統計的に処理を施し公表しますので個人が特定されることはありません。

ご回答のために貴重なお時間をいただくことになり、まことに恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和3年10月

八千代市長 服部友則

(ご記入にあたってのお願い)

- 1 この調査は、できるだけ宛名の方ご本人がご記入ください。
- 2 この調査は無記名です。名前・住所を書いていただく必要はありません。
- 3 各設問の該当する選択肢の番号に○を付けてください。
- 4 調査の結果は、市のホームページなどで公表いたします。
- 5 ご記入いただきました調査票は、

令和3年10月25日(月曜日)までに、

同封した返信用封筒(切手不要)に入れて投函してください。

- 6 調査の内容等について、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

(問合せ先) ■八千代市 企画部 企画経営課 企画政策班

〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田312-5

電話 (047)483-1151 (代表) 内線2331~2333

(047)421-6701 (直通)

八千代市市民満足度調査

あなたご自身のことについておたずねします。

【問1】 あなたの性別は、次のうちどれですか？

1	男	2	女	3	その他
---	---	---	---	---	-----

【問2】 あなたの年齢は、次のうちどれですか？

1	18 ～ 19歳	5	50 ～ 59歳
2	20 ～ 29歳	6	60 ～ 69歳
3	30 ～ 39歳	7	70歳以上
4	40 ～ 49歳		

【問3】 あなたの職業は、次のうちどれですか？

1	会社員	5	専業主婦または主夫
2	自営業	6	学生
3	農業	7	無職
4	公務員	8	その他 ()

【問4】 あなたのお住まいは、次のうちどこですか？

	地区	該当町丁目・街区
1	大和田地区	大和田・萱田・萱田町
2	ゆりのき台地区	ゆりのき台1丁目～8丁目
3	大和田新田(A)地区	大和田新田下区等、萱田中学校又は大和田中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
4	大和田新田(B)地区	大和田新田上区等、高津中学校又は東高津中学校の学区の範囲内にある大和田新田地区
5	高津・緑が丘地区	高津・高津東1丁目～4丁目・緑が丘1丁目～5丁目 緑が丘西1丁目～8丁目
6	八千代台東南地区	八千代台東1丁目～6丁目・八千代台南1丁目～3丁目
7	八千代台西北地区	八千代台西1丁目～10丁目・八千代台北1丁目～17丁目
8	勝田台地区	勝田台1丁目～7丁目・勝田・勝田台南1丁目～3丁目
9	村上地区	村上・村上南1丁目～5丁目・下市場1丁目～2丁目・ 上高野・勝田台北1丁目～3丁目
10	阿蘇地区	米本・神野・保品・下高野・堀の内
11	睦地区	桑納・麦丸・桑橋・吉橋・島田・神久保・小池・真木野・ 佐山・平戸・島田台・尾崎・大学町1丁目～6丁目
12	米本団地地区	米本団地1街区～5街区
13	高津団地地区	高津団地1街区～7街区
14	村上団地地区	村上団地1街区～3街区

第4次総合計画後期基本計画に関する質問

本市では、平成23年度を始期とする第4次総合計画において、将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定め、〈健康福祉都市をめざして〉〈教育文化都市をめざして〉〈環境共生都市をめざして〉〈安心安全都市をめざして〉〈快適生活都市をめざして〉〈産業活力都市をめざして〉の6つを柱に、まちづくりを進めて参りました。

そして、平成28年度からは、その基本的な計画を定めた後期基本計画を推進するため、施策ごとに数値目標を設定し、各種事業に取り組んできたところです。

以下の質問は、指標に設定された数値目標の達成度を把握するとともに、今後の行政サービスの貴重な資料として活用させていただくものです。

以下の質問は、第4次総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）における指標に関する内容となります。

《健康福祉都市をめざして》

【問5】自分は健康だと感じていますか。

- | | | | |
|-------|------------------|-------------------|--------|
| 1 感じる | 2 どちらかという
感じる | 3 どちらかという
感じない | 4 感じない |
|-------|------------------|-------------------|--------|

【問6】定期的に健康診断・健康診査や人間ドックを受けていますか。

- | | | |
|-------------|--------------|----------|
| 1 定期的に受けている | 2 不定期だが受けている | 3 受けていない |
|-------------|--------------|----------|

【問7】かかりつけ医を決めていますか。

- | | |
|---------|----------|
| 1 決めている | 2 決めていない |
|---------|----------|

【問8】地域医療体制が整っていると感じますか。

- | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------|--------|---------|
| 1 感じる | 2 どちらかという
と感じる | 3 どちらかという
と感じない | 4 感じない | 5 わからない |
|-------|-------------------|--------------------|--------|---------|

【問9】子どもが心身ともに健やかに発育・発達していると感じますか。

- | | | | | |
|-------|-------------------|--------------------|--------|---------|
| 1 感じる | 2 どちらかという
と感じる | 3 どちらかという
と感じない | 4 感じない | 5 わからない |
|-------|-------------------|--------------------|--------|---------|

《計画の推進のために》

【問25】 透明性の高い市政運営がなされていると感じますか。

1 感じる 2 どちらかという
とを感じる 3 どちらかという
と感じない 4 感じない 5 わからない



(問25で「3 どちらかというと感じない」「4 感じない」とお答えの方にお尋ねいたします。)

【問25-2】 透明性の高い市政運営がなされていないと感じる理由をお聞かせください。

【問26】 市民の意見が市政に反映されていると感じますか。

1 感じる 2 どちらかという
とを感じる 3 どちらかという
と感じない 4 感じない 5 わからない



(問26で「3 どちらかというと感じない」「4 感じない」とお答えの方にお尋ねいたします。)

【問26-2】 市民の意見が市政に反映されていないと感じる理由をお聞かせください。

【問27】 自立した市政運営が行われていると感じますか。

1 感じる 2 どちらかという
とを感じる 3 どちらかという
と感じない 4 感じない 5 わからない



(問27で「3 どちらかというと感じない」「4 感じない」とお答えの方にお尋ねいたします。)

【問27-2】 自立した市政運営が行われていないと感じる理由をお聞かせください。

IV 使用した調査票

【問28】 国際交流・協力に関する活動を行ってみたい，参加してみたいと思いますか。

- | | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---------|---|---------|---|------|---|-------|
| 1 | 思う | 2 | どちらかという | 3 | どちらかという | 4 | 思わない | 5 | わからない |
| | と思う | | | | と思わない | | | | |

「計画の推進のために」について，ご意見がありましたらお書きください。

まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する質問にもご協力をお願いします

八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関する質問

八千代市では、将来の人口減少対策として今後市が重点的に取り組むべき政策目標・施策を掲げる「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成28年3月に策定しました。

次の質問から、「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関連する内容となります。

【問29】「八千代市のイメージ」についてお尋ねします。

本市は、都心から30 km圏に位置し、東京のベッドタウンとして発展してきました。また、新川を中心に広大な田園が広がるなど、豊かな自然も残されています。あなたは本市のイメージは良いと思いますか？

1 思う 2 やや思う 3 やや思わない 4 思わない 5 わからない

【問30】「八千代市の活性化」についてお尋ねします。

まちの活性化のためには、「地域コミュニティの活性化」、「地域の産業の活性化」、「地域の観光の活性化」などが必要ですが、本市は現在、まちが活性化していると感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

【問31】「新川周辺の活性化」についてお尋ねします。

市のシンボリック存在の新川の周辺には、やちよふれあいの農業の郷、中央図書館・市民ギャラリーや総合グラウンドなどがあり、また、夏には八千代ふるさと親子祭が開催されるなど、イベントにも活用されています。あなたは新川周辺が活性化していると感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

【問32】「地域活動」についてお尋ねします。

地域には、自治会などの活動をはじめ、老人クラブや地域ボランティアなどの様々な活動がありますが、あなたは積極的に地域活動に参加していると感じますか？

1 思う 2 やや思う 3 やや思わない 4 思わない 5 わからない

【問33】「地域消防・救急体制」についてお尋ねします。

市では、消防拠点の整備や車両の増強、救急・救助体制の強化や医療機関との連携強化に努めているところですが、あなたは本市の地域消防・救急体制が整っていると感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

IV 使用した調査票

【問34】「災害に備えた対策」についてお尋ねします。

市では、災害に備えて情報伝達手段の多様化や、食料などの必要物資の備蓄などに努めているところですが、本市は災害に備えた対策が適切に行われていると思いますか？

1 思う 2 やや思う 3 やや思わない 4 思わない 5 わからない

【問35】「公共交通不便地域における高齢者の移動」についてお尋ねします。

市では、公共交通の利用が困難な地域に居住し、外出が困難な高齢者のため、タクシーの利用料金の一部を助成し高齢者の外出を支援していますが、本市は公共交通不便地域にお住まいの高齢者など、交通弱者にやさしい交通環境だと感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

【問36】「防災・生活情報の得やすさ」についてお尋ねします。

市では、防災・生活情報の伝達強化や、多言語による防災・生活情報の配信に取り組んでいます。あなたは防災・生活情報が得やすいと感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

【問37】「地域の犯罪の多さ」についてお尋ねします。

市では、犯罪発生情報の提供や地域防犯活動の推進、防犯施設の整備（防犯灯、防犯カメラ）に取り組んでいます。あなたの住んでいる地域に犯罪が多いと感じますか？

1 感じる 2 やや感じる 3 やや感じない 4 感じない 5 わからない

【問38】公共施設のサービス、設備や管理・運営に関する満足度についてお尋ねします。

市内には、市民会館・図書館をはじめ多くの公共施設がありますが、あなたは公共施設の提供するサービス、設備や管理・運営に満足していますか？

1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満 5 わからない

【問39】「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についてお尋ねします。

平成28年3月に策定した「八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」には、問29から問38までの設問に関連する事業が含まれています。本市の将来の人口減少抑制を目標としていますが、あなたはこの総合戦略を実施することが、人口減少の抑制に効果があると思いますか？

1 思う 2 やや思う 3 やや思わない 4 思わない 5 わからない

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した 事業に係るアンケート調査

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルス感染症の拡大に関する対応として、自治体が地域の実情に応じて必要な事業を実施できるようにすることを目的に、国が創設した交付金です。

本市では、この臨時交付金を活用し、感染症の感染拡大防止、市民生活支援、事業者支援、地域経済の活性化、新しい生活様式の推進のための取組などを進めており、このたび、実施した事業の効果を測るため、本アンケートを実施することといたしました。

以下の3問にお答えください。

【問40】「地元中小企業向け支援策」についてお尋ねします。

本市では、地元中小企業の経営支援、地域経済の活性化のため、中小企業への支援金支給やキャッシュレス決済時のポイント付与による消費喚起などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 やや思わない	4 思わない
------	--------	----------	--------

【問41】「市民向け支援策」についてお尋ねします。

本市では、市民生活を支援するため、感染症に関する情報発信の強化、生活への経済的影響の緩和、新しい生活様式の推進などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 やや思わない	4 思わない
------	--------	----------	--------

【問42】「新たな感染拡大防止策」についてお尋ねします。

本市では、感染拡大の防止を図るため、PCR検査の促進、介護施設等の衛生用品購入費補助、公共的空間の感染対策などに取り組みました。あなたはこれらの事業に効果があったと思いますか？

1 思う	2 やや思う	3 やや思わない	4 思わない
------	--------	----------	--------

交付金を活用した主な事業は、右ページをご覧ください

IV 使用した調査票

◎臨時交付金を活用した主な事業

No.	名称	事業概要	実施結果 (令和2年度末時点)
中小企業向け支援策	1 中小企業経営支援事業	売上が前年同月比で2割以上減少した店舗，事業所等を有する事業者に対し，15万円を支給した。	支給件数 2,941件
	2 臨時相談窓口設置事業	売上減少や休業となった事業者に対し，中小企業診断士等による無料の臨時相談窓口を設置した。	相談者数 240事業者 相談回数 468回
	3 キャッシュレス決済ポイント付与事業	店舗，施設でキャッシュレス決済利用時のポイント付与により消費喚起し，地域経済を支援した。	参加者数 1,640事業者 付与額 約5億5千万円
市民向け支援策	4 広報やちよ号外号発行事業	市民や事業者に向けた感染防止対策及び支援策を周知するため，広報やちよ号外号を発行した。	5/26号 64,910部 1/9号 63,000部
	5 自立相談支援機関等の強化事業	感染症の影響に伴う生活困窮者への相談体制を強化し，自立支援体制の充実を図った。	新規相談件数 1,906件
	6 インフルエンザ予防接種無償化事業	感染症の同時流行による地域医療の負担軽減を図るため，高齢者の自己負担相当額を無償化し，予防接種を促進した。	対象人数 34,213人
	7 新生児感染予防助成事業	新生児の感染を防ぎ，母子の健康と健やかな育児の推進を図るため，新生児1人1万円を支給した。	支給人数 1,234人
	8 ひとり親家庭緊急支援事業	就業環境の影響を受けやすいひとり親家庭の児童扶養手当受給者に対し，1世帯3万円を支給した。	支給人数 974人
	9 新生児特別定額給付金給付事業	外出自粛による子育て負担の増加や収入減等による影響緩和のため，新生児1人10万円を支給した。	支給人数 1,106人
	10 就学児童生徒臨時特別援助事業	収入減等による学校生活への影響緩和のため，準要保護児童生徒の保護者に対し，経済支援を行った。	準要保護児童 661人 準要保護生徒 336人
	11 公立学校情報機器整備事業	児童生徒1人1台端末の整備を行い，子どもたちが学びを継続することができる環境の整備を図った。	全市立小中学校に導入 ※R3.9運用開始
	12 図書館パワーアップ事業	図書の郵送貸出および電子図書館の拡充により，読書環境の充実を図るとともに外出の抑制を図った。	郵送貸出人数 295人 電子図書拡充数 103点
	新たな感染拡大防止策	13 防災活動支援事業	避難所の衛生環境を保つため，マスク等の衛生用品の備蓄や避難者用パーテーション等を整備した。
14 福祉施設における衛生用品備蓄事業		介護・障害福祉サービス等事業所に10万円を上限として，衛生用品等の購入費用を補助した。	補助件数 272件
15 PCR検査等実施医療機関助成事業		県による発熱外来の指定を受け，行政検査を実施する医療機関へ助成金を支給した。	助成件数 33件
16 公共交通感染症予防対策支援事業		利用者の安全確保及び公共交通を維持するため，事業者の感染症対策に要した経費に対し，補助した。	路線バス 1事業者 タクシー 26事業者
17 学校の感染症対策・学習保障支援事業		各学校での感染症対策及び子どもたちの学習保障等を支援するため，必要な対策を実施した。	小学校児童数 10,497人 (22校) 中学校生徒数 4,994人 (11校)
18 救急救助管理事業		感染症の影響により救急出動が多発した場合に備え，必要となる感染防止資器材を整備した。	感染防止衣 2,850着 N95マスク 1,560枚ほか

※ 市のホームページでは，臨時交付金を活用して実施した全ての事業を紹介しています。
臨時交付金のページへは次のURLまたはQRコードからアクセスしてください。

➡ https://www.city.yachiyo.chiba.jp/11000/page100001_00014.html



八千代市市民満足度調査
報告書

令和4年3月

発行:八千代市 企画部 企画経営課
〒276-8501 八千代市大和田新田312-5
電話 047-483-1151 (代表)
